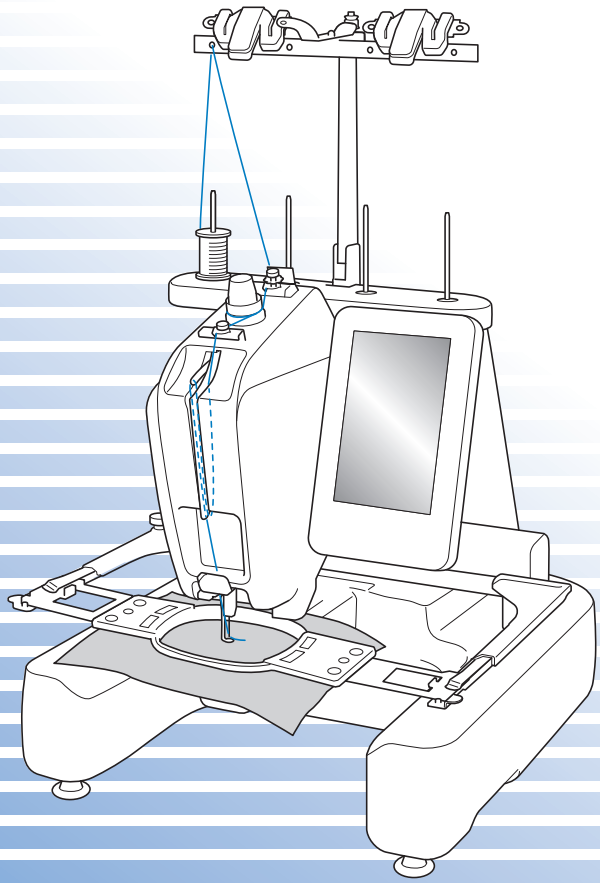
取扱説明書

刺しゅうミシン

PRT51 シリーズ



● ご使用になる前に必ず本書をお読みになり、正しくお使いください。
● 取扱説明書はなくさないように大切に保管し、いつでも手にとって見られるようにしてください。

商標について

IMPORTANT:

READ BEFORE DOWNLOADING, COPYING, INSTALLING OR USING.

By downloading, copying, installing or using the software you agree to this license. If you do not agree to this license, do not download, install, copy or use the software.

Intel License Agreement For Open Source Computer Vision Library

Copyright © 2000, Intel Corporation, all rights reserved. Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistribution's of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution's in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- The name of Intel Corporation may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall Intel or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

All information provided related to future Intel products and plans is preliminary and subject to change at any time, without notice.

SD は、SD-3C,LLC の登録商標または商標です。
CompactFlash（コンパクトフラッシュ）は SanDisk 社の登録商標または商標です。
メモリースティックはソニー株式会社の登録商標または商標です。
スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標または商標です。
マルチメディアカード（MMC）は、Infineon Technologies 社の登録商標または商標です。
xD ピクチャーカード（xD-Picture Card）は富士フイルム株式会社の登録商標または商標です。
IBM は International Business Machines Corporation の登録商標または商標です。
Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびそのほかの国における登録商標または商標です。

本取扱説明書に記載されているアプリケーションは、各社によってソフトウェアライセンスの所有・管理がされています。

本製品および本取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中には® および ™ 等のマークは明記しておりません。

はじめに

このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、本取扱説明書で機能や使い方を十分にご理解のうえ、末永くご愛用ください。
また、お読みになった後はいつでもご覧になれるところに保証書とともに保管してください。

安全にお使いいただくために

取扱説明書および本製品で使われている表示や絵文字は、本製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。その表示や意味は次のとおりです。

警告	● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
注意	● この表示を無視して誤った使い方をすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

取扱説明書で使用している絵文字の意味は次のとおりです。

特定しない禁止事項

特定しない危険通告

針の下に指を入れないでください

感電の危険があります

分解してはいけません

火災の危険があります

水にぬらしてはいけません

特定しない義務行為

電源プラグを抜いてください

本製品を安全にお使いいただくために、以下のことがらを守ってください。

⚠警告

- 一般家庭用電源AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
  - ミシンのそばを離れるとき
  - ミシンを使用したあと
  - 運転中に停電したとき
  - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
  - 雷が鳴りはじめたとき

⚠注意

- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。火災・感電の原因となります。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。

- 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・緩んだコンセントは使用しないでください。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。

- 長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。

⚠注意

	● 直射日光の当たるところや、ストーブ、アイロンのそばなど温度の高いところでは使用しないでください。ミシンの使用温度は5～40℃です。ミシン内部の温度が上がったり、ミシン本体や電源コードの被膜が溶けて火災・感電の原因となります。
	● 火気（火の消えていないたばこ、ろうそくなど）の近くでは使用しないでください。刺しゅう枠の移動によって縫製物へ引火し、火災の原因となるおそれがあります。
	● 野外でのご使用は避けてください。雨などが降り、本体がぬれて感電の原因となります。また、ぬれたときはお買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。
	● 以下の場所に設置、保管をしないでください。故障の原因になります。 • 温度が著しく高くなる場所 • 温度が著しく低くなる場所 • 急激に温度が変化する場所 • 湿気、湯気の多い場所 • 火気や熱器具、冷暖房機器などに近い場所 • 屋外や直射日光の当たる場所 • ほこり、油煙の多い場所
	● スプレー製品などをご使用の部屋では使用しないでください。 スプレーへの引火によるやけどや火災の原因となります。
	● ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下などしてケガをする原因となります。ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。
	● ミシン本体の換気口をふさがないでください。換気口は、必ず壁から30 cm以上離してお使いください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。火災の原因となります。
	● ミシン本体の上に花びんや水の入った容器を置くなどして、ミシン本体に水をこぼさないでください。万一、内部に水などが入った場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 換気口や内部に異物を入れたり、ドライバーなどを差し込まないでください。高圧部に触れて感電のおそれがあります。万一、異物が入った場合は、使用をやめてお買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。

⚠注意

	● ミシン本体の重さは約31kgあります。ミシン本体を持ち運びする際は急激、または不用意な動作をしないでください。腰や膝を痛める原因となります。
	● ミシン本体は、必ず底部の指定箇所を持って持ち運びをしてください。他の部分を持つとこわれたりすべって落としたりして、ケガの原因となります。
	● ミシンを移動させるときは、操作パネルや糸案内、その他の部品に接触しないように注意してください。ケガをするおそれがあります。
	● ミシン本体には取扱説明書に記載されている正規の部品を使用してください。他の部品を使用するとケガ・故障の原因となります。
	● お客様ご自身での分解、修理および改造は行わないでください。火災・感電・ケガの原因となります。指定以外の内部の点検・調整・掃除・修理は、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご依頼ください。
	● 取扱説明書に記載されている整備は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。ケガ・感電の原因となります。
	● **ミシン操作中は、針の動きに十分注意してください。また、針、プーリー、キャリッジなど、動いているすべての部品に手を近づけないでください。**ケガの原因となります。
	● 縫製中、布地を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。ケガ・針折れの原因となります。
	● **針の下などに指を入れないでください。**ケガをするおそれがあります。
	● 上糸、下糸等に関する操作については、取扱説明書の指示に従って正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみ等が発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
	● 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となります。
	● 万一、ミシン本体が水に浸かったり、誤って落としたりして破損または故障した場合は、ただちに使用をやめてお買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	● 万一、煙が出ている、異臭がする、異常音がするなどの状態のときはすぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対に行わないでください。
	● ミシン本体が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、お子様の手の届かないところに保管するか廃棄してください。かぶって遊ぶと窒息のおそれがあります。
	● お子様の玩具として使用しないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用になるときは、お子様がケガをしないよう十分注意してください。

⚠注意

	● 同梱のはさみやリッパーは、本来の目的以外で使用しないでください。また、リッパーで穴を開ける方向に、手や指を置かないでください。すべったときにケガをするおそれがあります。
	● 針などの交換およびそのほかの機能に関する使用については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。
	● 上糸、下糸などに関する操作については、取扱説明書の指示通りに正しく行ってください。取り扱いを誤ると、縫製中に糸がらみなどが発生し、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
	● お子様の玩具として使用しないでください。お子様が使用するときや、お子様の近くで使用するときは、お子様がけがをしないよう十分注意してください。
	● ミシンとパソコンを接続するときは、本製品に付属のUSBケーブルを使用してください。

お願い

- このミシンは日本国内向けです。日本国外では使用できません。
  This sewing machine can not be used in a foreign country as designed for Japan.
- 仕様および外観は品質改良のため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製することは禁じられておりますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容について、万一不審な点や誤りなどお気づきの点がありましたらお買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 本機をご使用になる方（お子様を含む）が、身体／知覚／精神的能力になんらかの障害を持つ場合、あるいは経験や知識が十分でない場合には安全を保証できる責任者の監視の下でのみ本機を使用してください。
- お子様が使用するときは、玩具として使用しないよう、十分な監視の下で使用してください。

ライセンス契約書

重要！： 必ずお読みください
本製品に含まれている刺しゅうデータ（以下、「刺しゅうデータ」）に関する著作権は、ブラザー工業株式会社（以下、「ブラザー」）もしくはそのライセンサーが保有しています。ブラザーは、下記契約条件に従い、お客様に刺しゅうデータの使用を許諾致します。
なお、お客様は、刺しゅうデータを使用することにより、下記契約条件に同意されたものとみなされます。

1. ブラザーはお客様に対し、お客様が保有する一台の刺しゅうミシン上で、刺しゅうデータを使用して刺しゅうを縫製する権利を許諾致します。なお、お客様は、一度に複数台の刺しゅうミシン上で刺しゅうデータを使用することはできません。

2. お客様は、別途ブラザーから許諾を受けない限り、刺しゅうデータについて以下を行うことはできません。

- バックアップ目的以外の目的のために複製すること。
- ネットワークサーバーにアップロードすること。その他第三者に提供、貸与等すること。
- 逆コンパイル、逆アセンブルその他リバースエンジニアリングすること。
- 営利目的で改変すること。
- ブラザー以外の者が著作権者として表示されている刺しゅうデータ（例：© Disney）を使用して創作された刺しゅう製品を販売等すること。

お客様は、本契約に基づき刺しゅうデータを使用する権利を取得しますが、刺しゅうデータに関する著作権そのものを取得するものではありません。

本契約は日本国法を準拠法とします。

本契約に関する問い合わせは郵便にて直接お送り願います。
〒 467-8562　名古屋市瑞穂区河岸 1 丁目 1-1
ブラザー工業株式会社
パーソナル・アンド・ホームカンパニー　営業部

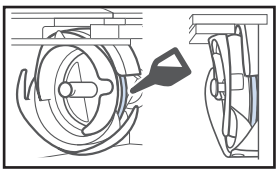
警告ラベルについて

ミシンには下記の警告ラベルが表示されています。
警告表示の注意事項を守って作業を行ってください。

①

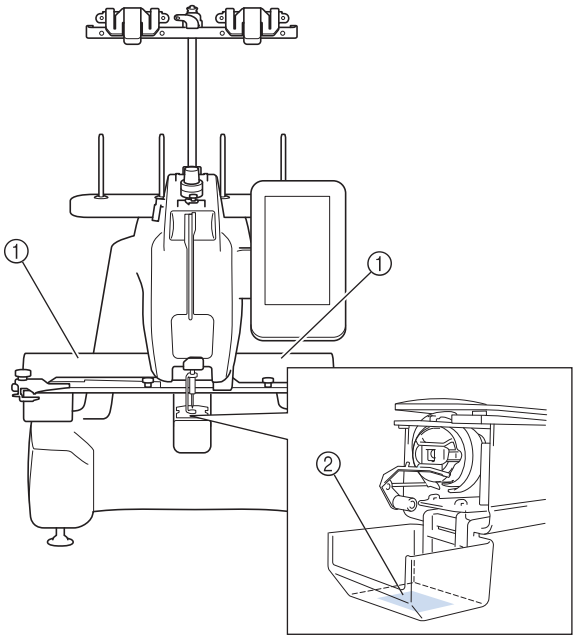
	⚠VOORZICHTIG	⚠ATTENZIONE	⚠ОСТОРОЖНО!	⚠注 意	⚠注 意
	De borduurarm kan verwondingen veroorzaken. Houdt uw handen buiten bereik van de borduurarm.	Il carrello potrebbe ferirvi. Non appoggiate la mano nel percorso del carrello.	Движущаяся каретка может быть причиной травмы. Не кладите руки на пути движения каретки.	刺しゅう機のキャリッジや刺しゅう枠が動いているときに、手や物を近づけないでください。 ケガの原因になります。	在绣花机的导轨或绣花框移动时，为避免造成伤害，请不要将手或物品靠近。

②



毎日１回、釜のレース面に注油をしてからお使いください。

ラベルの場所



取り扱い上の注意

著作権について

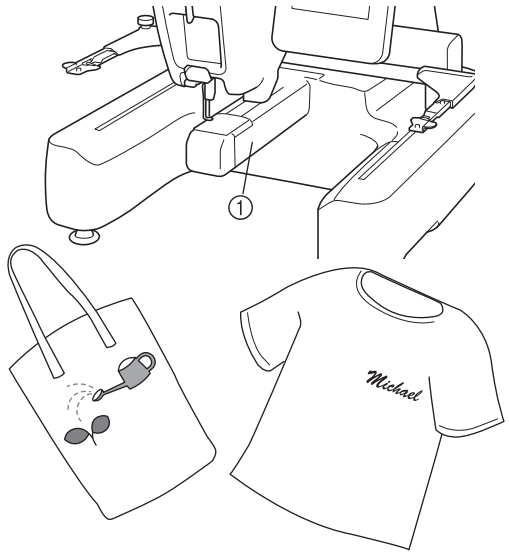
ミシンまたは別売の刺しゅうカードに内蔵されている刺しゅうデータのうち、当社が著作権を有するもの（「© Disney」等の他社著作権表示が付されているものを除きます）については、これらのデータを用いて縫製された刺しゅう模様を一般家庭用としてのみならず、営利用または業務用としても、自由にご利用（販売・譲渡等を含みます）いただけます。
ただし、これら刺しゅうデータ自体に関する著作権は弊社が留保し、（縫製された刺しゅうではなく）このデータ自体を、複製・改変・譲渡・公衆送信・送信可能化することは許諾いたしません。
また、当社以外の第三者の著作権表示が付されたもの（特に人気キャラクター）については、営利用または業務用としてご利用いただくことはできません。ご注意ください。

さらに、有名ブランド品の図案、ロゴ、名称、マーク等については、無許諾での複製は法律上罰せられます。これらについては、勝手に複製、縫製しないようご注意ください。

製品のしくみと特長

■ 立体的な布地に刺しゅう

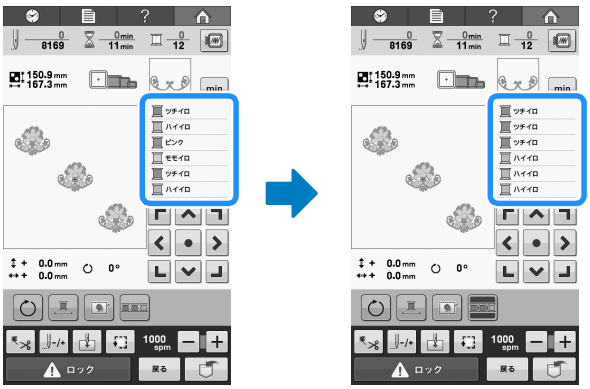
刺しゅう面が筒状のアームなので、バッグやＴシャツなどの立体的または筒状の布地を簡単に装着し、きれいな刺しゅうをぬうことができます。



① 筒状アーム

■ 最小限の糸こま交換で刺しゅう

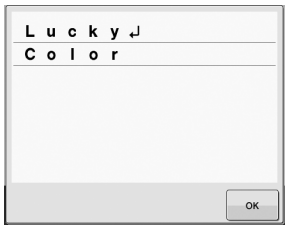
刺しゅうを始める前に、糸色並べ替えキー（ ）を押してぬい順を糸色で並べ替えます。例えば、同じ模様を繰り返し並べて刺しゅうする場合、模様をぬうたびに糸こまを交換する必要があります。糸色並べ替え機能を使うと、同じ色を一度にぬうように糸色が並べ替えられ、糸こま交換が最小限で済みます。
糸色並べ替え機能は、模様が重なっている場合は使用できません。



■ 文字模様の改行

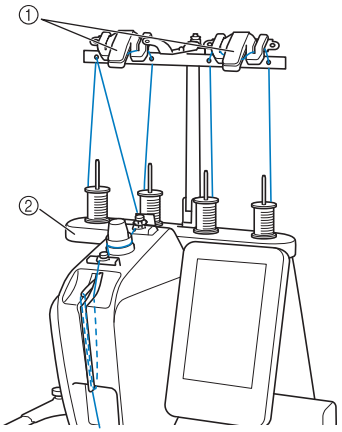
文字模様の入力中に改行キー（ ）を押すと、後に続く文字を次の行に配置することができます。

入力した文字は（ ）を押すと簡単に確認できます。



■ 4 本の糸こま準備

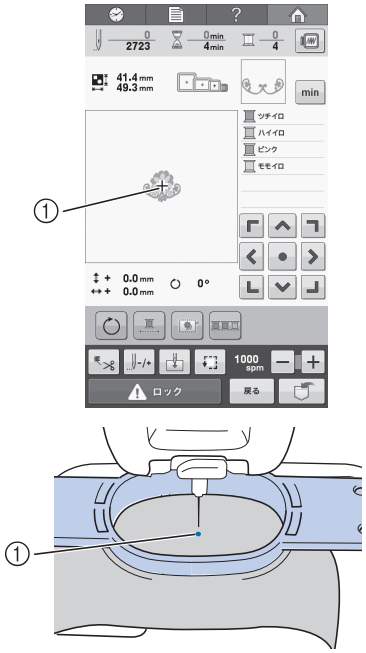
次の糸色交換に備えて、糸立台に糸こまを 4 本まで準備することができます。糸切り糸かけに糸をかけると、次の糸色へスムーズに交換できます。



① 糸切り糸かけ
② 糸立台

■ 刺しゅう位置マーカー

LED ポインターで針落ち位置が簡単に見つけられます。

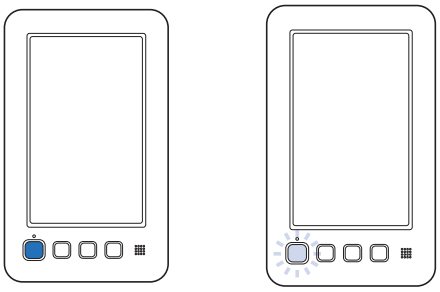


① 針落ち位置

■ 安全設計

ミシンロック機構の採用で、誤操作によるケガを防ぎます。通常、ミシンはスタートできない（ロックされた）状態になっており、ロック解除キーを押して、ロックを解除するとミシンをスタートできる状態になります。ミシンロックの状態は、スタート／ストップスイッチが色を変えてお知らせします。

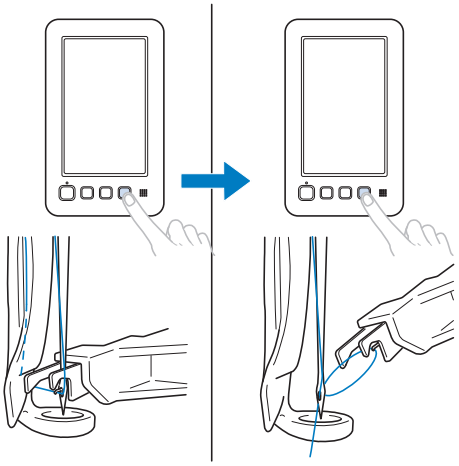
赤色点灯　　緑色点滅



ミシンロック中　　スタート可能

■ 自動糸通し装置

自動糸通し装置で簡単に糸を針に通すことができます。



■ 縫製範囲

最大ヨコ 200mm× タテ 200mm の刺しゅうができます。別売の刺しゅう枠を使えば、いろいろな種類や大きさの刺しゅうができます。

■ 内蔵模様の充実

ミシンに内蔵されている文字やワンポイント模様、枠模様のほか、別売の刺しゅうカードを使っていろいろな模様の刺しゅうができます。

■ 刺しゅうの編集

文字や模様を組み合わせたり、文字の配列を変えたりして自由にアレンジできます。
同じ模様を繰り返してぬうこともできます。

この本の読み方

この本は次のような構成になっています。

必ずお読みください

第 1 章　ミシンの準備
ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

第 2 章　使ってみましょう 【チュートリアル】
電源を入れるところから、1 つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追って説明します。実際に操作しながら読んで、使い方をマスターしましょう。

第 3 章　その他の基本操作
針の交換など、2 章で説明した以外の操作を説明します。

必要に応じてお読みください

第 4 章　縫製設定
縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

第 5 章　模様の選択／編集／記憶
刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

第 6 章　基本設定とヘルプ機能
設定キー、ミシンの使い方キーの使用方法を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面上で操作のしかたなどを調べたりできます。

第 7 章　付録
刺しゅうのいろいろなテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れ、困ったときの対処方法などを紹介します。

知りたいことを調べるには

■ 取扱説明書で調べる

タイトルから
各章で説明されている内容を左記で確認し、目次で調べます。

キーワードから
巻末に索引があります。キーワードを探して、参照ページをご覧ください。

画面から
P. 62 からは、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーを、一覧でまとめて説明しています。

状況から
P. 69 からは、いろいろな場合を想定し、その対応方法を示しています。

■ ミシンで調べる

このミシンにはヘルプ機能があります。

使い方がわからないとき
ミシンの使い方キーを押して、調べます。ミシンの使い方キーの使用方法は、P. 150 をご覧ください。

目次

商標について
はじめに 1
安全にお使いいただくために 1
ライセンス契約書. 6
警告ラベルについて. 7
取り扱い上の注意. 8
著作権について 8
製品のしくみと特長. 9
この本の読み方 11
必ずお読みください 11
必要に応じてお読みください 11
知りたいことを調べるには 11

第 1 章 ミシンの準備 15

各部の名前とはたらき 16
前面 16
右側面・背面 17
操作パネル 17
付属品を確認してください 18
付属品 18
別売品 19
ミシンの設置のしかた. 20
設置・移動に関する注意 20
設置に適した場所 21
ミシンを据え付ける 22
糸案内を準備する 23
台枠 a をセットする 23
台枠 e をセットする 24

第 2 章 使ってみましょう【チュートリアル】 25

使用上の注意 26
電源に関する注意 26
針に関する注意 27
正しい針の見分け方 27
ボビンに関する注意 27
上糸に関する注意 28
布地に関する注意 28
画面に関する注意 28
基本手順 29
1. 電源を入れる 30
ミシンを初めて使うとき 31
画面の見方 32
操作画面の流れ 33
2. 下糸をセットする. 34
ボビンケースを取り出す 34
ボビンをセットする 35
ボビンケースをセットする 35
下糸を巻く 36
3. 模様を選ぶ 39
ワンポイント模様を選ぶ 40
4. 模様の編集 41
縫製画面に進む 41
5. 縫製設定 42
刺しゅう位置マーカー 42
6. 仕上がりイメージを確認する 43
仕上がりイメージの見方 43
7. 刺しゅう枠に布地を張る 44
布地の張り方 44
8. 刺しゅう枠をミシンにセットする. 46
刺しゅう枠のセットのしかた 46
9. 縫製範囲を確認する 48
10. 上糸をセットする. 49
糸情報の表示を変更する 49
上糸をかける 50
糸を針穴に通す 53
簡単な糸こま交換のしかた 54
11. 刺しゅうをぬう. 56
ミシンをスタートする 56
途中でミシンをストップするには 57
12. 糸調子を確認する. 59
13. 刺しゅう枠、布地を外す 60
刺しゅう枠の外し方 60
布地の外し方 60
14. 電源を切って終了する 61
画面早見一覧. 62
キー表示について 62
模様選択画面の見方 63
模様一覧画面の見方 64
編集画面の見方 65
縫製画面の見方 67
わからないことがあるときの参考. 69
専門用語 69
模様 69
刺しゅう 69
便利な USB 接続 70

第 3 章 その他の基本操作 71

針を交換する. 72
針を交換する 72
刺しゅう枠を上手に使うには 74
刺しゅう枠の種類と用途 74
布地に接着芯を貼る 76
布地の張り方. 77
大枠の布地の張り方 77
小型枠の布地の張り方と取り付け方 78
刺しゅうシートを使う 79
布地が大きい／小さいときは 79
刺しゅう枠の位置と動きについて. 81
思い通りの位置にぬうには 82
角度を調整する 82
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは. . . . 84
上糸が切れたとき 84
下糸が切れた／なくなったとき 85
停止後、途中からぬうときは 88
糸調子を調整する. 90
下糸の調子を調整する 90
上糸の調子を調整する 91

第 4 章 縫製設定 93

刺しゅうのしつけぬい 94
ぬい始め位置設定. 95
文字をつなげて刺しゅうする 96
縫製最高速度設定. 98
縫製色管理. 99
連続した刺しゅう（1 色の場合） 99

糸色並べ替え 99
糸切り機能. 100
自動糸切り機能 100
渡り糸切り機能 100

第 5 章 模様の選択／編集／記憶 103

刺しゅう模様の記憶 104
刺しゅうデータに関する注意 104
刺しゅうカード（別売）について 106
USB メディア（市販品）について 106
刺しゅう模様を選ぶ 107
基本的な模様の選び方 107
ワンポイント／アルファベット 108
枠模様 108
文字模様 109
刺しゅうカード（別売） 112
刺しゅう模様をミシンに記憶する 113
刺しゅう模様を USB メディアに記憶する 114
刺しゅう模様をパソコンに記憶する 114
ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す... 115
USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す... 116
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す 117
刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）. . . 119
模様を組み合わせる 119
編集する模様を選ぶ 120
模様イメージを拡大表示する 120
位置を移動する 121
左右反転する 121
大きさを変える 122
回転する 123
文字の配列を変更する 124
文字間隔を変更する 124
組み合わせた文字模様を分割する 125
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ）.... 126
1 文字ずつ色を変える 126
模様の色を変える 126
繰り返し模様をつくる 127
ユーザーパレットを作る 130
ユーザーパレットから色を選ぶ 133
模様を複製する 134
模様を削除する 135
刺しゅう模様全体を編集する（縫製画面）. . . 136
すべて回転する 136
組み合わせの編集 137

第 6 章 基本設定とヘルプ機能 141

設定キーの使い方 142
設定画面の見方 142
設定画面のイメージを USB メディアに
保存する 144
ガイド表示を切り替える 144
糸色表示を切り替える 145
長さの単位を切り替える 146
刺しゅうしつけ距離を変更する 146
縫製エリアの表示色／模様キーの
表示色を変更する 146
模様キーの大きさを指定する 147
糸センサーを設定する 147
スピーカー音量を変更する 147
エコモードまたは電源オフサポートモードを
設定する 148
オープニング画面を設定する 148
言語を切り替える 148
ライトの ON ／ OFF を切り替える 149
画面の明るさを調整する 149
LED ポインターを設定する 149
ミシンの使い方キーの使い方 150

第 7 章 付録 153

アップリケぬい 154
アップリケ模様のぬい方 154
枠模様を使ってアップリケをするには（1）... 155
枠模様を使ってアップリケをするには（2）... 156
分割模様をぬう 158
豆知識. 160
色パレットについて 160
タジマフォーマット（.dst）の
刺しゅうデータの色について 160
きれいな刺しゅうに仕上げるために 161
糸 161
接着芯 161
枠張りのテクニック 162
布／接着芯の適合表 163
お手入れ. 164
画面の汚れの掃除 164
本体表面の掃除 164
釜の掃除 164
針板まわりの掃除 165
ボビンケースの掃除 166
上糸の糸道の掃除 166
ミシンに注油する 168
メンテナンスメッセージについて 169
困ったとき 170
トラブルチェック 170
エラーメッセージ 176
キーを押しても反応しないときは 181
仕様. 182
本体仕様 182
ミシンのソフトウェアをアップグレードする . . . 183
USB メディアを使用したアップグレード手順 ... 183
パソコンを使用したアップグレード手順 184
索引. 186

第 1 章

ミシンの準備

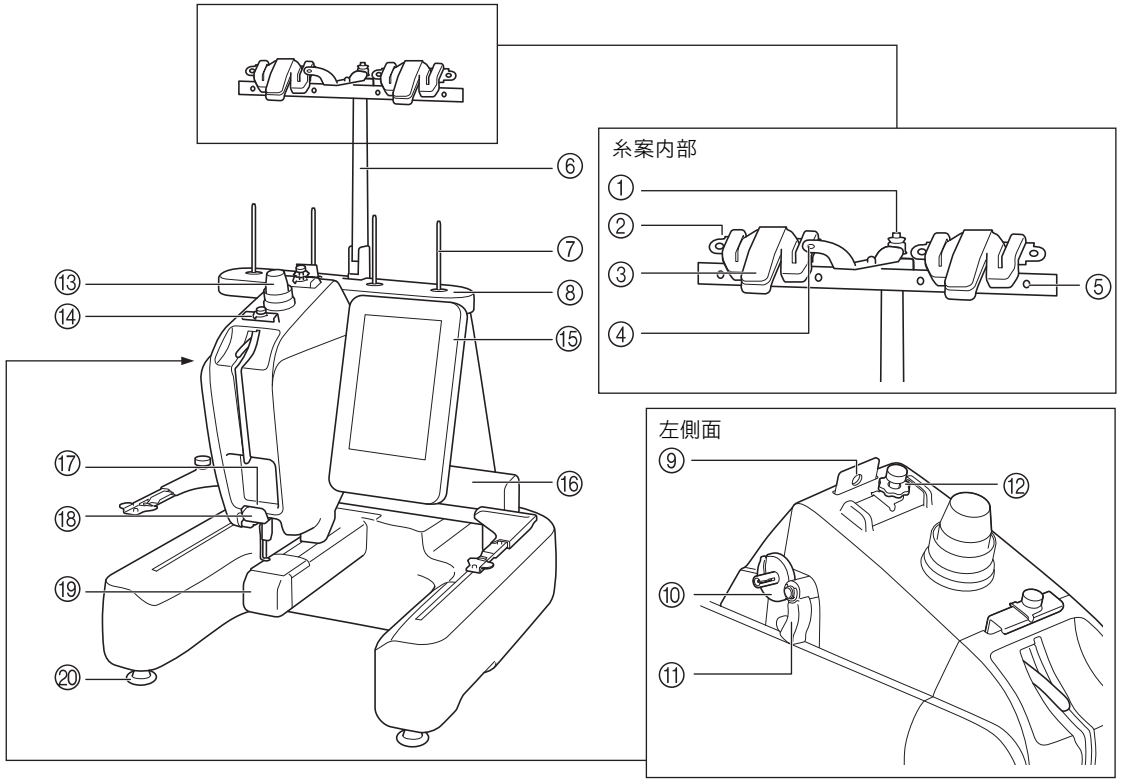
箱を開けたら、まず P.24 の「付属品を確認してください」をご覧になり、付属品が揃っているか確認してください。すべて揃っていることが確認できたら、ミシンを準備します。
ここでは、ミシンの設置のしかたや必要な準備について説明します。

各部の名前とはたらき 16
前面 16
右側面・背面 17
操作パネル 17
付属品を確認してください 18
付属品 18
別売品 19
ミシンの設置のしかた 20
設置・移動に関する注意 20
設置に適した場所 21
ミシンを据え付ける 22
糸案内を準備する 23
台枠 a をセットする 23
台枠 e をセットする 24

各部の名前とはたらき

ミシンの各部の名前とはたらきを説明します。ミシンを使用する前に、名前を覚えておきましょう。

前面



① 調子皿
ボビンに糸を巻くときに糸をかけます。(P. 34 参照)

② 糸案内の穴
ボビンに糸を巻くときに手前から奥に糸を通します。(P. 34 参照)

③ 糸切り糸かけ
上糸を交換するときに糸を切ります。また、使わないときは糸をかけておけます。(P. 53 参照)

④ 糸案内の穴（前面）
上から下へ穴に糸を通しながら、手前に糸を引きます。(P. 34 参照)

⑤ 糸案内の穴
ボビンに糸を巻くときやミシンに糸をかけるときに、奥から手前に糸を通します。(P. 36、P. 50 参照)

⑥ 糸案内支持棒

⑦ 糸立棒

⑧ 糸立台

⑨ 糸案内
ここに糸を通します。(P. 50 参照)

⑩ 下糸巻き台
ボビンに糸を巻くときにボビンをセットします。(P. 34 参照)

⑪ 下糸巻きスイッチ
左に押して、下糸巻きを始めます。(P. 34 参照)

⑫ 糸道上糸調子つまみ
糸調子を調整します。(P. 59 参照)

⑬ 糸調子つまみ
糸調子を調整します。(P. 59 参照)

⑭ 糸道上
ミシンに糸をかけるときに糸を通します。(P. 50 参照)

⑮ 操作パネル

⑯ キャリッジ
ここに刺しゅう枠をセットします。電源を入れたときや縫製中には左右前後に動きます。

⑰ 糸道下
ミシンに糸をかけるときに糸を通します。(P. 50 参照)

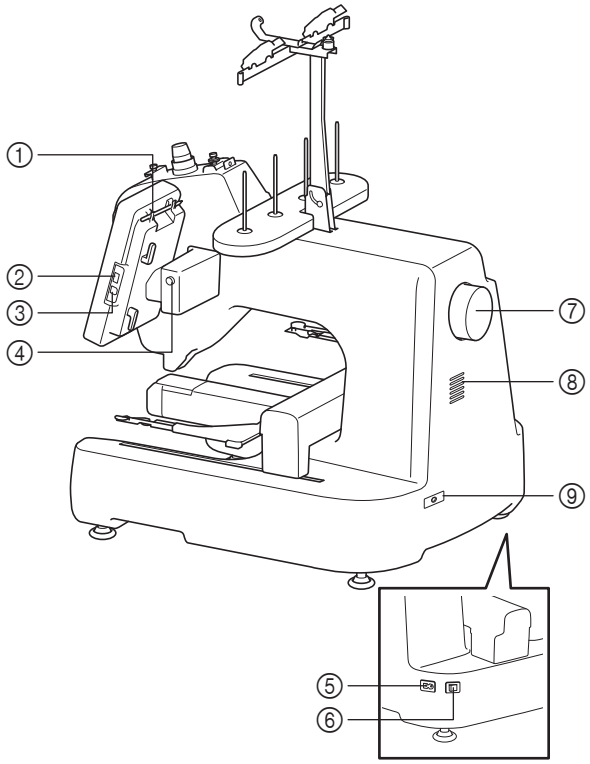
⑱ 糸切り
針穴に糸を通すときに糸を切ったりかけたりします。(P. 50 参照)

⑲ 釜カバー／釜
ここを開けて、釜にボビンの入ったボビンケースをセットします。

⑳ レベル座
ここで脚の高さを調節します。

お知らせ
●糸案内部の丸数字は、ボビンに糸を巻くときの糸道を示しています。

右側面・背面



① タッチペンホルダー
タッチペンを使用していないときは、タッチペンホルダーに収納してください。

② USB ポート（USB 2.0）
USB メディアを USB ポートに差し込んで、刺しゅう模様データをやりとりできます。（P. 112 参照）

③ パソコン接続用 USB ポート
USB ケーブルを USB ポートに差し込み、ミシンとパソコン間での刺しゅう模様データをやりとりできます。

④ 操作パネル角度調整ボタン
操作パネルの角度を変えるときに押します。角度を変えるときは必ずこのボタンを押してください。

⑤ 電源コードジャック
電源コードを差し込みます。

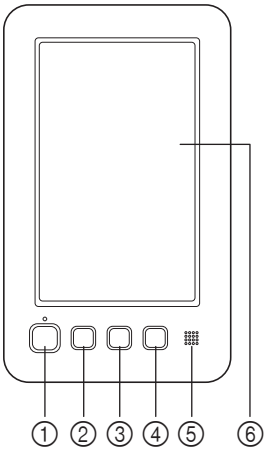
⑥ 電源スイッチ
電源を入れたり (I 側) 切ったり（〇側）するスイッチです。電源を切った後はすぐに電源を入れないでください。5 秒待ってから電源を入れてください。

⑦ プーリー
回すと針が上下に動きます。プーリーは操作パネルの方向（反時計回り）に回してください。

⑧ 換気口
モーターの周囲の空気を循環させます。ミシンを使用している間は換気口をふさがないでください。

⑨ フットコントローラージャック
フリーモーションキット（別売）に同梱のフットコントローラーのプラグを差し込みます。

操作パネル



① スタート／ストップスイッチ
ミシンをスタートまたは停止します。ミシンの状態によって、スイッチの状態・色が変わります。

赤色の点灯	： スタート不可能な状態のとき
緑色の点滅	： スタート可能な状態のとき
緑色の点灯	： 縫製中
消灯	： 電源が入っていないとき

② 針位置スイッチ
針を上げ下げするときに押します。ひと針ぬうときはスイッチを 2 回押します。

③ 糸切りスイッチ
上糸と下糸を切るときに押します。

④ 自動糸通しスイッチ
針に糸を通すときに押します。

⑤ スピーカー

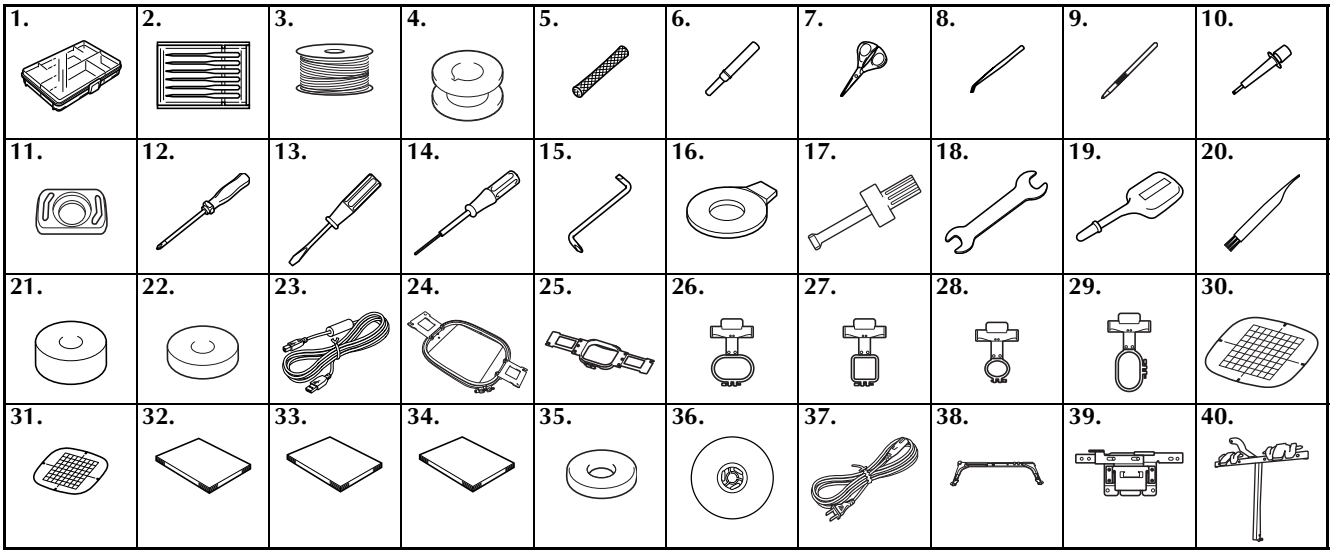
⑥ 液晶画面（タッチパネル）
ここに表示されるキーを押して、模様選択や編集、情報の確認をします。

付属品を確認してください

このミシンには以下のものが付属されております。必ずこのミシン専用の付属品を使用してください。

付属品

箱を開けたら、まず以下の付属品が揃っているか確認してください。不足しているときや破損しているときは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



No.	部品名
1	付属品ケース
2	ミシン針セット
3	ボビン（5 個）
4	金属ボビン（3 個）
5	糸こまネット（4 個）
6	リッパー
7	刺しゅうはさみ
8	ピンセット
9	タッチペン
10	針交換ツール
11	針板カバー
12	プラスドライバー
13	小型ドライバー
14	針交換ドライバー
15	Z 型ドライバー
16	ドライバー
17	ドライバー（大）
18	スパナ
19	油差し
20	ミシンブラシ
21	下糸おもり（L タイプ）
22	下糸おもり（S タイプ）
23	USB ケーブル
24	刺しゅう枠（特大枠）ヨコ 200mm × タテ 200mm
25	刺しゅう枠（中枠）ヨコ 100mm × タテ 100mm
26	小型枠（70）ヨコ 70mm × タテ 41mm
27	小型枠（50）ヨコ 50mm × タテ 50mm

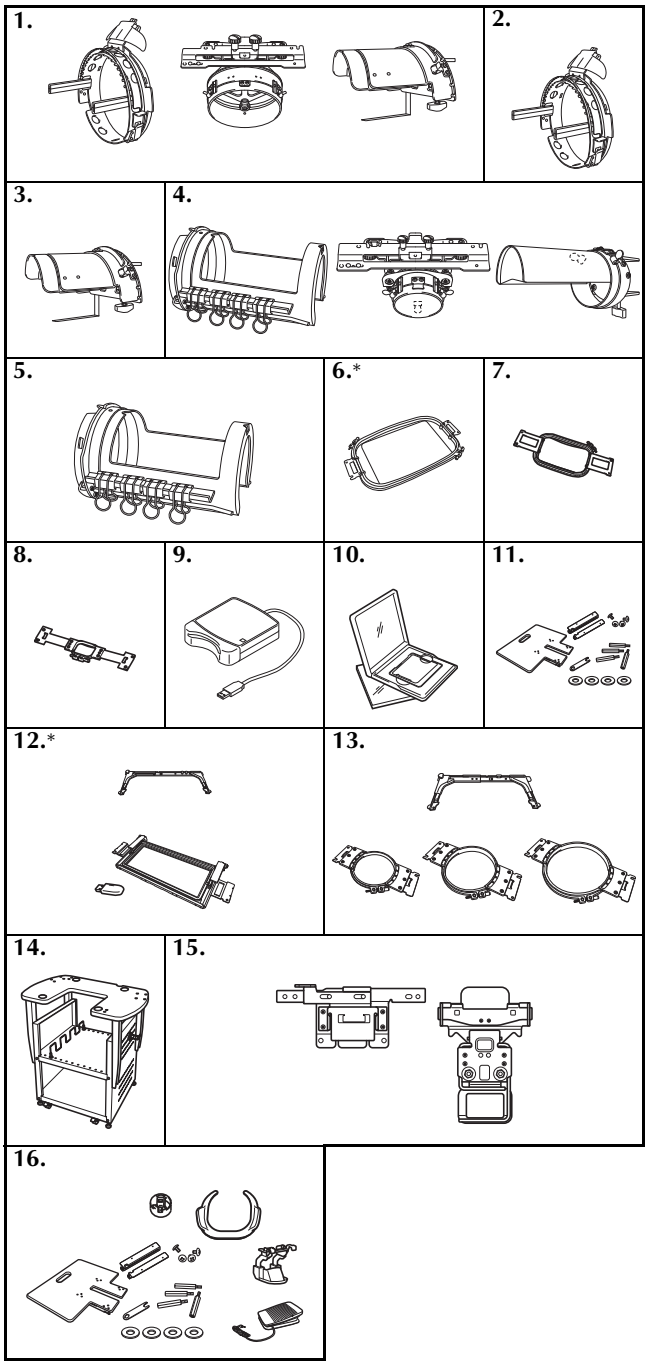
No.	部品名
28	小型枠（44）ヨコ 44mm × タテ 38mm
29	小型枠（縦向き）ヨコ 75mm × タテ 33mm
30	刺しゅうシート（特大）ヨコ 200mm × タテ 200mm
31	刺しゅうシート（中）ヨコ 100mm × タテ 100mm
32	取扱説明書
33	操作早見表
34	模様一覧
35	糸こまフェルト（4 個）
36	糸こま押え（4 個）
37	電源コード
38	a 台枠 a
39	e 台枠 e
40	糸立台

お知らせ

●付属のタッチペンは、操作パネルの裏側上部にあるタッチペンホルダーに収納できます。（P. 17 参照）

別売品

別売品として、以下の製品を用意しています。



No.	部品名	モデル名
1	帽子枠 2 セット	PRCF3J
2	帽子枠 2	PRCFH3J
3	ゲージ	PRCFH2
4	シリンダー枠セット	PRCL1J
5	シリンダー枠	PRCLH1J
6	平枠 ヨコ 200mm × タテ 200mm	VRFF200
7	刺しゅう枠（大枠） ヨコ 180mm × タテ 130mm	XC5959-051
8	刺しゅう枠（小枠） ヨコ 60mm × タテ 40mm	XC5969-051
9	カードリーダー	SAECR1

No.	部品名	モデル名
10	刺しゅうカード	–
11	ワイドテーブル	VRWT1
12	ボーダー枠セット ヨコ 180mm × タテ 100mm 台枠 b	VRBF180
13	丸枠セット (160mm 径) (130mm 径) (100mm 径) 台枠 c	VRRFK1
14	専用スタンド	VRPRNSTD
15	クランプ枠	VRCLP45B
16	フリーモーションキット	VRFMKIT1

＊ ボーダー枠または平枠を使用する場合は、別売のワイドテーブルを使用することをお勧めします。

お願い

●日本国外で売られている刺しゅうカードは使用できません。ご了承ください。また、国内で販売されている刺しゅうカードの中にも、ライセンス付きあるいは著作権で保護されているなどの理由により、一部利用できないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お知らせ

●付属品や別売品は、指定のもの以外は使用しないでください。

●仕様は、改良のために予告無く変更することがあります。

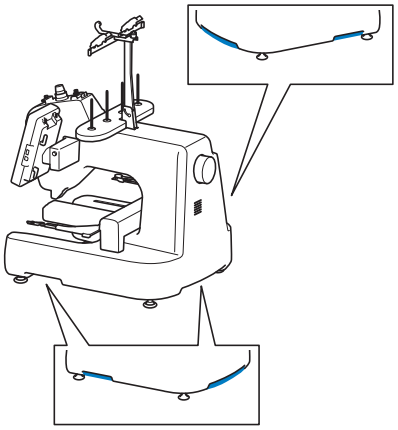
ミシンの設置のしかた

ミシン本体を設置します。正しく設置しないと振動や騒音が大きくなったり、刺しゅうがきれいにぬい上がらないことがあります。別売の専用スタンドがあります。

設置・移動に関する注意

⚠ 注意

- ミシンの使用温度は5～40℃です。低温や高温はミシンの誤動作の原因となります。
- 直射日光の当たらない環境で使用してください。直射日光はミシンの誤動作の原因となります。
- しっかりとした机や台の上にレベル座を接地させて、ミシンがガタつかないように設置してください。
- ミシン後方の換気口をふさがないでください。また、換気口に糸くずやほこりがたまらないようにしてください。ミシン内部の温度が上がり故障・火災の原因となります。
- ミシン本体の重さは約31kgあります。運搬や設置は、必ず2人以上で行ってください。
- ミシンを持ち運ぶ際は、必ず底部の指定箇所を持ってください。他の部分を持つとこわれたり、手がすべって落としたりして、ケガの原因となります。

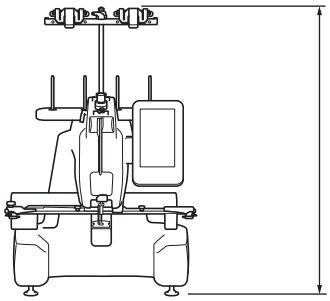


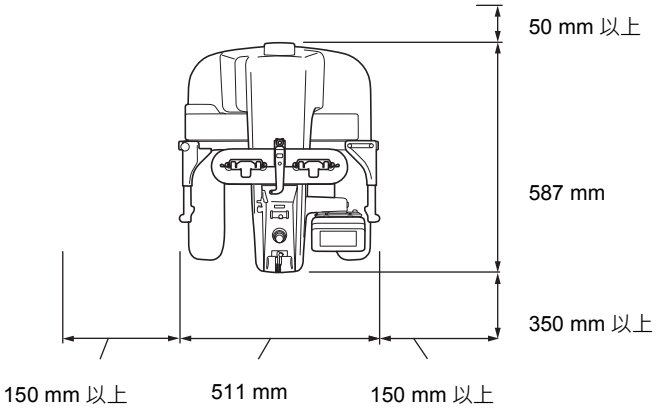
- 雷が発生しているときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。雷はミシンの誤動作・故障の原因となります。
- 設置が完了するまで、電源プラグを接続しないでください。誤ってスタート／ストップスイッチを押すと、ミシンが作動してケガの原因となります。
- 潤滑油やグリスを扱うときは、保護眼鏡や保護手袋等を使用し、目や皮膚に付かないようにしてください。炎症を起こす原因となります。また潤滑油やグリスを飲んだり食べたりしないでください。下痢・おう吐することがあります。お子様の手の届かないところに置いてください。

設置に適した場所

ミシンは、次のような場所に設置してください。

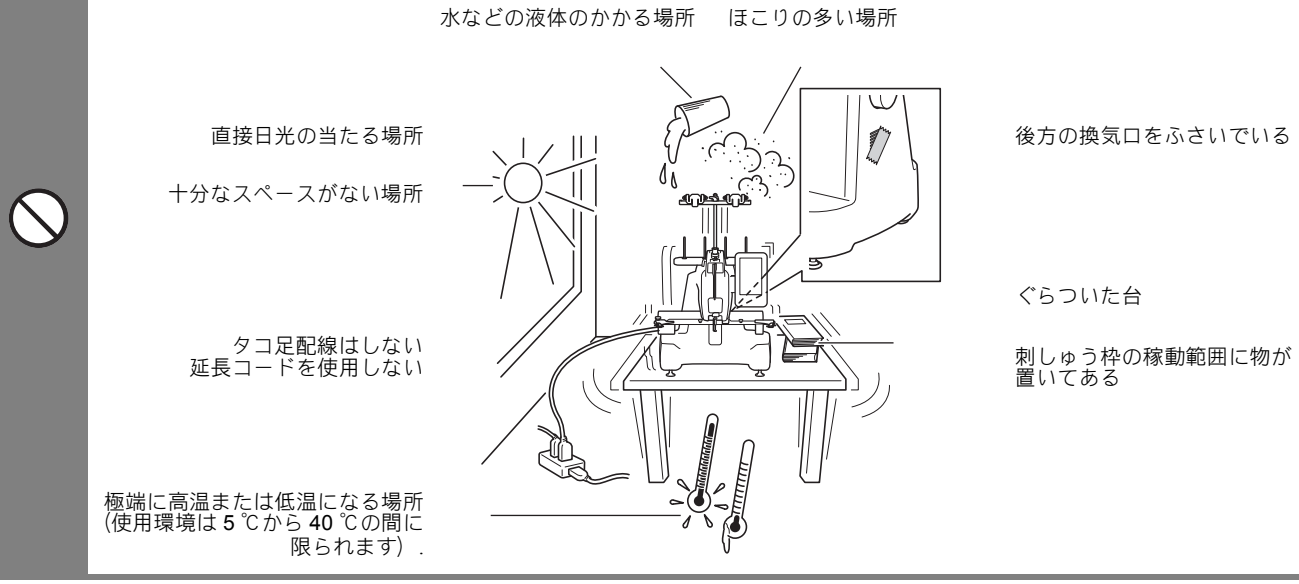
- ●本体と壁の間に 50mm 以上のすき間をあける
- ●ミシン本体が十分置けるスペースのある場所
- ●刺しゅう枠の稼動範囲には物を置かない
- ●コンセントから直接電源をとれる場所
- ●机の上など、水平で安定した場所
- ●ミシン本体の重さ（約 31kg）に耐えられる場所
- ●後方の換気口をふさがない





⚠ 注意

● **誤動作や故障の原因となるため、次のような場所には設置しないでください。**



お願い

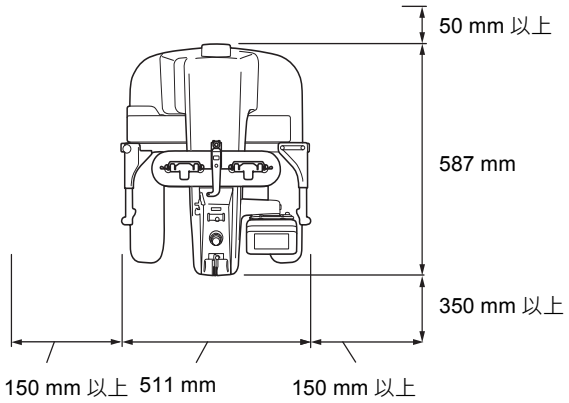
●安全のために：ミシン本体の重さは約 31kg あります。不安定な台や机には設置しないでください。

ミシンを据え付ける

脚を調節し、ガタつかないようにミシン本体を据え付けます。

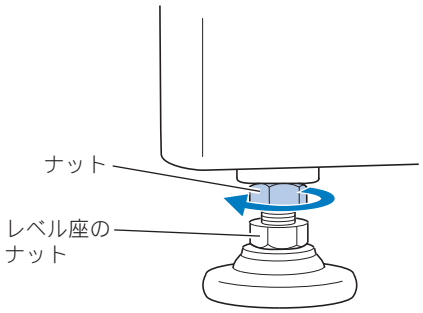
1 **ミシンに取り付けられている保護テープや保護材が、すべて取り外されていることを確認します。**

2 **設置スペースを確保して、ミシンを設置します。**



3 **ガタつかないよう脚を調整します。**

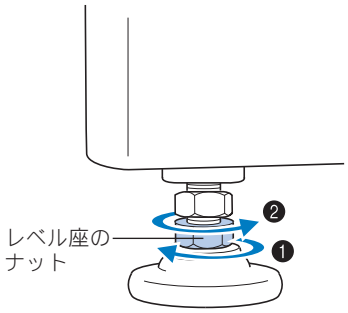
調整したい脚のナットを、付属のスパナでゆるめます。



→ レベル座が回るようになります。

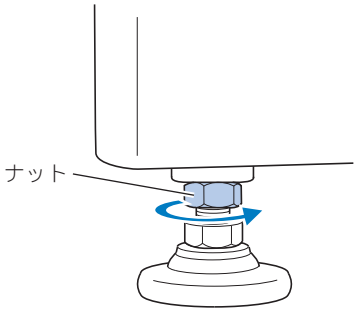
4 **レベル座のナットを、付属のスパナで回します。**

脚は、❶ の方向に回すと伸び、❷ の方向に回すと縮みます。



- 4 本の脚のレベル座がしっかりと接地するように調整します。

5 **脚の長さが調整できたら、ナットを付属のスパナで締めます。**



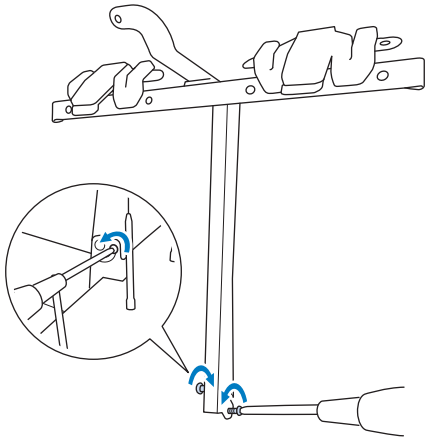
6 **角を押してみて、ガタつきがないか確認します。**

ガタつくときは、再度手順 3 から 5 を行い、脚を調整します。

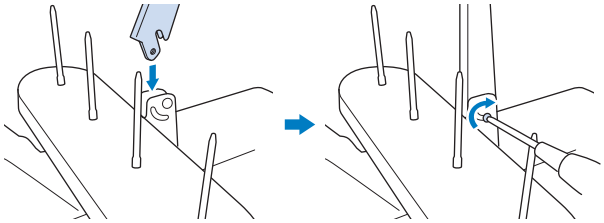
糸案内を準備する

糸案内を準備します。付属のプラスドライバーを用意します。

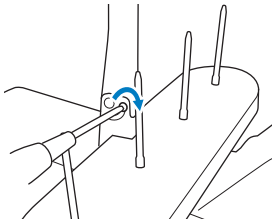
1 糸案内支持棒から 2 本のネジを外します。



2 糸案内支持棒をミシンにさし込み、糸案内支持棒が安定するまでネジを締めます。



3 同様に糸案内支持棒の反対側のネジを締めます。



お願い

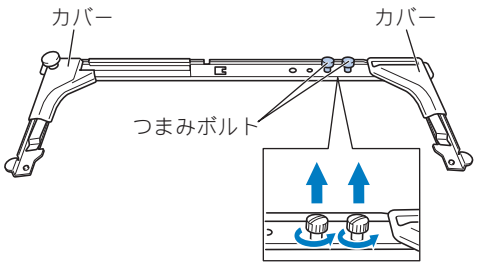
- 糸案内支持棒と糸案内を動かすときは無理に動かさないでください。
- 各ネジを締めるときは、糸案内が固定されるよう、確実に締めてください。

台枠 a をセットする

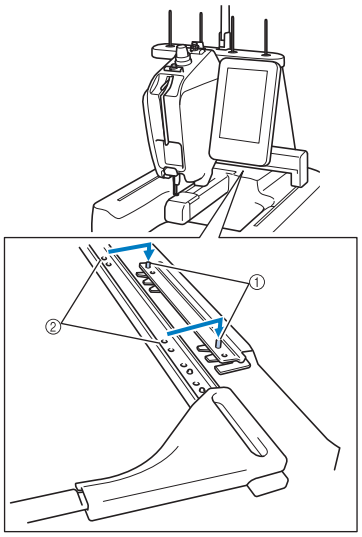
キャリッジに台枠をセットします。

1 使用する刺しゅう枠用の台枠を用意します。(P. 74「刺しゅう枠の種類と用途」参照)

2 台枠の 2 本のつまみボルトを外します。

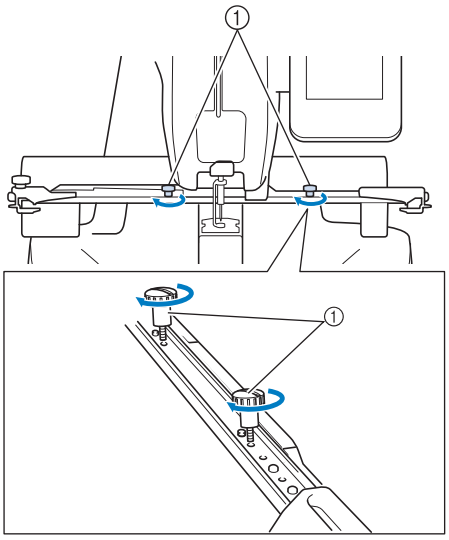


3 台枠の穴を X キャリッジのピンに差し込みます。



① X キャリッジのピン
② 台枠の穴

4 手順 ❷ で外したつまみボルトを使用し、台枠を固定します。



① つまみボルト

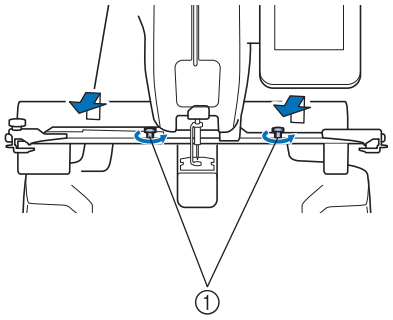
お願い
●付属のドライバーを使って、しっかりとつまみボルトを締めてください。

台枠 e をセットする

小型枠を使用するときは、台枠 e をセットします。

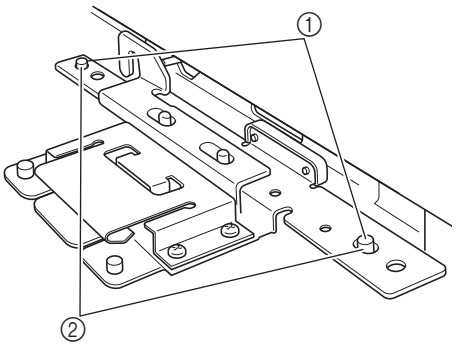
1 使用する刺しゅう枠用の台枠を用意します。(P. 74「刺しゅう枠の種類と用途」参照)

2 台枠の 2 本のつまみボルトを外します。



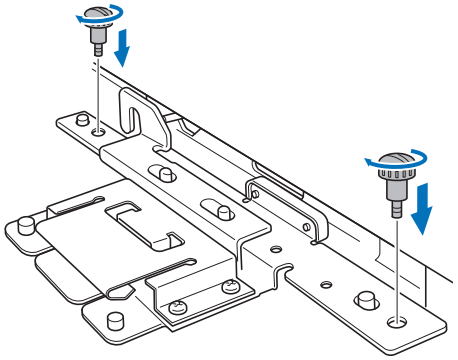
① つまみボルト

3 X キャリッジのピンを、台枠 e の両端にある穴に差し込みます。



① X キャリッジのピン
② 台枠 e の穴

4 手順 ❷ で外したつまみボルトを取り付けて締めます。



お願い
●付属のドライバーを使って、しっかりとつまみボルトを締めてください。

第 2 章

使ってみましょう【チュートリアル】

電源を入れるところから、1 つの模様をぬい上げ、作業を終了するまでの基本的な操作を、順を追って説明します。実際に操作しながら、使い方をマスターしましょう。

使用上の注意 26
電源に関する注意 26
針に関する注意 27
正しい針の見分け方 27
■ 良い針 27
■ 悪い針 27
ボビンに関する注意 27
上糸に関する注意 28
布地に関する注意 28
画面に関する注意 28
基本手順 29
1. 電源を入れる 30
ミシンを初めて使うとき 31
画面の見方 32
操作画面の流れ 33
2. 下糸をセットする 34
ボビンケースを取り出す 34
■ ミシンに注油する 34
ボビンをセットする 35
ボビンケースをセットする 35
下糸を巻く 36
3. 模様を選ぶ 39
■ 模様の仕上がりイメージを確認する 39
ワンポイント模様を選ぶ 40
4. 模様の編集 41
縫製画面に進む 41
5. 縫製設定 42
刺しゅう位置マーカー 42
6. 仕上がりイメージを確認する 43
仕上がりイメージの見方 43
7. 刺しゅう枠に布地を張る 44
布地の張り方 44
■ 刺しゅう枠の種類 44
8. 刺しゅう枠をミシンにセットする 46
刺しゅう枠のセットのしかた 46
9. 縫製範囲を確認する 48
10. 上糸をセットする 49
糸情報の表示を変更する 49
上糸をかける 50
糸を針穴に通す 53
■ 糸こまネットを使う 54
簡単な糸こま交換のしかた 54
11. 刺しゅうをぬう 56
■ ミシンロック機構について 56
ミシンをスタートする 56
■ 続けて刺しゅうをするときは 57
途中でミシンをストップするには 57
■ 一時停止する 57
■ 一旦電源を切ってから続きをぬう 57
■ 途中で糸が切れてしまったら 58
12. 糸調子を確認する 59
■ 正しい糸調子 59
13. 刺しゅう枠、布地を外す 60
刺しゅう枠の外し方 60
布地の外し方 60
14. 電源を切って終了する 61
画面早見一覧 62
キー表示について 62
模様選択画面の見方 63
模様一覧画面の見方 64
編集画面の見方 65
縫製画面の見方 67
わからないことがあるときの参考 69
専門用語 69
■ DST 69
■ ワイパー 69
模様 69
刺しゅう 69
■ 初期設定の色の替わりに、自分が刺しゅうしたい色を設定する 69
■ 縫製の途中で刺しゅうを中止して電源を切り、後で刺しゅうを再開する 69
■ 糸切れエラーが発生する 69
■ 糸調子が突然変わった 69
■ 枠がキャリッジからはずれる 69
■ 縫製をリセットし、最初から始める 69
便利な USB 接続 70
■ USB メディアあるいは、カードリーダーを使う場合 70
■ パソコンにミシンを接続する 70

使用上の注意

このミシンを正しく使っていただくために守っていただきたいポイントを説明します。

電源に関する注意

電源について気をつけなければいけないことを説明します。

⚠ 警告

- 一般家庭用AC100Vの電源以外では、絶対に使用しないでください。
  火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグは、コンセントやミシンの電源ジャックにしっかりと差し込んでください。差込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因となります。
- コンセントが壊れていたり、ぬれているなど、問題がある場合は、電源プラグを差さないでください。
- 以下のようなときは電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。
  - ミシンのそばを離れるとき
  - ミシンを使用したあと
  - 運転中に停電したとき
  - 接触不良、断線などで正常に動作しないとき
  - 雷が鳴りはじめたとき

⚠ 注意

- 必ずミシンに付属の電源コードを使用してください。
- 延長コードや分岐コンセントを使用した、たこ足配線はしないでください。
  火災・感電の原因となります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときはまず電源スイッチを切り、必ずプラグの部分を持って抜いてください。電源コードを引っ張って抜くとコードが傷つき、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。電源コードまたは電源プラグが破損したときはミシンの使用をやめて、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となります。
- 長時間ミシンから離れる際には、電源スイッチを切るか、あるいは電源プラグを抜いておいてください。
- ミシンの点検を行う際や、外装を取り外すときは、電源プラグを抜いてから行ってください。

針に関する注意

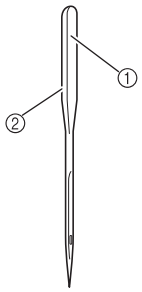
針を取り扱うときの注意を説明します。以下の注意を守らなければ、針が折れて飛び散るなど大変危険です。よく読んで必ず守ってください。

⚠ 注意

- このミシンは一般の刺しゅう針を使用するように設計されています。メーカー推奨針はオルガン社製の"HAX 130 EBBR"です。その他の針を使用すると、針折れや糸切れ、自動針穴糸通し装置などの故障の原因となるだけでなく、ケガの原因にもなります。
- 曲がった針は絶対に使用しないでください。針折れの原因となるだけでなく、ケガの原因にもなります。

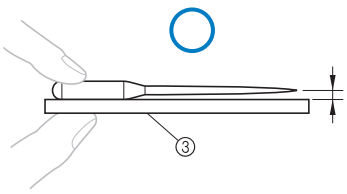
正しい針の見分け方

針が曲がった状態で使用すると、途中で折れてしまうことがあり非常に危険です。
針の平らな面を平らな板に合わせ、針と板のすき間が平行である針を使用してください。曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。(P. 72「針を交換する」)



① 平らな面

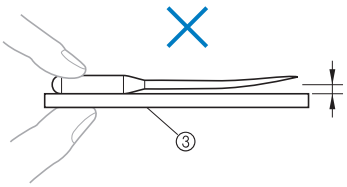
■ 良い針



② 針の種類が刻印されています。

■ 悪い針

すき間が平行でない場合は、針が曲がっています。その針は使用しないでください。



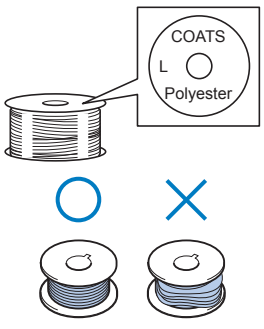
③ 平らな面

ボビンに関する注意

ボビンに関して気をつけなければいけないことを説明します。

⚠ 注意

- 必ず、金属ボビン（MBN:5個入り、B013:1個）または使い捨てボビン（推奨: COATS社製、Lタイプ）を使用してください。他のボビンを使用すると、ケガ・故障の原因となります。
- 下糸は正しく巻かれたものを使用してください。糸の巻き方が悪いと、針折れや糸調子不良の原因となります。



上糸に関する注意

上糸に関して気をつけなければいけないことを説明します。

お願い

- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸（den 120 x 2、#50）を使用してください。
- 糸によっては、糸切れ、糸調子不良が発生する場合があります。そのような場合は、糸を交換してください。

布地に関する注意

布地に関して気をつけなければいけないことを説明します。

お願い

- 刺しゅうができる布地の厚さは、約 1mm までです。それ以上の厚さのものをぬうと、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。
- 刺しゅうの重ねぬいは、針が布地にささりにくくなり、針が折れたり、曲がったりするおそれがありますのでご注意ください。
- 薄地、伸びる布地などぬいにくい布地には、接着芯を貼ってください。（P. 76「布地に接着芯を貼る」）
- 大きな布地に刺しゅうするときは、布地がキャリッジに巻き込まれないように注意してください。

画面に関する注意

液晶画面の取り扱いに関する注意を説明します。

お願い

- 画面は指、または付属のタッチペンで押してください。シャープペンシル、ドライバーなど先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。

基本手順

刺しゅうの基本手順は次のとおりです。
操作を始める前に、どのような手順を踏んでいくか、全体の流れを確認してください。

手順	操作	チュートリアル参照ページ	使用上の注意参照ページ
1	電源を入れます。	p. 30	p.26、28
2	下糸をセットします。	p. 34	p.27
3	刺しゅう模様を選びます。	p. 39	–
4	刺しゅう模様を編集します。	p. 41	–
5	縫製のしかたを設定します。	p. 42	–
6	仕上がりイメージを確認します。	p. 43	–
7	刺しゅう枠に布地を張ります。	p. 44	p. 28
8	刺しゅう枠をセットします。	p. 46	–
9	縫製範囲を確認します。	p. 48	–
10	上糸をセットします。	p. 49	p.28
11	スタート／ストップスイッチを押してぬいます。 (ぬい終わると、自動的にミシンは停止します。)	p. 56	–
12	糸調子を確認します。	p. 59	–
13	刺しゅう枠・布地を外します。	p. 60	–
14	電源を切って終了します。	p. 61	–

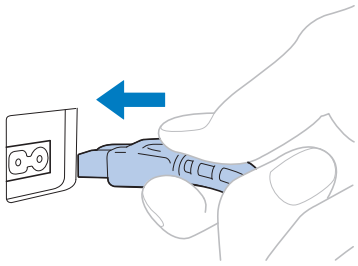
次のページから各手順を説明します。
ただし、模様の編集や縫製のしかたの設定はしないで進めます。模様の編集は P. 119 を、縫製のしかたの設定は P. 93 を参照してください。
P. 62 からは、液晶画面に表示される主な画面の表示やキーの説明を一覧でまとめて説明しています。ご活用ください。

P. 26 からは、基本操作に関する使用上の注意をまとめて記載してあります。ミシンを正しく使っていただくための重要な注意事項です。必ず読んでください。

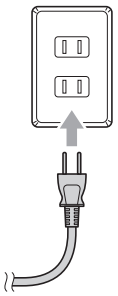
1. 電源を入れる

電源コードを用意し、電源を入れます。電源に関する注意については、P. 26 を参照してください。

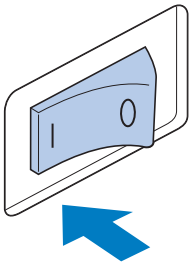
1 電源コードを電源コードジャックに差し込みます。



2 電源プラグを家庭用電源コンセント (AC100V) に差し込みます。



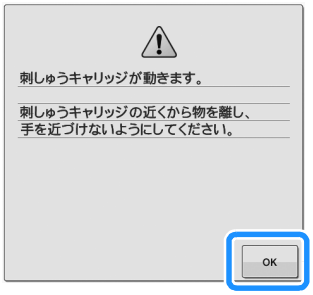
3 本体背面の電源スイッチの左側 (I 側) を押します。



→ 液晶画面が点灯します。

4 液晶画面にオープニング画面が表示されたら、液晶画面を押してください。液晶画面のどこを押しても、次の画面に変わります。

5 OK を押します。



→ 模様選択画面が表示され、スタート／ストップスイッチが赤く点灯します。

6 キャリッジが初期設定の位置に移動します。

⚠ 注意

- キャリッジに手や物を近づけないでください。ケガの原因となります。

お知らせ

- このミシンは、縫製途中で中断し電源を切っても、次に電源を入れたときに続きからぬうことができます。その場合は電源を入れたとき、続きをぬうか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。(P. 88「停止後、途中からぬうときは」)

ミシンを初めて使うとき

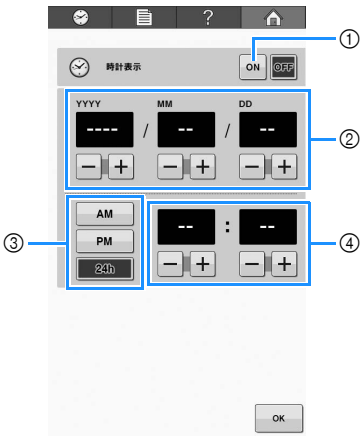
初めて本機の電源を入れたときは、言語と日時を設定してください。以下の手順に従って設定を行ってください。

1 **◄と►を押して、言語を設定します。**

2 **OKを押します。**

3 **日時設定を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。日時設定を行う場合は、OKを押し、設定をしない場合は、キャンセルを押します。**

→ 日時設定の画面が表示されます。



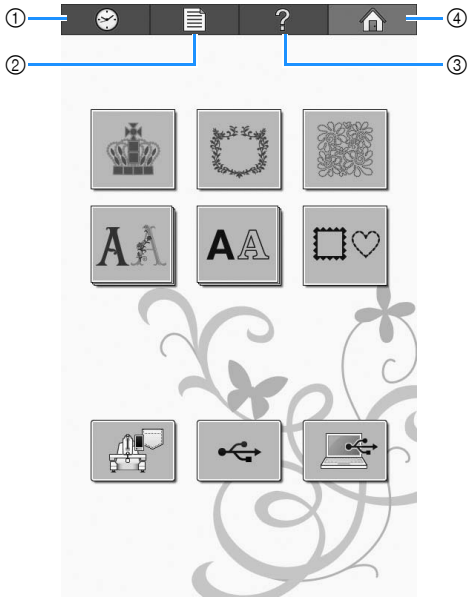
① 押して ON にすると、時刻が画面に表示されます。
② 年（YYYY）、月（MM）、日（DD）を設定します。
③ 24 時間表示／ 12 時間表示を選択します。
④ 現在の時刻を設定します。

4 **閉じるを押してミシンをスタートします。**

お願い
- 長期間ミシンを使用しなかった場合は、設定した日時がクリアされます。
- 時刻設定は、液晶画面の左上にある を押してもできます。

画面の見方

電源スイッチを入れ、OKを押すと、模様選択画面が表示されます。ここからは、操作パネル上での操作に入ります。液晶画面の取り扱いに関する注意は、P. 28 を参照してください。



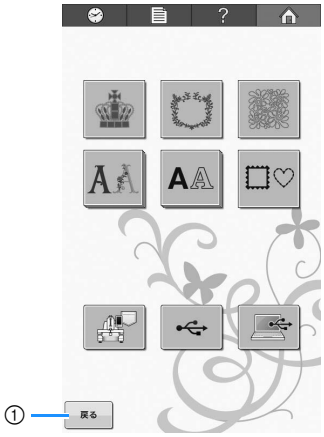
番号	画面表示	名称	説明	参照ページ
①		時計キー	時刻を設定するときに押します。	p. 31
②		設定キー	ミシンの設定を変更するときに押します。	p. 142
③		ミシンの使い方キー	使い方を確認するときに押します。	p.150
④		ホームキー	今までの作業を取り消し、最初の模様選択画面に戻るときに押します。	―

＊　ここで説明しているキーは、これから説明する画面で常に表示され、その機能を使うことができます。

操作画面の流れ

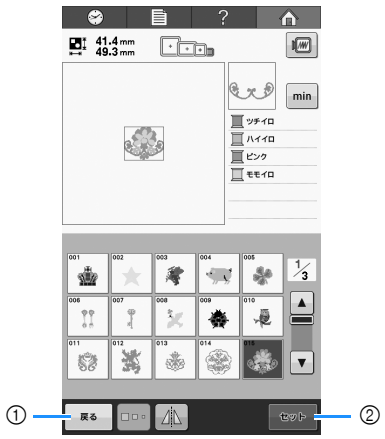
基本的な操作画面の流れは次のとおりです。

模様選択画面で、模様の種類を選びます。
(P. 39、63 参照)



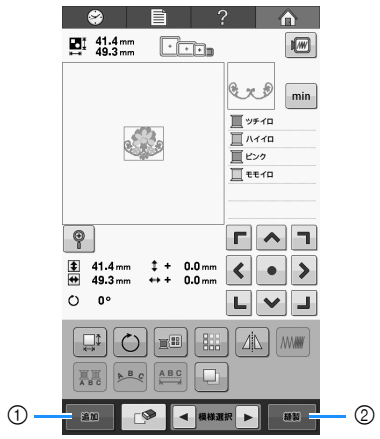
① **編集画面**に進みます。
模様を選んでいないときは、表示されません。

模様一覧画面で、模様を選びます。
(P. 39、64 参照)



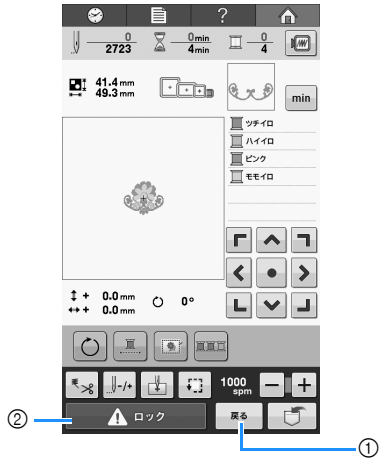
① **模様選択画面**に戻ります。
② **編集画面**に進みます。

編集画面で、個々の模様の編集をします。(P. 41、65 参照)



① **模様選択画面**に戻り、模様を追加できます。
② **縫製画面**に進みます。

縫製画面で、組み合わせをしている場合の模様全体の編集や縫製設定、縫製範囲の確認などをします。その後、上糸を配置するために糸色の順番を確認します。ロック解除キー（ロック）を押すと、スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に替わり、ミシンがスタートできる状態になります。(P. 49、67 参照)



① 編集画面に戻ります。
② ロック解除キー

2. 下糸をセットする

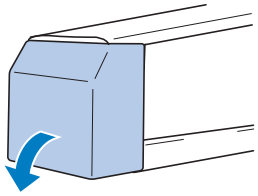
購入時は、ボビンケースのみが釜にセットされています。刺しゅう用の下糸を巻いたボビンをセットしてください。ボビンに関する注意については、P. 27 を参照してください。

お願い
- 下糸の残量はミシンに表示されません。ぬい始める前に、下糸の量が十分かを確認してください。
- ボビンを交換する度に、ボビンケースを掃除してください。(P. 166「ボビンケースの掃除」)

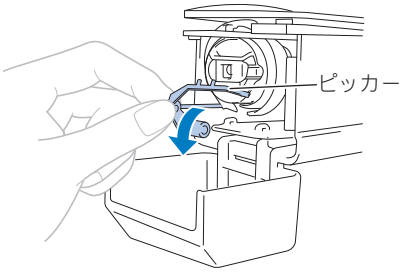
ボビンケースを取り出す

1 **釜カバーを開けます。**

手前に引きます。



2 **ピッカーを手前に引きます。**

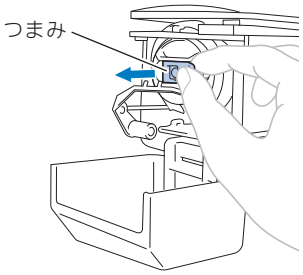


ボビンが取り出しやすくなるように、ピッカーを釜から離します。

お知らせ
- ピッカーはぬい始める時や糸を切る時に、糸を固定するための装置です。

⚠ 注意
- **ピッカーが動く範囲は決まっています。無理に動かさないでください。**

3 **ボビンケースのつまみを持って、ボビンケースを取り出します。**



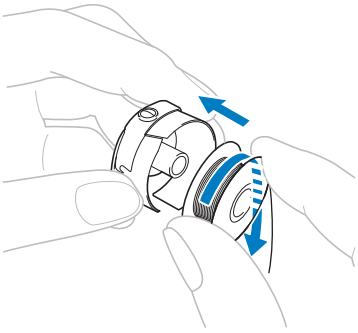
■ ミシンに注油する

ボビンケースを取り出したら、ここで注油をしてください。レース部に注油が必要です。注油のしかたについては、P.168「ミシンに注油する」を参照してください。

お願い
- 毎回ミシンを使い始める前に、必ず注油をしてから動かしてください。

ボビンをセットする

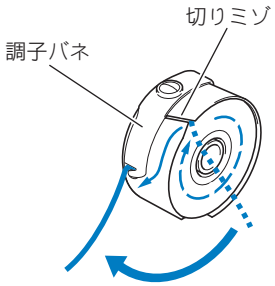
1 ボビンをボビンケースに入れます。



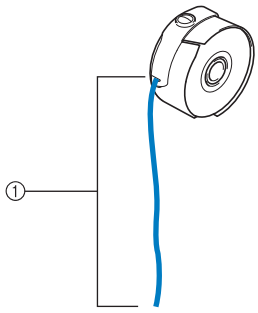
お願い

●巻き方向が図のようになっていることを確認してください。逆向きにボビンを入れると、下糸の空転が増え、縫製に不具合が生じることがあります。

2 糸を切りミゾから調子バネの下へ、すべり込ませます。



3 糸を調子バネの糸穴から引き出します。



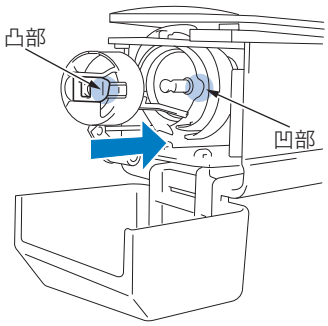
① 糸端を 5cm ほど引き出します。

● 下糸調子の調整のしかたは、P. 90「下糸の調子を調整する」を参照してください。

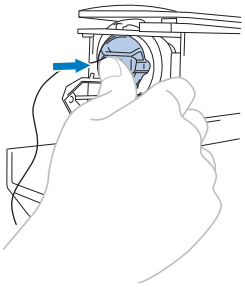
ボビンケースをセットする

1 ボビンケースを釜に取り付けます。

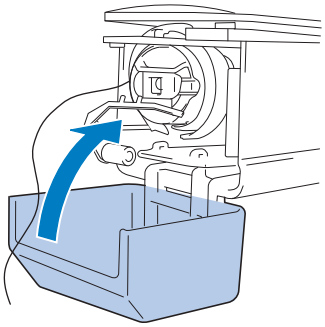
図のように、釜の凹部とボビンケースの凸部を合わせて、押し込みます。



● カチっと音がするまで、奥まで押し込んでください。



2 釜カバーを閉めます。

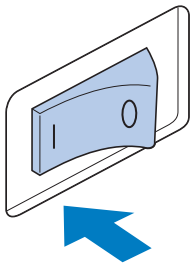


下糸を巻く

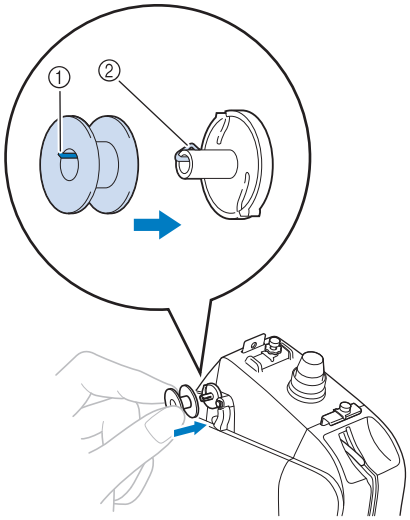
お願い
- 本機で下糸を巻くときは、付属の金属ボビンを使用してください。
- 糸案内部の丸数字は、ボビンに糸を巻くときの糸道を示しています。

下糸用の糸こまと金属ボビンを用意します。

1 電源を入れます。

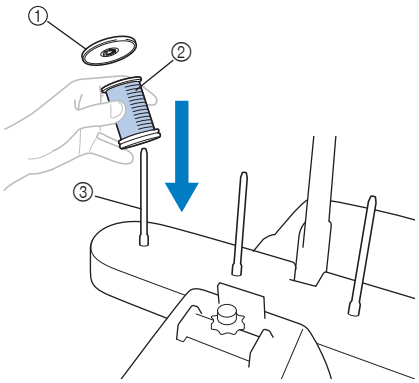


2 ボビンのミゾを下糸巻き台のバネに合わせ、ボビンを取り付けます。



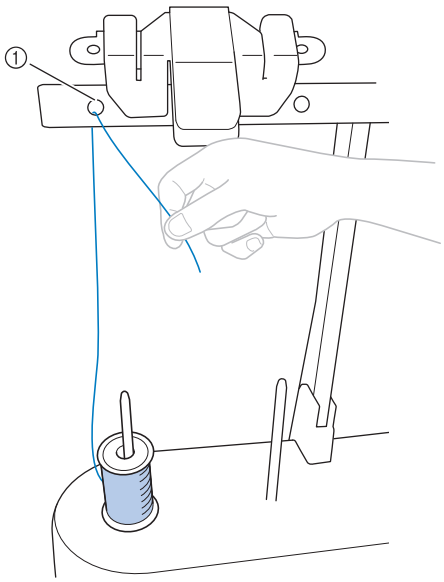
① ボビンのミゾ
② 下糸巻き台のバネ

3 糸こまを左から一番目または二番目の糸立棒に立てます。糸こまを安定させるため、糸こまの上に糸こま押えを取り付けます。



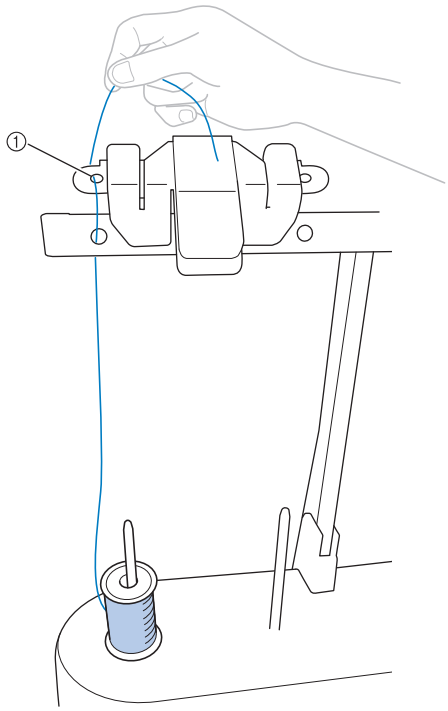
① 糸こま押え
② 糸こま
③ 糸立棒

4 糸こまの上にある糸案内の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



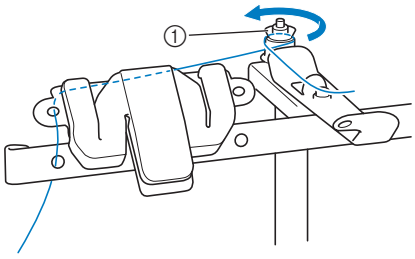
① 糸こまの上にある、糸案内の穴

5 糸案内の穴に、手前から後方に向かって糸を通します。



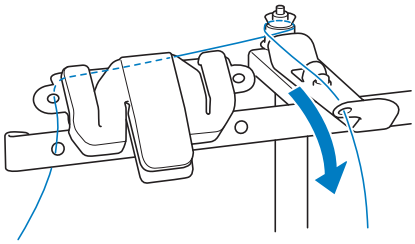
① 糸案内の穴

6 図のように、糸を調子皿に巻きつけます。糸が調子皿にきちんとかかっていることを確認します。

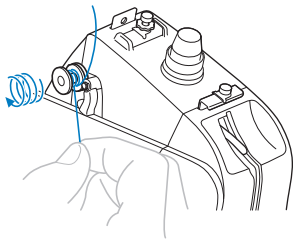


① 調子皿

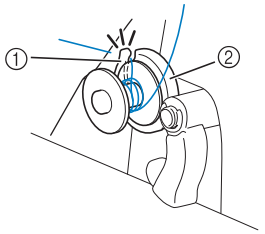
7 図のように、糸案内の穴に手前に向かって糸を通します。



8 図のように、ボビンに時計回りに 4 ～ 5 回、糸を巻きつけます。



9 下糸巻き台の案内ミゾに糸の端を通して渡し、糸を引きます。カッターが糸を切ります。

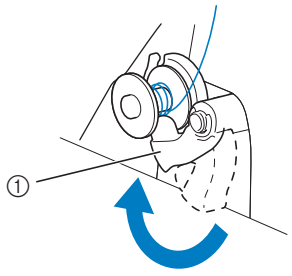


① 案内ミゾ（カッター付）
② 下糸巻き台

お願い
●必ず手順に従ってください。糸がカッターで切られずにボビンが巻かれると、縫製時にボビンがゆっくりと動いている時、下糸がボビンの周りでもつれ、針が折れることがあります。

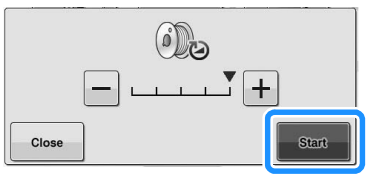
10 下糸巻きスイッチをカチッと音がするまで左に押します。

→ 液晶画面に下糸巻き画面が表示されます。



① 下糸巻きスイッチ

11 スタート を押します。



→ 下糸巻きが始まります。巻き終わると自動的に停止し、下糸巻きスイッチが元の位置に戻ります。

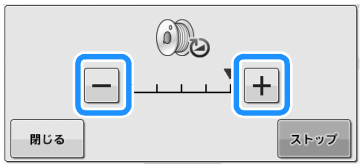
お願い

●下糸巻きの動作中は、スタート が ストップ に変わります。下糸巻きを途中で止めたいときは、ストップ を押します。

●下糸巻きの動作中は、ミシンから離れず、正しく動作していることを確認してください。下糸が絡まるなど、正しく巻かれていない場合は、ただちに ストップ を押して下糸巻きを中止してください。

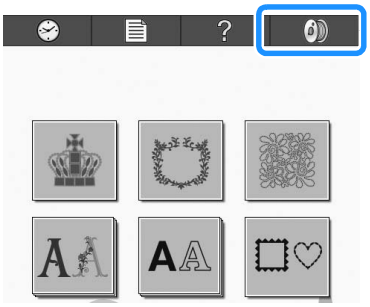
お知らせ

●下糸巻き画面で − (ゆっくり)、＋ (はやく) を押して下糸巻きの速度を調整できます。

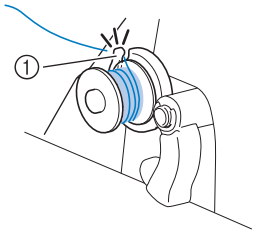


● 閉じる を押して、下糸巻き画面を最小化できます。下糸を巻いている間、模様を選んだり、糸調子を調整したり、他の操作をすることができます。

●画面の右上に表示されている を押すと、最小化された下糸巻き画面がもう一度表示されます。



12 カッターで糸を切り、ボビンを外します。



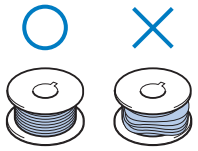
① カッター

お願い

●ボビンを外すときは、下糸巻き台をひっぱらないようにしてください。下糸巻き台が緩んだり外れたりして、ミシンが破損するおそれがあります。

⚠ 注意

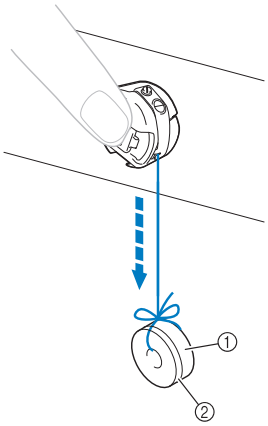
● 下糸がボビンにきちんと巻かれたことを確認してください。正しく巻かれていないボビンを使うと、針が折れたり糸調子がおかしくなったりする原因となります。



● ボビンを交換するときは、毎回必ずボビンケースを掃除してください。ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲に、糸のワックスやゴミがたまると、糸調子不良の原因となります。掃除のしかたは、P.166「ボビンケースの掃除」を参照してください。

● ボビンを入れ替えたときは、毎回下糸の糸調子を確認してください。

● ボビンを交換するときは、毎回必ず糸調子を確認してください。金属ボビンを使用する場合は、下糸おもりのLタイプとSタイプの両方を使って確認してください。下糸の調整のしかたは、P. 90「下糸の調子を調整する」を参照してください。



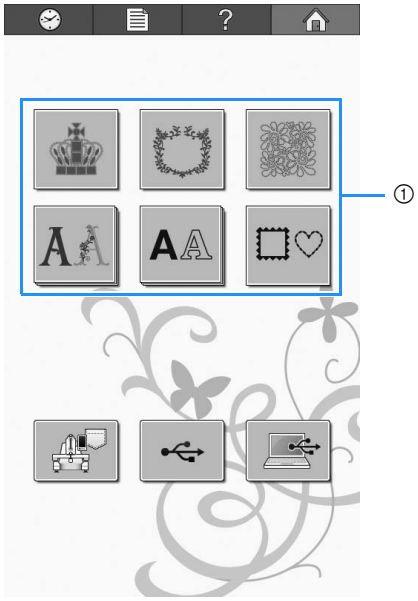
① 下糸おもり (L タイプ)
② 下糸おもり (S タイプ)

3. 模様を選ぶ

ここでは、右図の模様を例に選びます。

模様選択画面で模様のカテゴリー（種類）を選びます。

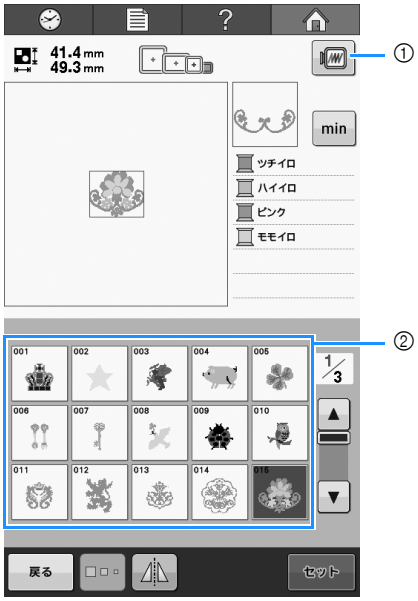
模様選択画面（画面の見方は P. 63 参照）



① カテゴリーキー

模様一覧画面で目的の模様を探し、模様を選びます。

模様一覧画面（画面の見方は P. 64 参照）



① 仕上がりイメージを確認するときに押します。
② 模様キー

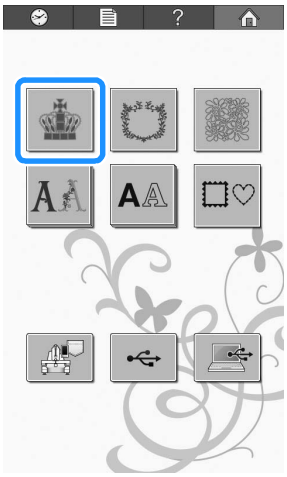
■ 模様の仕上がりイメージを確認する

を押します。

OK を押すと、模様選択画面に戻ります。

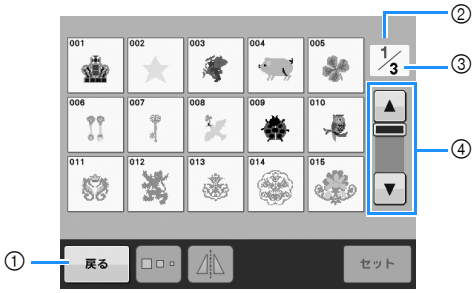
ワンポイント模様を選ぶ

1 を押して、ワンポイント模様を選びます。



→ ワンポイント模様一覧が表示されます。

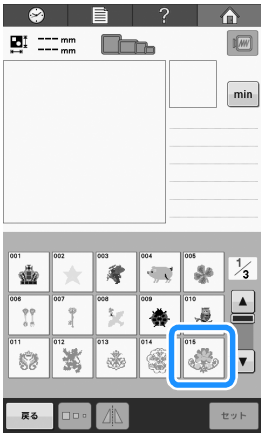
2 ▲、▼を押して、目的のページを表示します。



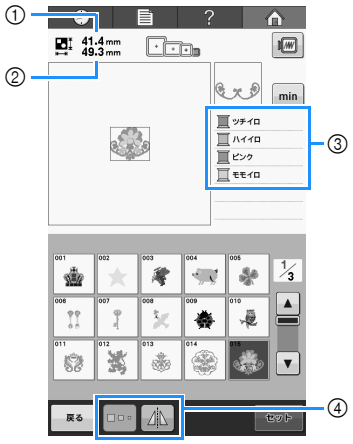
- ワンポイント模様をやめて別の模様を選びたいとき：
  ① 戻るキー
  ここを押すと、模様選択画面に戻ります。
- 複数のページがあるとき：
  ② 現在開いているページナンバー
  ③ 総ページ数
  ④ スクロールキー
  ▲、▼を押すと 1 ページずつ移動しますが、スクロールバーの上を押すと 1 度に複数ページ移動できます。

3 選びたい模様を押します。

ここでは、 を押します。



→ 模様表示エリアに、模様が表示されます。



- 模様を選ぶと、
  ① 模様の縦の長さ
  ② 模様の横の長さ
  ③ 糸情報（色／縫製時間）
  が表示されます。
  ④ のキーで、模様の大きさを変更したり、模様を左右反転させたりすることができます。模様の種類によって、できることが違います。(P. 122「大きさを変える」)
- min を押すと、各糸色の縫製時間が表示されます。
  min を押すと糸色表示に戻ります。
- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

4 セット を押して、次の画面に進みます。

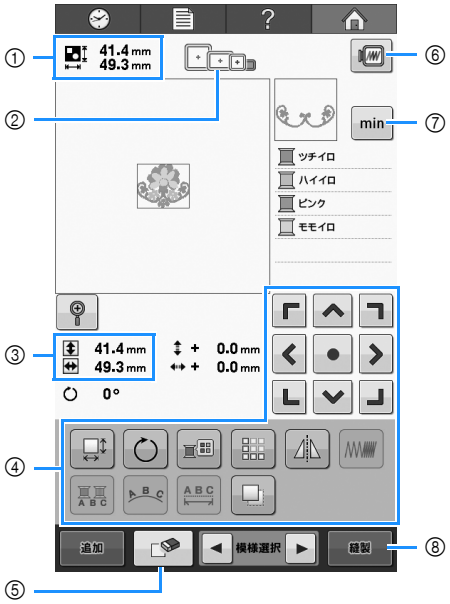
これで模様の選択が確定されます。

→ 編集画面が表示されます。

4. 模様の編集

この画面で模様を編集することができます。

編集画面 (画面の見方は P. 65 参照)



① 選択している模様の大きさを示します。
上段が縦の長さ、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含めた大きさが示されます。

② 選んだ模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。

お知らせ

● 台枠がミシンに取り付けられていない場合は、正確な刺しゅう枠の大きさを示すことができません。

③ 模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。
上段が縦の長さ、下段が横の長さです。

④ 編集する場合はこれらのキーを使います。

⑤ まちがえて模様を選んでしまった場合など、模様を削除したいときに押します。模様が何も選ばれていない状態になると、模様選択画面に戻ります。

⑥ 仕上がりイメージを確認するときに押します。

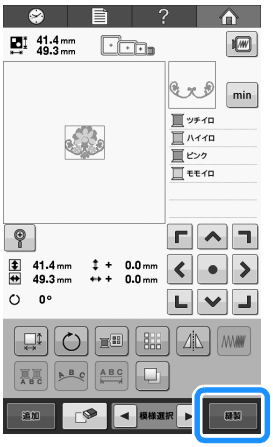
⑦ このキーを押すと、糸色情報と縫製時間の情報が切り替わります。

⑧ 次の画面に進むときに押します。

このチュートリアルでは、模様の編集は行いません。編集操作は何もしないで、次の画面に進みます。

縫製画面に進む

1 縫製 を押します。

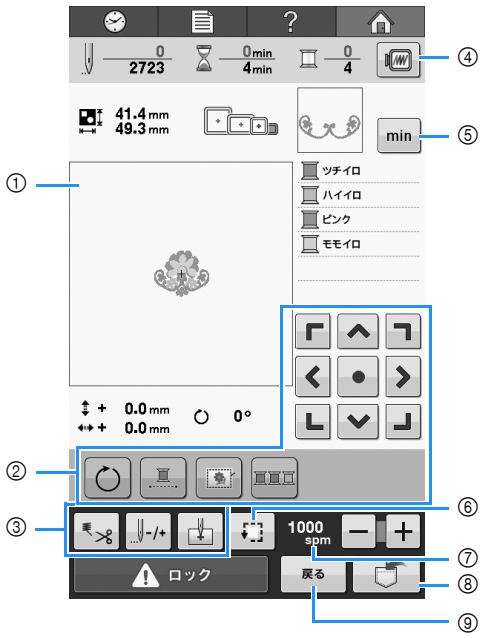


→ 縫製画面に進みます。

5. 縫製設定

この画面で模様全体の編集と縫製のしかたの設定をすることができます。また、縫製位置の確認、模様の記憶も、この画面で行います。

縫製画面（画面の見方は P. 67 参照）

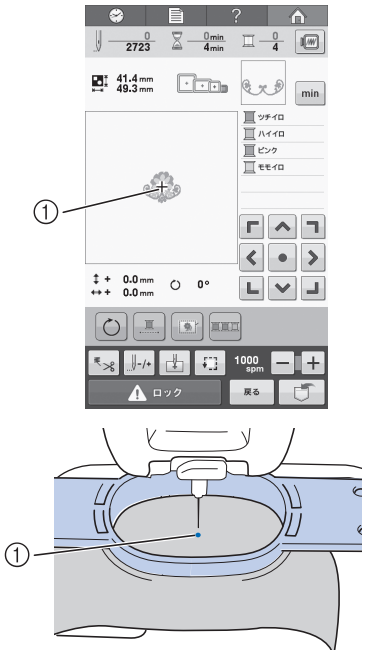


① 縫製画面では、模様表示エリアの刺しゅう枠ガイドはセットされている刺しゅう枠の大きさで表示されます。
② 編集する場合はこれらのキーを使います。
③ 縫製のしかたを設定する場合はこれらのキーを使います。
④ 仕上がりイメージを確認するときに押します。
⑤ このキーを押すと、糸色情報と縫製時間の情報が切り替わります。
⑥ 縫製範囲を確認するときに押します。
⑦ −や＋を押して縫製速度を変更します。
⑧ 模様を記憶する場合はこのキーを使います。
⑨ 編集画面に戻る場合に押します。

このチュートリアルでは、縫製設定は行いません。次の手順に進みます。

刺しゅう位置マーカー

刺しゅう画面に、針落ち位置が LED ポインターで表示されます。LED ポインターの ON ／ OFF は設定画面で切り替えることができます。（P. 149「LED ポインターを設定する」参照）



① 針落ち位置
→ LED ポインターは刺しゅうが始まると消えます。

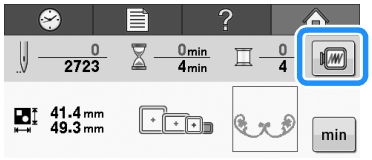
6. 仕上がりイメージを確認する

模様の仕上がりイメージを、よりぬい上がりに近い画像で確認します。

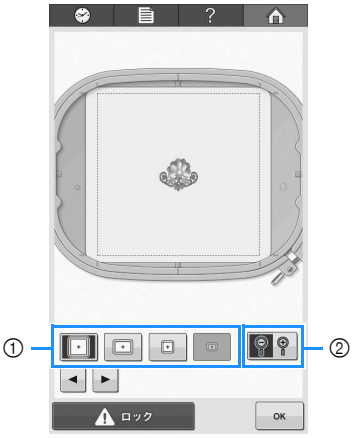
仕上がりイメージの見方

希望通りのぬい上がりになるか、刺しゅうしたときのイメージで見てみます。

1 を押します。



→ イメージが表示されます。



① 押すと、各々の大きさの刺しゅう枠で表示されます。グレーで表示されている刺しゅう枠は選ぶことができません。

② 押すと、模様を拡大して見ることできます。

お知らせ

●仕上がりイメージが横向きに表示されたとき、上下に余白があっても、表示方向を縦向きに変えることはできません。

2 ◄または►を押して台枠の種類を選び、刺しゅう枠を選びます。 を押すと、模様のみを画面いっぱいに表示できます。

- 枠表示を変更してみて、模様に最適な台枠や刺しゅう枠の大きさを決めたら、設定画面でガイド表示をその枠のガイド表示に設定し直します。(P. 74「刺しゅう枠の種類と用途」、P. 144「ガイド表示を切り替える」参照)
- もう一度 を押すと、刺しゅう枠付きの表示になります。

3 OK を押して、元の画面に戻ります。

お知らせ

●縫製画面では、仕上がりイメージを表示したまま刺しゅうを開始することができます。縫製画面以外で仕上がりイメージを表示したときは刺しゅうを開始できません。

7. 刺しゅう枠に布地を張る

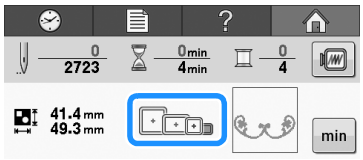
ぬう模様が決まったら、使用可能な刺しゅう枠を確認し、その枠に布地を張ります。
刺しゅう枠に布地を張る前に、薄い布地や伸びる布地は接着芯を貼っておいてください（P. 76「布地に接着芯を貼る」）。布地に関する注意については、P. 28 を参照してください。

お願い
●布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。次の手順にしたがい、布地にたるみがないよう、しっかりと張ってください。また、布地を張るときは平らな場所で行ってください。

布地の張り方

1 刺しゅう枠を選びます。

画面に表示されている刺しゅう枠を確認し、使用できる刺しゅう枠を選びます。



使用できる刺しゅう枠は濃く（）、使用できない刺しゅう枠はグレー（）で表示されます。

お知らせ
●台枠がミシンに取り付けられていない場合は、正確な刺しゅう枠の大きさを示すことができません。（P. 46）

■ 刺しゅう枠の種類

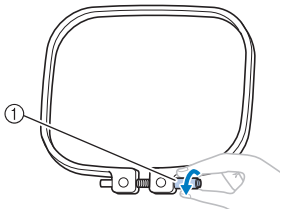
さまざまな大きさの刺しゅう枠が同梱されています。それぞれの用途については、P.74「刺しゅう枠を上手に使うには」を参照してください。

画面表示	名称
縫製範囲（ヨコ × タテ）	
	特大枠
200 mm×200 mm	
	大枠（別売）
180 mm×130 mm	
	中枠
100 mm×100 mm	
	小枠（別売）
60 mm×40 mm	
	小型枠（70）
70 mm×41 mm	
	小型枠（50）
50 mm×50 mm	
	小型枠（44）
44 mm×38 mm	
	小型枠（縦向き）
75 mm×33 mm	

⚠ 注意
● 誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガ・故障の原因となります。

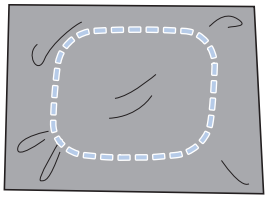
お願い
●ミシンの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠がすべて表示されますが、できるだけ刺しゅう模様の大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。（P. 74「刺しゅう枠を上手に使うには」）

2 刺しゅう枠の外枠調節ネジをゆるめます。



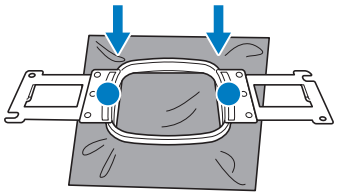
① 調節ネジ

3 外枠の上に、布地をピッと伸ばしてのせます。



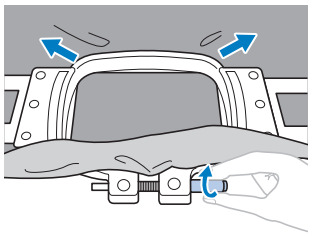
- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

4 内枠ではさみます。



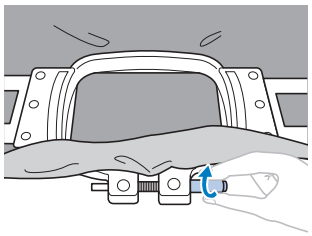
- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

5 調節ネジを軽く締め、布地の端を引っ張ります。

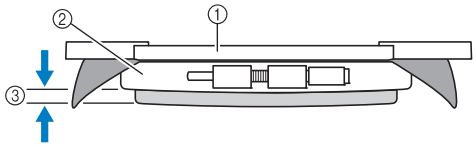


6 調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのないことを確認します。

- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。

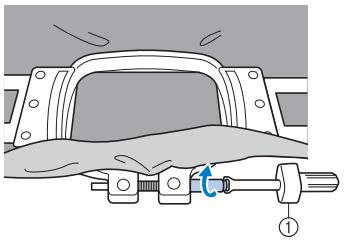


- 内枠の下部が外枠より下がるように、できるだけしっかりとはめてください。



① 内枠
② 外枠
③ 内枠の下部

- 調節ネジは付属のドライバー（大）で、しっかりと締め付けることもできます。



① ドライバー（大）

布地の種類によって、その布地に適した張り方や刺しゅう芯の使い方があります。ちょっとした工夫が、刺しゅうをきれいに仕上げます。いろいろ試してみましょう。(P. 162「枠張りのテクニック」)

8. 刺しゅう枠をミシンにセットする

刺しゅう枠に布地を張ったら、ミシンにセットします。

⚠ 注意

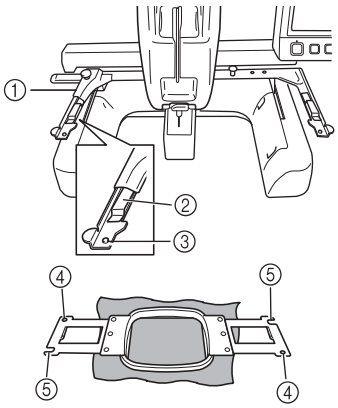
- 刺しゅう枠を正しくセットしないと、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガ・故障の原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、スタート／ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート／ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、ケガの原因となります。
- 刺しゅう枠をセットするときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。

お願い

●刺しゅう枠をセットする前に、下糸残量が十分あることを確認してください。

刺しゅう枠のセットのしかた

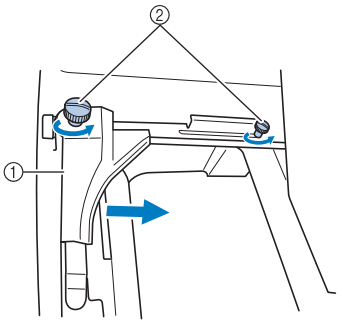
セットする刺しゅう枠の大きさに台枠の幅を合わせてから、刺しゅう枠をセットします。ここでは、中枠をセットします。



① 台枠の左アーム
刺しゅう枠の大きさに合わせて、左右に調整します。
② 台枠の受金具
ここに刺しゅう枠の取付部を挟み込みます。
③ ピン
④ 穴
⑤ 切り欠き

1 台枠の 2 本のつまみボルトをゆるめます。

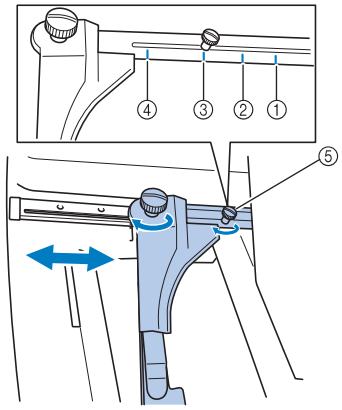
つまみボルトがきつすぎるときは、付属のドライバーを使用してください。



① 左アーム
② つまみボルト
→ 台枠の左アームが移動できるようになります。
- つまみボルトは、2 ～ 3 回、回してゆるめるだけで、外さないでください。

② 左アームを移動し、セットする刺しゅう枠のマークを右のネジに合わせ、つまみボルトを締めます。

ここでは、③ のマークを合わせます。

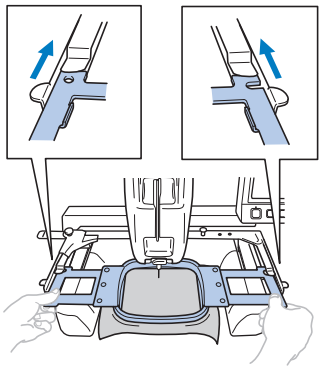


① 特大枠のマーク
② 大枠のマーク
③ 中枠のマーク
④ 小枠のマーク
⑤ マークを合わせるネジ

お願い
●付属のドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め付けてください。つまみボルトが締まっていないと、次のようなトラブルが発生するおそれがあります。
- ミシンが枠のサイズを誤って認識する
- 刺しゅう枠の原点位置がずれる
- 刺しゅう模様がくずれる

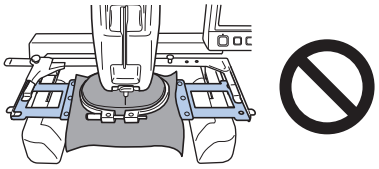
→ 台枠の準備ができました。

③ 刺しゅう枠を水平に持って、刺しゅう枠の取付部を左右同時に台枠の受金具に合わせ、挟み込ませます。

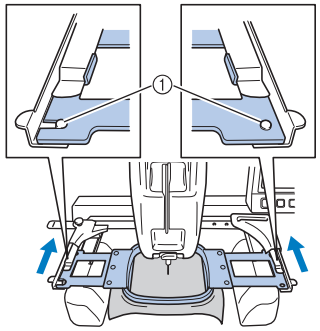


● 刺しゅう枠は内枠面を上にします。

お願い
●外枠面を上にセットしないでください。



④ そのまま奥へ刺しゅう枠を押し込みます。

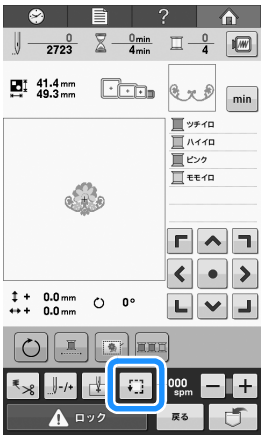


① 左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

9. 縫製範囲を確認する

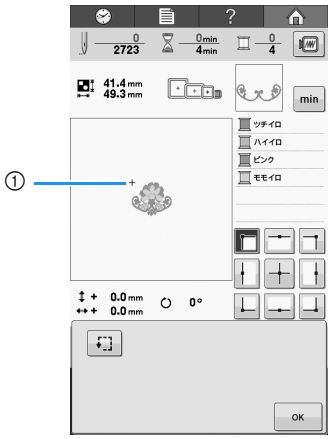
刺しゅうしたい場所とずれていないか、押えが枠に当たらないか、縫製範囲を確認します。
刺しゅう枠がぬいたい位置にない場合は、刺しゅう枠がぬいたい位置に移動してから縫製位置が示されます。

1 **[ ]を押します。**



→ 縫製位置確認画面が表示されます。

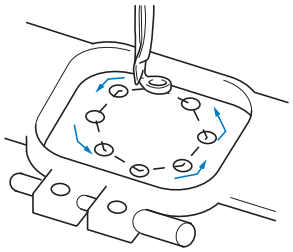
2 **[ ]の中から、確認したい縫製位置のキーを押します。**



① 選択した位置
→ 針が選択した位置に移動します。

3 **縫製範囲全体を見るには[ ]を押します。**
→ 押えが下がり、刺しゅう枠が動いて、縫製範囲を示します。

4 **模様が内接する 8 角形の角を、縫製位置にある針の下で示します。**

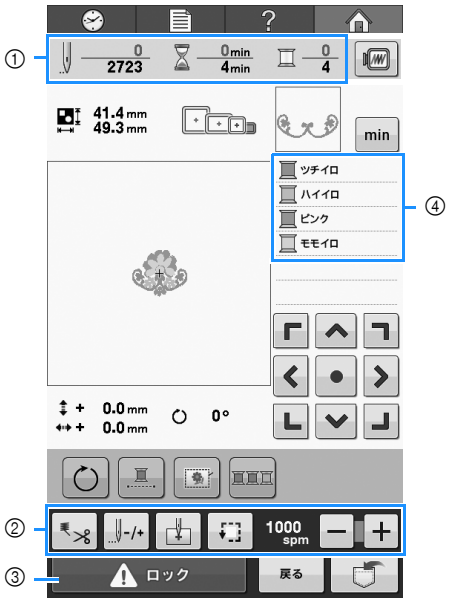


刺しゅう枠の動きをよく見て、刺しゅうしたい場所とずれていないか、刺しゅう枠と重なっていないか、確認してください。

5 **[OK]を押して、縫製位置確認画面を閉じます。**

10. 上糸をセットする

縫製画面では糸色の確認のほかに、総針数や縫製時間などの確認や、縫製に関する設定ができます。



① 針数、縫製時間、色替え数を示します。
② 縫製に関する設定をする場合に使います。
③ ミシンをスタートするとき、このキーを押してミシンロックを解除してから、スタート／ストップスイッチを押します。
④ 糸色のぬい順、または各糸色の縫製時間を示します。

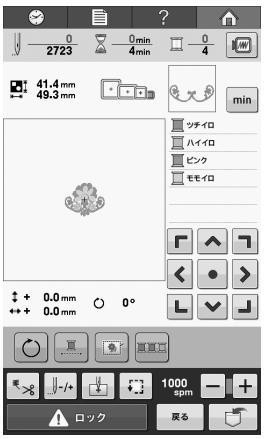
2

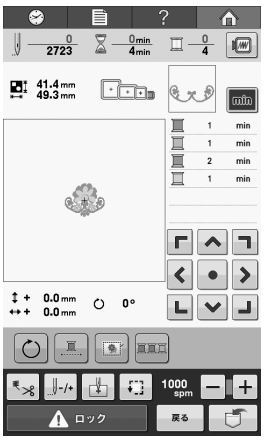
⚠ 注意

● 縫製画面で ⚠ ロック（ロック解除キー）を押すと、スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンはスタートできる状態になります。上糸をかけているときや針穴に糸を通しているときは、誤ってミシンを作動しないよう注意してください。ケガの原因になります。

糸情報の表示を変更する

1 min を押して、各糸色の縫製時間を表示させます。





2 糸色表示に戻るには、min を押します。

上糸をかける

刺しゅう用の糸を使用し、針に糸をかけます。

⚠ 注意

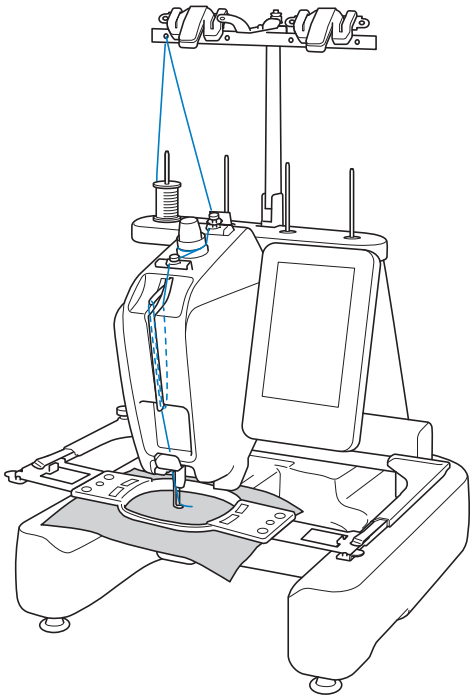
- **上糸通しは指示に従って、正しく行ってください。糸が正しく通されていない場合、糸が切れたり、糸がからんで針が折れたり、曲がったりするおそれあります。**

お願い

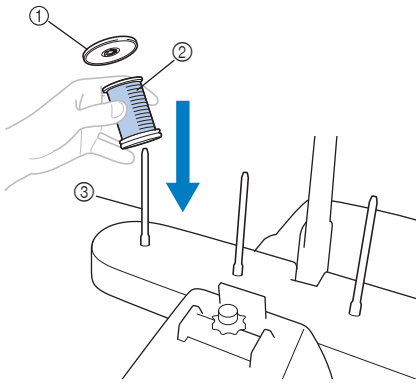
- 糸は、刺しゅう用のレーヨン糸またはポリエステル糸（den 120 x 2、# 50）を使用してください。

お知らせ

- 上糸を通す順番は、ミシン本体に線（ー）で示されています。そちらも併せて見ながら糸を通してください。

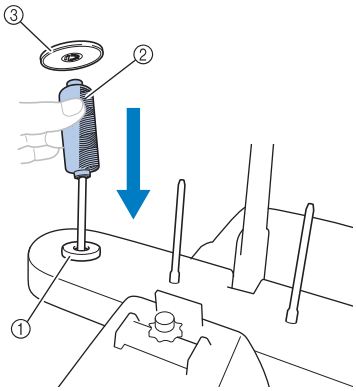


1 糸こまを４つの糸立棒のいずれかに立てます。糸こまを安定させるため、糸こまの上に糸こま押えを取り付けます。



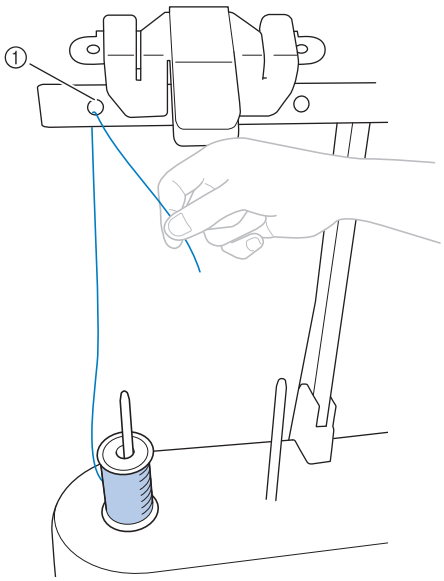
① 糸こま押え
② 糸こま
③ 糸立棒

- 小さい糸こまを使用する場合、糸立棒に糸こまを立てる前に、付属の糸こまフェルトを糸立棒に取り付けてください。



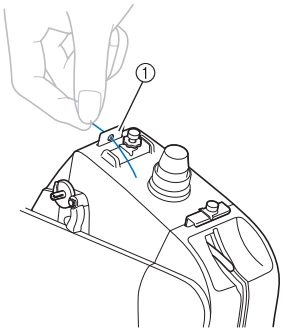
① 糸こまフェルト
② 小さい糸こま
③ 糸こま押え

2 糸こまの上にある糸案内の穴に、後方から手前に向かって糸を通します。



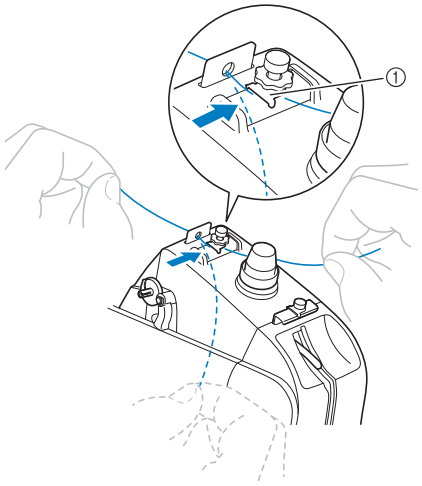
① 糸こまの上にある、糸案内の穴

3 糸案内の前面の穴に、手前に向かって糸を通します。



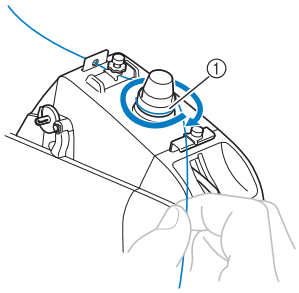
① 糸案内の前面の穴

4 糸を両手で持ち、左から案内プレートの下側に糸を通します。



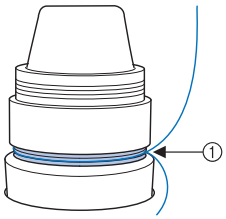
① 案内プレート

5 回転調子皿に、糸を右回りに 1 回巻きつけます。



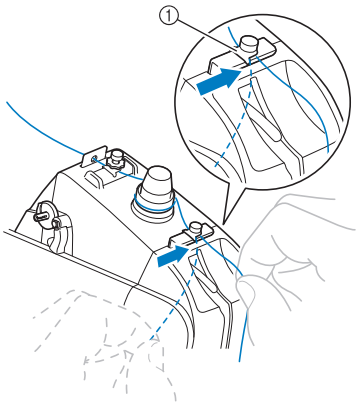
① 回転調子皿

- 糸が回転調子皿にきちんとかかっていることを確認してください。



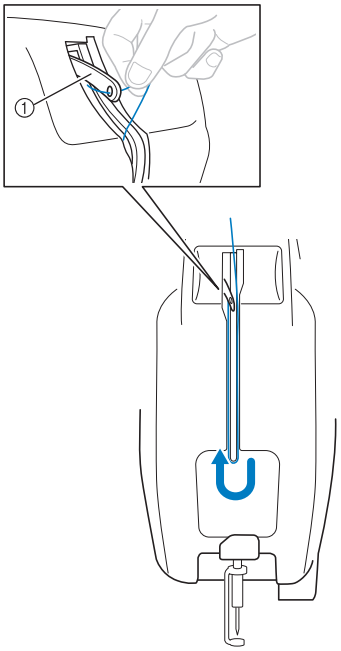
① ここを通っていること

6 糸道中のプレートの下側に左から糸を通します。



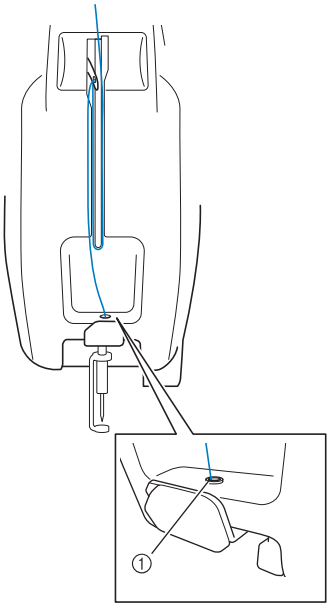
① 案内プレート

7 ミゾにそって糸を通し、天びんの穴へ右から通します。



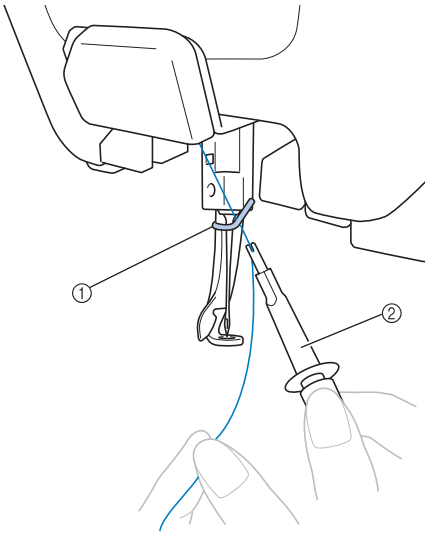
① 天びん

8 糸案内ミゾに沿って糸を引き、カバーの穴に通します。



① カバーの穴

9 付属の針交換ツールを使って、針棒糸かけに糸をかけます。

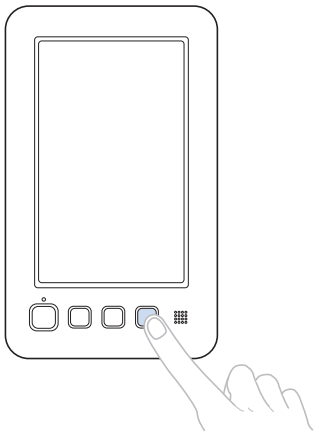


① 針棒糸かけ
② 針交換ツール

糸を針穴に通す

自動糸通し装置を使って、糸を通します。

1 自動糸通しスイッチを押します。



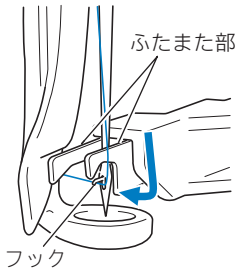
→ 自動糸通し装置のフックが針穴に入ります。

⚠ 注意

- 針が正確に取り付けられていないと、自動糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動糸通し装置のフックが折れたり破損したときは、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。
- 自動糸通し装置のフックが針穴に入っているときは、絶対にプーリーを回さないでください。自動糸通し装置が破損します。

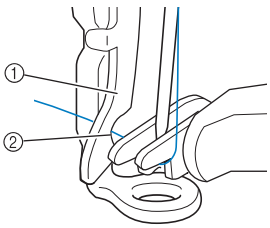
お願い
- 破損を避けるため、プーリーを回すと自動糸通し装置が後ろに戻ることがあります。

2 糸を 15cm ほど引き出します。図のように、糸を右側から自動糸通し装置のふたまた部を通して、針穴から出ているフックにひっかけます。



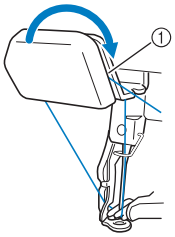
お願い
- フックにひっかけるときに、糸がたるまないよう注意してください。

3 押えの糸かけに糸をひっかけます。



① 押えの糸かけ
② 押えの糸かけのミゾ
- 押えの糸かけのミゾに、確実に糸がかかっていることを確認してください。

4 糸切り糸かけのミゾにしっかりと糸を通し、糸を軽くひっぱって切ります。

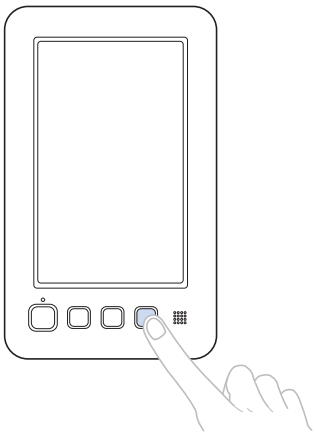


① 糸切り糸かけのミゾ

お願い

- 糸が、糸切り糸かけのミゾを正しく通っていないと “ワイパーエラー” 画面が表示され、針穴に糸を通すことができません。ミゾにしっかりと糸を通してください。
- 糸が十分に引き出されていないと、糸切り糸かけに引っかかりません。

5 自動糸通しスイッチを押します。



- 糸通しが針から後ろへ下がります。針穴を糸が通り、糸通しが後ろで待機します。
- ワイパーが出て、針と糸通しの間の糸をつかみます。
- 糸通しが元の位置に戻ります。

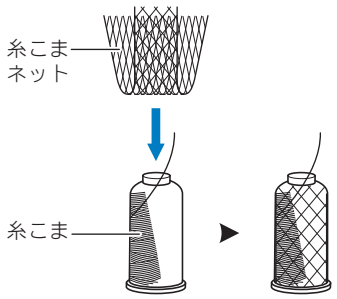
これで、上糸がセットできました。

お願い

- 糸だるみがあると、回転調子皿から糸が外れていることがあります。糸をかけ終わったら、回転調子皿にきちんと糸がかかっているか、再度確認してください。(P. 52 手順 5 参照)

■ 糸こまネットを使う

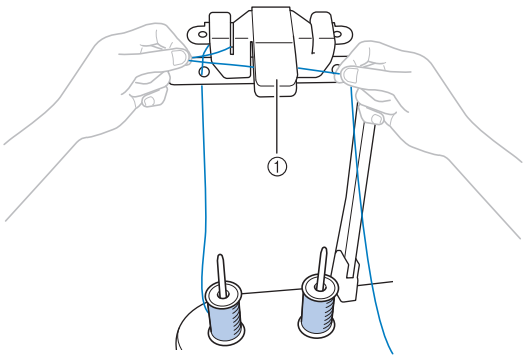
ナイロン透明糸やメタリック糸などの張りが強い糸を使用する場合、ぬい始める前に、糸こまに付属の糸こまネットを取り付けてください。糸こまネットが長すぎるときは、糸こまに取り付ける前に、一度糸こまのサイズに合わせて折り曲げてください。また、糸こまネットを使用するときは、糸調子を調整する必要がある場合があります。



簡単な糸こま交換のしかた

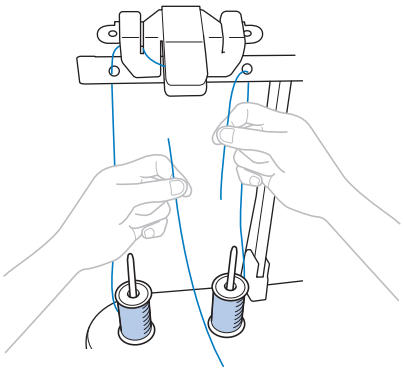
糸こまを交換するときは上糸のかけ直しが必要になります。糸が正しくかけられている糸こまを交換する場合は、簡単に交換できる方法があります。

1 糸こまと糸案内の間で糸を切ります。

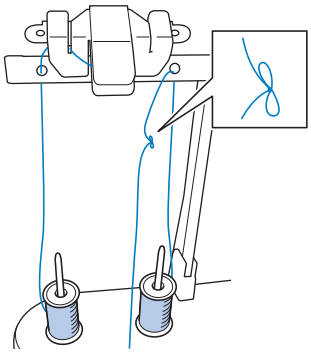


① 糸切り

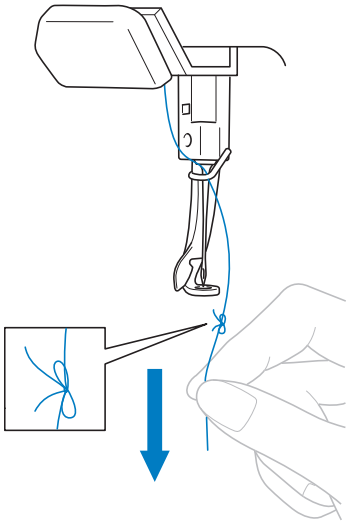
2 糸こまを交換します。



3 **糸の端に、交換後の糸こまの糸を結び付けます。**



4 **糸道下の穴の下と針棒糸かけの間で、糸を引っ張ります。**



糸の結び目が来るまで、引っ張ります。
結び目を切ります。

5 **糸を針棒糸かけに通し、自動糸通し装置を使って針に通します。(P. 53「糸を針穴に通す」参照)**

→ これで糸こま交換が完了しました。

お願い
- 糸を引くときに、針穴に通した先では引かないでください。結び目が針穴を通ると、針が損傷するおそれがあります。

11. 刺しゅうをぬう

それでは、ぬってみましょう。
ミシンをスタートすると自動的に押えが下がり、ぬい終わりには、必要な糸の処理がされます。

⚠ 注意

- 安全のため、縫製中はミシンから離れないでください。
- 縫製中は、針の動きに十分注意してください。また、針、天びん、キャリッジなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。ケガの原因となります。

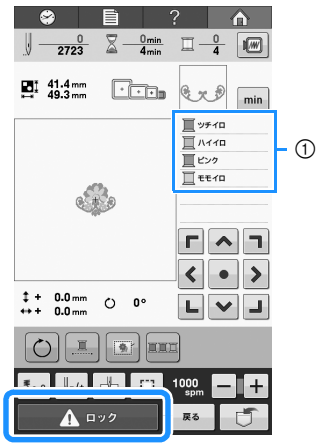
■ ミシンロック機構について

安全のため、このミシンはミシンロック機構が採用されています。
通常、ミシンはスタートできない（ロックされた）状態になっています。ロックを解除しないと、ミシンをスタートすることができません。ロック解除の状態は 1 回の操作につき約 1 秒間で、その間にミシンがスタートされなかった場合は自動的にロック状態に戻ります。
ロック状態かロック解除状態かは、スタート／ストップスイッチの色で見分けることができます。赤色の点灯はロック状態を、緑色の点滅はロック解除状態をそれぞれ示しています。

ミシンをスタートする

お願い
●刺しゅう枠が動く範囲に、物を置かないようにしてください。刺しゅう枠が当たり、模様くずれの原因となります。

1 ⚠ ロック を押し、ミシンロックを解除します。



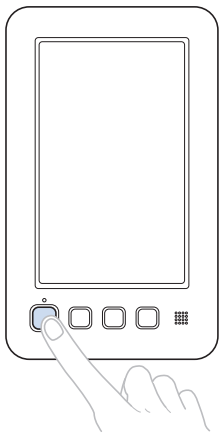
① 現在縫製中あるいはすぐ後に縫製される糸色が、ぬい順表示の先頭に表示されます。残りの糸色は、ぬい順に上から並んで表示されます。

→ スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に変わり、ミシンをスタートできる状態になります。

- ロック解除後、約 10 秒以内にスタート／ストップスイッチを押さないと、ミシンはロック状態に戻ります。

2 スタート／ストップスイッチを押します。

スタート／ストップスイッチが緑色に点滅している間に押します。赤色の点灯に戻ってしまった場合は、手順 1 からやり直してください。



→ スタート／ストップスイッチが緑色の点灯に変わり、1 色目をぬい始めます。

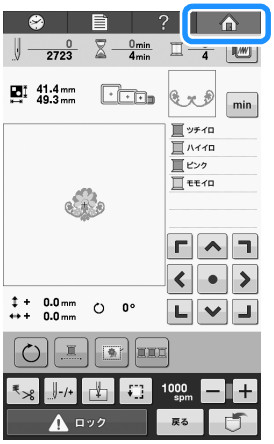
- 縫製中は、模様表示エリアの緑色の十マークが現在ぬっているぬい目を示します。また、針数、時間はカウントされていきます。

3 1 色目がぬい終わると、自動的に止まって糸を切ります。

- ぬい始めやぬい終わりの糸の処理は、必要ありません。

■続けて刺しゅうをするときは

新しい模様を選びたい場合は[ ]を押します。



→ 模様選択画面が表示されます。

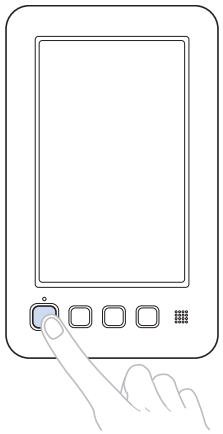
お願い
- ぬっている最中でも、縫製スピードを変えることができます。(P. 98「縫製最高速度設定」)

途中でミシンをストップするには

縫製中にミシンをストップすることができます。

■一時停止する

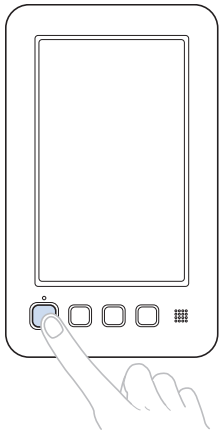
1 スタート／ストップスイッチを押します。



→ ミシンが止まり、スタート／ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。
- 自動糸切りはされません。
- 続きをぬうときは、上糸がたるんでいないか確認をしてから、ロック解除キー、スタート／ストップスイッチを押します。

■一旦電源を切ってから続きをぬう

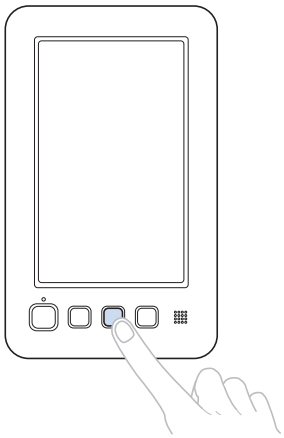
1 スタート／ストップスイッチを押します。



→ ミシンが止まり、スタート／ストップスイッチが赤色の点灯に変わります。
- 糸は切れていません。

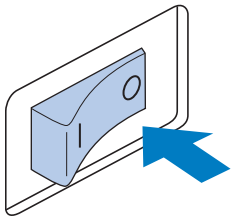
2 [ロック]を押し、ミシンロックを解除します。

3 糸切りスイッチを押します。



→ 上糸と下糸が切れます。
- 一旦電源スイッチを切る場合は、必ず糸を切ってください。

4 電源スイッチの “○” 側を押します。



→ 電源が切れ、画面表示とスタート／ストップスイッチの点灯が消えます。
- 次に電源スイッチを入れたとき、続きからぬうことができます。ただし、ぬい目を少し戻す必要があります。詳しくは、P.88「停止後、途中からぬうときは」を参照してください。

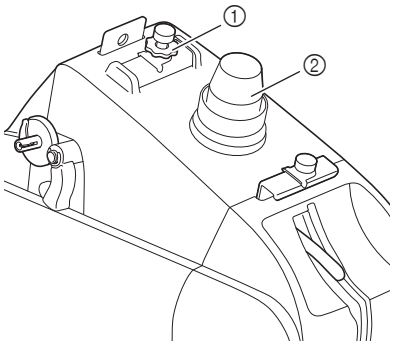
■ 途中で糸が切れてしまったら

糸切れなどの不具合が発生すると、ミシンは自動的に止まります。
切れた糸をセットし直し、ぬい目を戻し、続きをぬいます。詳しくは、P.84「途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは」を参照してください。

12. 糸調子を確認する

正しい糸調子で仕上がっているか、刺しゅうを見てみましょう。糸調子が正しく調整されていないと、ぬい目がきたなくなったり布地にしわがよったりします。

上糸の調子は、糸調子つまみや糸道上糸調子つまみで調整することができます。



① 糸道上糸調子つまみ
② 糸調子つまみ

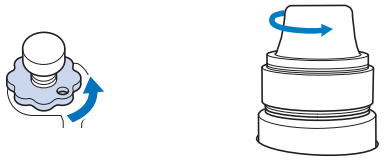
■ 正しい糸調子

布地の裏側に、下糸がぬい目の幅の 3 分の 1 程度見えるくらいです。

次のように仕上がっていたら、糸調子不良です。正しい糸調子に調整してください。

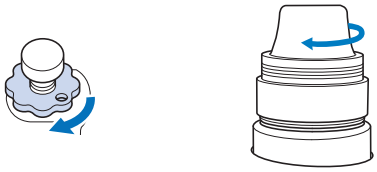
上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。

糸調子つまみまたは糸道上糸調子つまみを反時計回りに回し、弱くします。



上糸が弱すぎて上糸がたるみ、糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができています。

糸調子つまみまたは糸道上糸調子つまみを時計回りに回し、強くします。



糸調子の調整は、P.90「糸調子を調整する」を参照してください。

お願い

- このチュートリアルでは、ぬい上がった刺しゅうで糸調子を確認しましたが、通常は各色部分が 100 針ほどぬい上がった時点で、一時停止して確認してください。
- 布地の種類や厚さ、芯の種類などによっては、きれいに仕上がらないことがあります。実際の刺しゅうの前に、ためしぬいをして確認してください。

13. 刺しゅう枠、布地を外す

ぬい終わったら、刺しゅう枠を外し、布地を刺しゅう枠から外します。

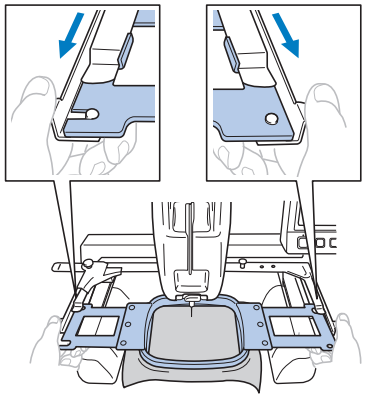
刺しゅう枠の外し方

⚠ 注意

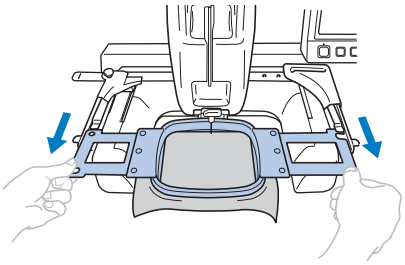
- 刺しゅう枠を外すときは、スタート／ストップスイッチが赤色で点灯していることを確認してから行ってください。スタート／ストップスイッチが緑色で点滅しているときは、ミシンはスタートできる状態です。誤ってミシンが作動すると、ケガの原因となります。
- 刺しゅう枠を外すときは、刺しゅう枠がミシンの各部品に当たらないように注意してください。
- 台枠を無理に持ち上げないでください。破損の原因となります。

1 刺しゅう枠の左右の取付部を両手で持ち上げ、少し浮かせます。

取付部の穴を台枠のアームのピンから外します。

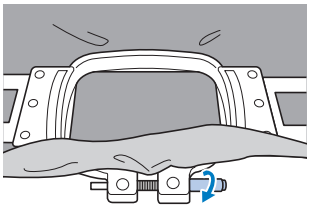


2 そのまま、刺しゅう枠を手前に引いて取り外します。



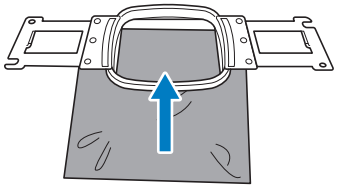
布地の外し方

1 外枠調節ネジをゆるめます。



→ 調節ネジをドライバーで締め付けた場合は、ドライバーでゆるめます。

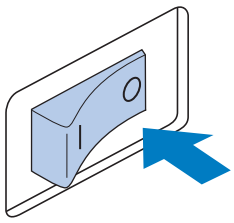
2 外枠を外し、布地を外します。



14. 電源を切って終了する

ミシンを使い終わったら、電源を切って作業を終了します。

1 **電源スイッチの右側（○側）を押します。**



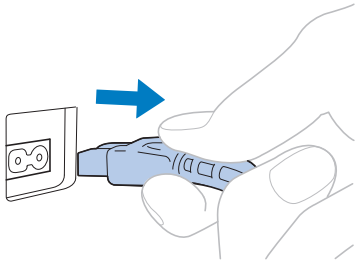
→ 電源が切れ、液晶画面とスタート／ストップスイッチの点灯が消えます。

2 **電源プラグをコンセントから抜きます。**

電源プラグを持って抜いてください。

3 **必要に応じて、電源コードをミシンから抜きます。**

電源コードはなくさないように保管してください。

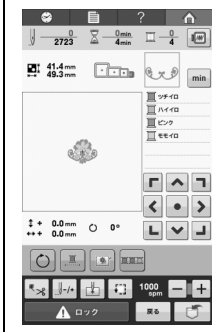


お願い

●運転中に停電が発生したときは、電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。再度ミシンを動かす場合は、手順に従って正しく操作してください。(P. 30「1. 電源を入れる」)

お知らせ

●縫製が一旦終了しミシンが休止しているときに電源を切った場合、電源を再び入れると縫製の続きを行えます。(P. 88「停止後、途中からぬうときは」)



休止中に
電源を切る

↓

電源を入れる

↓

オープニング画面の後に

↓

画面早見一覧

各画面の表示やキーの説明を一覧にしています。

キー表示について

キーの色は、次の意味を表しています。

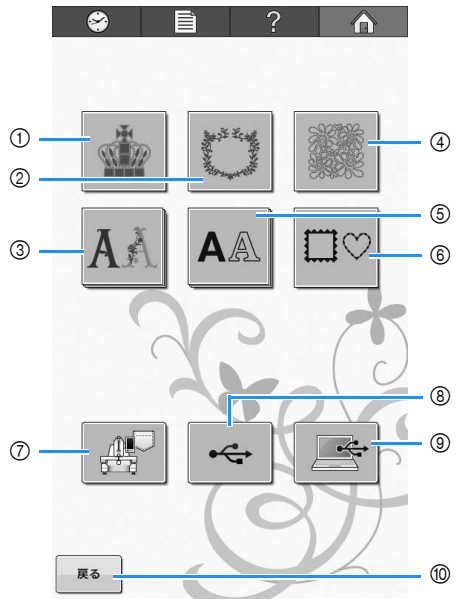
（通常表示）　：選ばれていません。（選ぶことができます。）

（濃い色の表示）：このキーは選ばれています。

（グレー表示）　：このキーは選ぶことができません。

模様選択画面の見方

「模様選択画面」で、模様の種類を選びます。

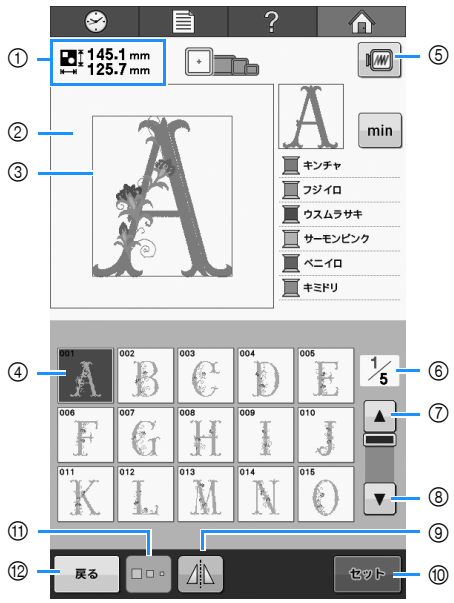


番号	画面表示 名称		説明	参照ページ
①	ワンポイント模様キー	内蔵模様	内蔵されている絵柄の刺しゅう模様が選べます。	p. 108
②	枠飾り模様キー		枠飾り模様を組み合わせて、上品な模様をつくることができます。	p. 108
③	アルファベットキー		ギリシャ文字を含む様々なデザインのアルファベット模様です。	p. 108
④	キルトキー		シンプルで実用的なキルトデザインです。	p. 108
⑤	文字模様キー		大文字、小文字、数字、記号、欧文文字、ひらがな、カタカナを選ぶことができます。	p. 109
⑥	枠模様キー		○型や□型など 10 種類の枠型に 14 種類のステッチを組み合わせて選ぶことができます。	p. 108
⑦	ミシンに記憶した刺しゅう模様キー		ミシンに記憶した模様を呼び出します。	p. 115

番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑧	USB メディアキー	USB メディアから模様を呼び出します。	p. 116
⑨	パソコン（USB）キー	付属の USB ケーブルでパソコンとミシンを接続し、パソコンから模様をミシンに転送して呼び出します。	p. 117
⑩	戻るキー	模様を追加するために模様選択画面に戻ったときに、追加をやめる場合に押します。編集画面に進みます。模様を選んでいないときは、押すことはできません。	p. 119

模様一覧画面の見方

「模様一覧画面」で、模様（模様データ）を選びます。



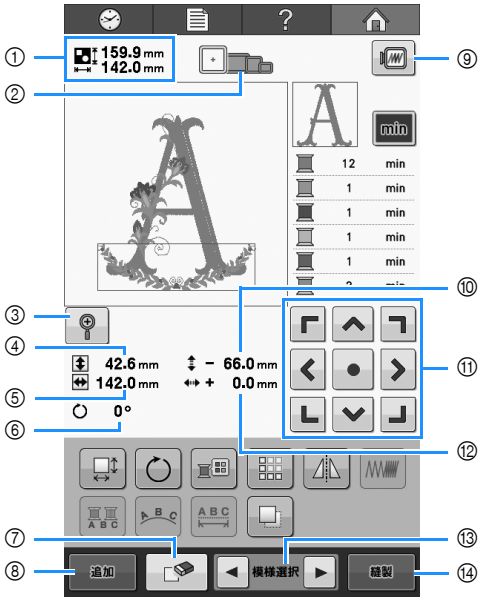
番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
①	145.1 mm 125.7 mm 大きさ	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	
②	模様表示エリア	選択した模様が表示されます。	
③	刺しゅう範囲表示	大枠の縫製範囲を示しています。刺しゅう枠の表示やグリッドライン、その他の画面表示の設定はミシンの設定画面で設定できます。	p. 144
④	模様キー	模様の絵柄がキーに表示されます。このキーを押して、模様を選びます。	p. 107
⑤	イメージキー	模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	p. 43
⑥	1/5 ページ	現在開いているページナンバーと総ページ数を示します。	
⑦	▲ 前のページへキー	押すと、前のページが表示されます。	p. 107
⑧	▼ 次のページへキー	押すと、次のページが表示されます。	p. 107

番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑨	左右反転キー	模様を左右に反転することができます。	p. 121
⑩	セット セットキー	模様を選んだら押します。模様の選択を確定して、編集画面に進みます。	p. 107
⑪	大きさキー	模様キーを押して選んだ模様の大きさを選ぶことができます。	p. 110
⑫	戻る 戻るキー	現在選んでいる模様のカテゴリーをやめて、他のカテゴリーを選び直す場合に押します。模様選択画面に戻ります。	p. 107

＊ ⑨、⑪ は、模様によっては編集できるものとできないものがあります。

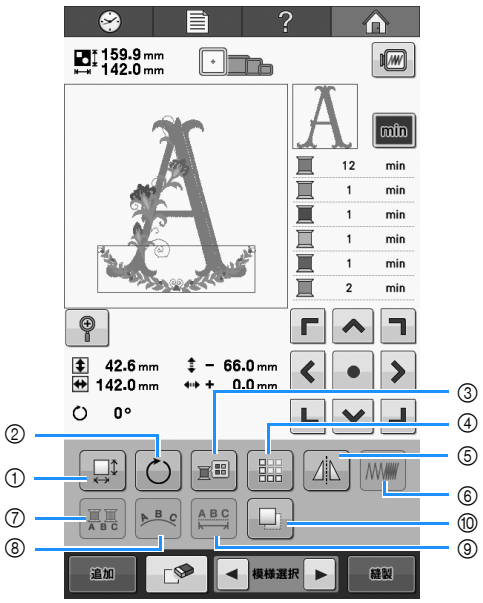
編集画面の見方

「編集画面」で、模様を個別に編集します。



番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
①	159.9 mm 142.0 mm 大きさ	模様表示エリアに表示されている模様の大きさを示します。上段が縦、下段が横の長さです。複数の模様を組み合わせている場合は、すべての模様を含む全体の大きさを示しています。	–
②	適応枠表示	模様表示エリアに表示されている模様をぬうことができる刺しゅう枠を示します。	p. 44
③	拡大キー	模様を 200% まで拡大表示します。	p. 120
④	42.6 mm 大きさ（縦）	編集対象となっている模様の縦の長さを示しています。	–
⑤	142.0 mm 大きさ（横）	編集対象となっている模様の横の長さを示しています。	–
⑥	0° 回転角度	編集対象となっている模様を回転したときの回転角度を示します。	p.123
⑦	削除キー	模様を削除します。押すと、編集対象となっている模様が削除されます。	p.135
⑧	追加 追加キー	模様を追加します。押すと、模様選択画面が表示されます。	p.119
⑨	イメージキー	模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	p.43

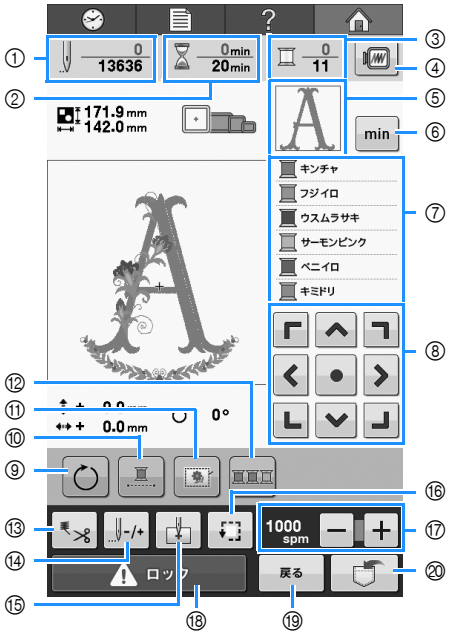
番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑩	- 66.0 mm 中心からの距離（縦）	編集対象となっている模様を移動したときの縦の移動距離を示します。	p.121
⑪	移動キー	矢印の方向に編集対象になっている模様のぬい位置を移動することができます。（●を押すと、ぬい位置が刺しゅう範囲の中心に戻ります。）	p.121
⑫	+ 0.0 mm 中心からの距離（横）	編集対象となっている模様を移動したときの横の移動距離を示します。	p.121
⑬	模様選択 模様選択キー	複数の模様を組み合わせている場合に、編集する模様の対象を変えることができます。	p.121
⑭	縫製 縫製キー	編集が終了したら押します。次の縫製画面に進みます。	p.41



番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
①	 大きさキー	編集対象となっている模様の大きさを変えることができます。	p.122
②	 回転キー	編集対象となっている模様を回転することができます。	p.123
③	 配色キー	模様の色を変えることができます。	p.126
④	 繰り返しキー	繰り返し模様（ボーダー模様）を作ったり、編集したりできます。	p.127
⑤	 左右反転キー	編集対象となっている模様を左右に反転することができます。	p.121
⑥	 糸密度キー	編集対象となっている模様の密度を変えることができます。 文字模様と枠模様を選んでいる場合のみ使えます。	p.126
⑦	 色替えキー	アルファベット・ひらがな・カタカナ模様を 1 文字ずつ色を変えることができます。アルファベット・ひらがな・カタカナ模様を選んでいる場合のみ使えます	p.126
⑧	 配列キー	押すと、編集対象となっているアルファベット・ひらがな・カタカナ文字模様の配列を変更することができます。	p.124
⑨	 文字間キー	編集対象となっている文字模様の間隔を変えることができます。	p.124
⑩	 コピーキー	模様をコピーできます。	p.134

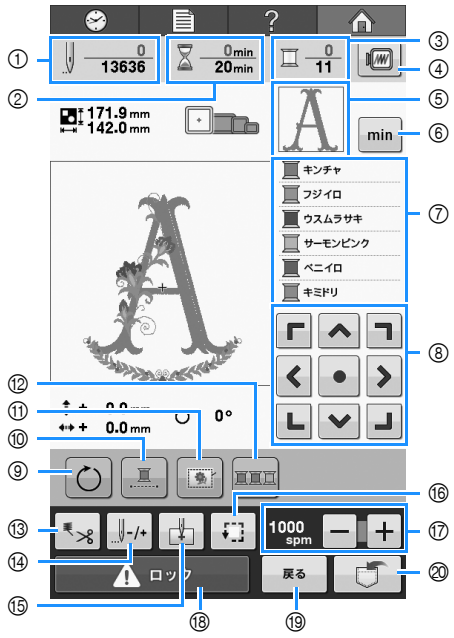
縫製画面の見方

「縫製画面」で、糸色や針数、ぬい順、縫製時間を確認します。また、ぬい目を戻す／進める設定をすることができます。



番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
①	針数	下段は模様の針数の総数、上段は現在ぬい終わった針数を示します。	
②	縫製時間	下段は模様をぬうのに必要な総所要時間、上段はぬい終わった時間を示します。	
③	糸色交換回数	下段は模様の総色替え数、上段は現在ぬっている糸色の順番を示します。	
④	イメージキー	押すと、模様のイメージ画像が表示され、仕上がりイメージを見ることができます。	p. 43
⑤	部分表示	ぬい順表示の 1 番上の色糸でぬわれる部分の形が表示されます。	
⑥	糸情報（色／縫製時間）	糸色のぬい順表示を各糸色の縫製時間表示に変更します。	p. 49
⑦	ぬい順表示	糸色のぬい順を示します。縫製中はスクロールし、現在縫製している糸色が 1 番上に表示されます。	

番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑧	移動キー	ぬう位置を調整できます。押すと、矢印方向に枠が移動します。（●を押すと、枠の中心が模様の中心に戻ります。）	p. 82
⑨	回転キー	複数の模様を組み合わせている場合は、模様全体を回転することができます。	p. 82, p. 136
⑩	連続刺しゅうキー	選択した模様を 1 色（単色）でぬいます。	p. 99
⑪	しつけぬいキー	布に接着芯が貼られていない場合、模様の周囲にしつけぬいをして、ぬい目が縮んだり模様がずれたりするのを防ぐことができます。	p. 94
⑫	糸色並べ替えキー	縫製順を、同じ色を連続して縫うように並べ替えます。	p. 99



番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑬	 糸切りキー	自動糸切りまたは渡り糸切りの設定します。	p. 100
⑭	 ぬい目戻る／進むキー	ぬい目を戻したり、進めたりすることができます。次のような場合に使います。 ●縫製の途中で糸が切れたり、なくなったりしたとき ●始めからぬい直したいとき ●一旦電源を切ってから、続きをぬうとき	p. 84
⑮	 開始位置キー	縫製開始時の針位置を指定します。	p. 95
⑯	 ためしキー	押すと、刺しゅう枠が移動して、ぬう位置を確認することができます。	p. 48
⑰	 縫製最高速度設定キー	縫製最高速度を設定することができます。	p. 98
⑱	 ロック解除キー	約 10 秒間、ミシンをスタートできる状態にします。押すと、スタート／ストップスイッチが緑色の点滅に替わります。	p. 56
⑲	 戻るキー	縫製を取り消して、編集画面に戻りたいときに押します。	

番号	画面表示 名称	説明	参照ページ
⑳	 記憶キー	模様をミシン本体や USB メディア、パソコンに記憶することができます。	p. 114

お知らせ

●ぬい順表示と色替え表示の糸番号は、色名や他のブランドの糸番号などに切り替えることができます。(P. 145「糸色表示を切り替える」。)

わからないことがあるときの参考

専門用語

■ DST

刺しゅう模様のフォーマットの 1 つ、タジマフォーマットファイルの拡張子（*.dst）です。タジマフォーマットには色情報がないので、模様呼び出し時にミシンが自動的に色を割り当てます。(P. 160 参照)

■ ワイパー

糸を引くための装置です。自動針穴糸通し装置を使用するときに、ワイパーが糸を引きます。また、ミシンが糸を切るときも、ワイパーが布から糸を引きます。これで、刺しゅう後の上糸処理が不要になります。(P. 54 参照)

模様

ミシンでは次の模様を刺しゅうすることができます。

- *.pes、*.phc、*.dst フォーマットの刺しゅうデータ USB メディアからデータをミシンへ転送します。また、USB ケーブルでパソコンからミシンへデータを転送することもできます。
- 刺しゅうカード（別売）
- 刺しゅう PRO で作成した刺しゅう模様
- ミシンにより USB メディアに保存された模様

刺しゅう

■ 初期設定の色の替わりに、自分が刺しゅうしたい色を設定する

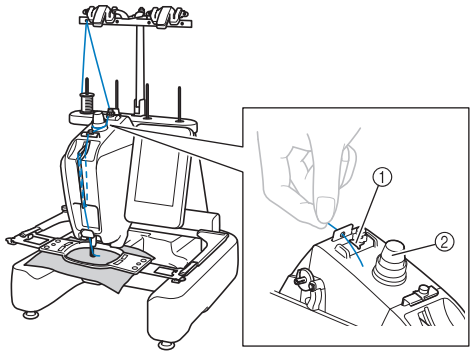
- 編集画面で 64 色パレットあるいはユーザーパレットから糸色を選べる機能があります。詳細は P. 130「ユーザーパレットを作る」と P. 133「ユーザーパレットから色を選ぶ」を参照してください。

■ 縫製の途中で刺しゅうを中止して電源を切り、後で刺しゅうを再開する

- ミシンは電源を切った後でも模様と位置を記憶します。そして、再び電源を入れると、ミシンは刺しゅうを再開します。(P. 88「停止後、途中からぬうときは」)

■ 糸切れエラーが発生する

- 上糸が糸道上を通っていることを確認します。(P. 51 参照)
- 上糸が回転調子皿の糸調子ダイヤルに 1 回巻きついていることを確認します。(P. 52 参照)
- 回転調子皿に糸くずやほこりがたまっていないかを確認し、たまっていれば取り除いてください。(P. 167「糸調子つまみを分解して掃除する」)



① 糸道上
② 回転調子皿の糸調子ダイヤル

■ 糸調子が突然変わった

- 糸が、上糸こまの端の粗い部分に引っかかった。
- 上糸が糸こまの下に引っかかった。
- 糸のちりや糸くずがボビンケースの調子バネの下にたまっている。

■ 枠がキャリッジからはずれる

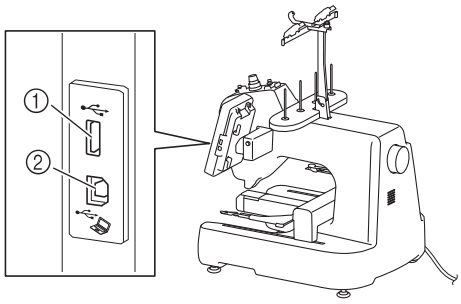
ピンが刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認します。(P. 46 参照)
刺しゅうする模様の位置を正確に調整したい場合は、ミシンの電源をいったん切った後で再び入れて、刺しゅう枠の位置をリセットする方法があります。

■ 縫製をリセットし、最初から始める

画面の右上のホームキーを選びます。模様とすべての情報が消去されます。(P. 62「画面早見一覧」参照)

便利な USB 接続

ミシンの USB ポートを使って様々な機能を楽しめます。それぞれのポートの特徴に合ったメディアを接続してください。



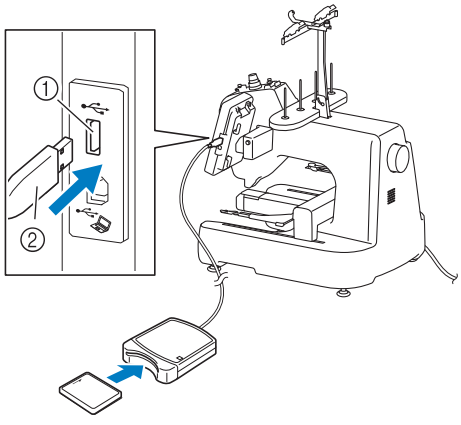
① USB ポート
② パソコン接続用 USB ポート

お願い
- 接続するポートとデータの容量によって、処理速度は異なります。
- USB メディアポートには、USB メディア以外のものを接続しないでください。USB メディアドライブが故障することがあります。

■USB メディアあるいは、カードリーダーを使う場合

USB メディアあるいは、カードリーダー＊を使って模様データを書き込んだり、読み込んだりするときは、USB ポートに接続してください。

＊ 刺しゅう PRO バージョン 5 以降、またはハートステッチズ DL をお持ちの場合は、別売刺しゅうソフトウェアに付属のカードライターをミシンに接続して、刺しゅうカードに入っている模様を呼び出すことができます。



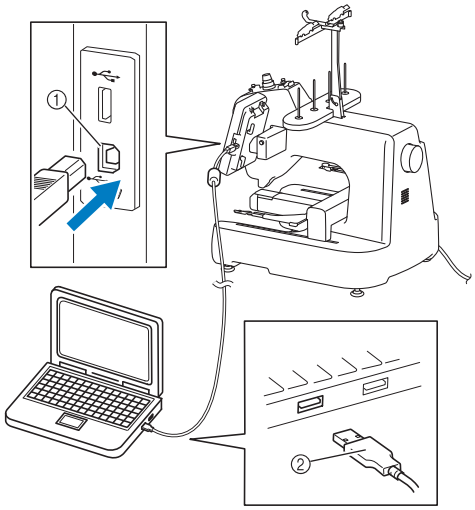
① USB ポート
② カードリーダーあるいは、USB メディア

お願い
- 必ず、このミシン専用のカードリーダーをご使用ください。専用のカードリーダー以外を使用した場合、誤作動が起きる可能性があります。
- ミシンに接続したカードリーダーに入れた刺しゅうカードに、ミシンから模様データを転送して保存することはできません。

お知らせ
- USB メディアは広く使用されていますが、このミシンで使用できない USB メディアもあります。詳しい情報は、ブラザーミシンのウェブサイト (http://support.brother.com) にてご確認ください。
- 使用している USB メディアの種類によって、USB メディアそのものをミシンに接続したり、USB メディアのリーダー／ライターをミシンに接続するなど、どちらの接続方法も可能です。

■パソコンにミシンを接続する

付属の USB ケーブルを使用すると、ミシンをパソコンに接続することができます。



① パソコン接続用 USB ポート
② USB ケーブル接続コネクタ

お願い
- USB ケーブルの接続コネクタは決められた方向でしか接続できません。コネクタが差し込みづらいときは、無理やり差し込まずに、コネクタの方向を確認してください。
- パソコンの USB ポートの位置や、USB ハブの詳細については、それぞれ付属の取扱説明書をご参照ください。

第 3 章

その他の基本操作

針や糸こまを交換したいときなど 2 章とは違う想定での操作を、ケース別に説明します。

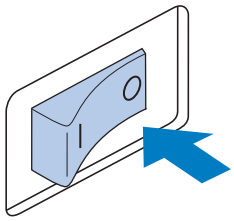
針を交換する……72
針を交換する……72
刺しゅう枠を上手に使うには……74
刺しゅう枠の種類と用途……74
布地に接着芯を貼る……76
布地の張り方……77
大枠の布地の張り方……77
小型枠の布地の張り方と取り付け方……78
■小型枠の取り外し方……79
刺しゅうシートを使う……79
布地が大きい／小さいときは……79
■大きな布地や重い衣類の場合……79
■小さい布地の場合……80
■布地の隅にぬう場合……80
■リボンテープのような細いものにぬう場合……80
刺しゅう枠の位置と動きについて……81
■縫製できない刺しゅう枠……81
■スタート位置への移動……81
思い通りの位置にぬうには……82
角度を調整する……82
途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは……84
上糸が切れたとき……84
下糸が切れた／なくなったとき……85
■下糸がなくなった場合は、ここでボビンを交換します。……85
■始めからぬいたいとき……86
■ぬい始めのぬい目を指定したいとき……87
停止後、途中からぬうときは……88
糸調子を調整する……90
下糸の調子を調整する……90
上糸の調子を調整する……91
■正しい糸調子……91
■糸調子が強いとき……91
■糸調子が弱いとき……91

針を交換する

曲がったり、針先がつぶれた針は、新しい針と交換してください。P.27「正しい針の見分け方」で確認したミシン専用の針、付属の針交換ドライバーと針交換ツールを用意してください。

針を交換する

1 **電源スイッチの “O 側” を押し、電源を切ります。**

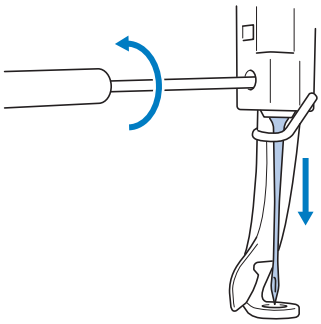


⚠ 注意

- 針の交換は、必ず電源スイッチを切って行ってください。万一、ミシンが作動すると、ケガの原因となります。

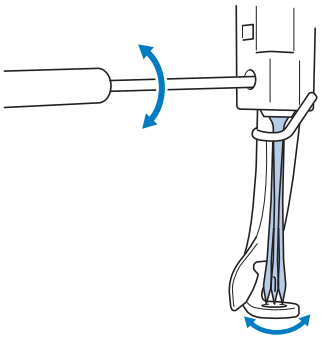
2 **針の止めネジをゆるめ、針を抜きます。**

左手で針を持ちながら、右手で針交換ドライバーを左に回します。



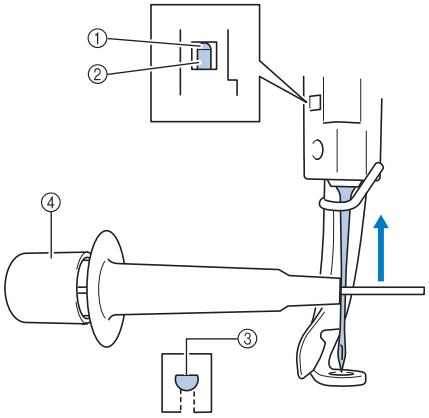
お願い

- 針を交換するときは、必ず付属の針交換ドライバーを使ってください。他の工具を使うと、針に余分な力が加わり、故障の原因となります。
- 止めネジをゆるめたりしめたりするときに、無理な力を加えないようにしてください。故障の原因となります。



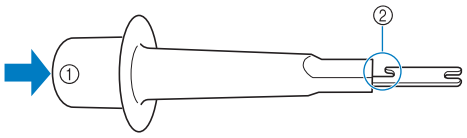
3 **新しい針の平らな面を後ろ側に向けて、針棒のストッパーにあたるまで差し込みます。**

押えの穴の下から針を通し、針交換ツールを使って持ち上げます。



① 針棒のストッパー
② 針
③ 平らな面
④ 針交換ツール

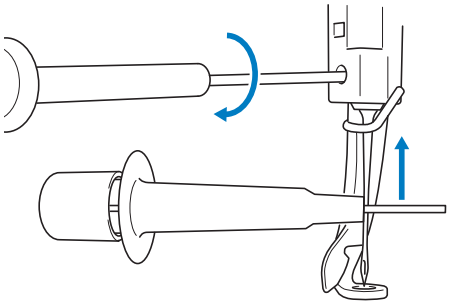
針交換ツールは、図のように ① を押すと針つかみ金具 ② が出ます。金具を針に引っ掛け押していた部分を離すと、針をつかみます。針を離すときは、再度 ① を押します。



① 針交換ツールの端
② 針つかみ金具

4 針を針交換ツールで押さえたまま、止めネジを締めます。

針交換ドライバーを右に回します。



⚠ 注意

- 針は必ずストッパーに当たるまで差し込み、止めネジを針交換ドライバーで確実にしめてください。針が十分に差し込まれていなかったり、ネジのしめ方がゆるいと、針折れや故障の原因となります。
- 針が正確に取り付けられていないと、自動糸通し装置を使って糸を通すときに、フックが針穴に入ることができず、フックが折れるなどして針に糸を通すことができません。
- 自動糸通し装置のフックが折れたり、壊れたりした場合は、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。

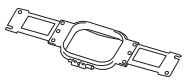
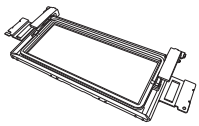
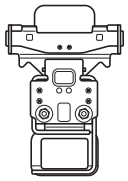
刺しゅう枠を上手に使うには

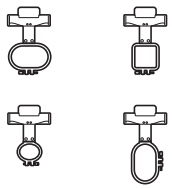
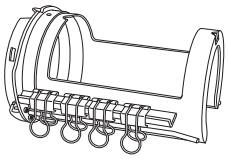
刺しゅう枠の種類や使い方について説明します。このミシンでは、様々なタイプの刺しゅう枠を使用することができます。
付属の刺しゅう枠に加え、このミシンで使用できる刺しゅう枠が多数用意されています。(P.19「別売品」を参照してください。)

⚠ 注意

- **必ず画面に表示された使用可能な刺しゅう枠を使用してください。誤った大きさの刺しゅう枠を使用すると、刺しゅう枠が押えに当たり、ケガの原因となります。**

刺しゅう枠の種類と用途

刺しゅう枠の種類		刺しゅう範囲 用途	参照
a 台枠a	平枠（別売）	ヨコ 200mm × タテ 200mm	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。
		ジャケットなどの厚地のものを刺しゅうするときに使います。	
	特大枠	ヨコ 200mm × タテ 200mm	P. 77「布地の張り方」
		ヨコ 200mm × タテ 200mm 以下の大きさの刺しゅうをするときに使います。	
	中枠	ヨコ 100mm × タテ 100mm	P. 44「7. 刺しゅう枠に布地を張る」
		中ぐらいの大きさの模様をぬうときに使います。	
b 台枠b〈別売〉	ボーダー枠（別売）	ヨコ 180mm × タテ 100mm	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。
		文字や模様が長くつながった刺しゅうをするときに使います。	
c 台枠c〈別売〉	丸枠（別売）	100mm 径 130mm 径 160mm 径	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。
		袖口に内蔵模様を刺しゅうするときなどに使用します。模様のサイズに合わせて丸枠の大きさを選んでください。	
d 台枠d〈別売〉	クランプ枠 S（別売）	24mm × 45mm	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。
		靴や手袋など、従来の枠に張ることができない特殊な形状のものに刺しゅうするときに使います。	

刺しゅう枠の種類		刺しゅう範囲 用途	参照
e 台枠e	小型枠（70 ／ 50 ／ 44 ／縦向き） 	70：ヨコ 70mm × タテ 41mm 50：ヨコ 50mm × タテ 50mm 44：ヨコ 44mm × タテ 38mm 縦向き：ヨコ 75mm × タテ 33mm シャツやバッグなど、縫製済みの製品の袖やポケットに、小さな模様や名前を刺しゅうするときに使います。	P. 78「小型枠の布地の張り方と取り付け方」参照
帽子枠＜別売＞	帽子枠 2 （別売） 	ヨコ 130mm × タテ 60mm 帽子に刺しゅうをするときに使います。 この枠で刺しゅうできる帽子は、野球 (ゴルフ) 帽、チューリップハット、バケツ帽です。サンバイザーや赤ちゃん用の帽子など、帽子の正面の高さが 50mm 以下のものには使えません。また、ヒサシが 80 mm より大きい帽子にも使えません。	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。
シリンダー枠（別売） 	ヨコ 90mm × タテ 80mm T シャツの袖やズボンなど、筒状の布地やカーブのある布地を刺しゅうするときに使います。	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。

お願い

●ミシンでの使用可能刺しゅう枠表示では、これからぬう刺しゅう模様が入る大きさの刺しゅう枠がすべて使用可能として表示されますが、できるだけ大きさに合った刺しゅう枠を使ってください。大きすぎる刺しゅう枠を使うと、模様くずれやぬい縮みが起きることがあります。

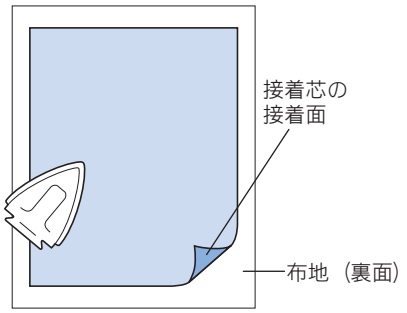
布地に接着芯を貼る

ぬい縮みや模様くずれをふせぐために、刺しゅう用接着芯の使用をおすすめします。

⚠ 注意

● **薄地や伸びる布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地に刺しゅうをする場合は、必ず刺しゅう用接着芯を使用してください。芯を使用しないで刺しゅうをすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあります。また、模様くずれの原因にもなります。**

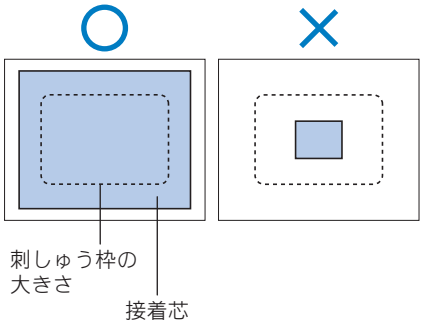
1 布地の裏側にスチームアイロンをかけて貼ります。



- アイロンがかけられない布地やアイロンのかけにくい場所に刺しゅうをするときは、接着しないで、布地の下に接着芯を重ねて刺しゅう枠に張ってください。

お願い

●刺しゅう用接着芯は、刺しゅう枠よりも大きくしてください。枠に張るときは、布地のたるみを防ぐため、芯全体をはさみ付けるようにしてください。



お知らせ

●オーガンジーやローンなど薄手の素材に刺しゅうをするときは、水に溶ける水溶性シートをお使いください。洗濯中にシートが溶け、固くならずきれいに仕上がります。

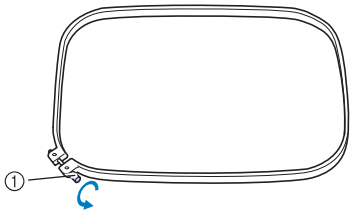
●タオル、コーデュロイなど起毛している布地に刺しゅうをするときは、接着させずに布地の上に接着芯を重ねて、刺しゅう枠に張ってください。

●その他の接着芯の使い方については、P.161「接着芯」を参照してください。

布地の張り方

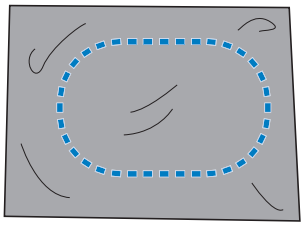
大枠の布地の張り方

1 刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。



① 調節ネジ

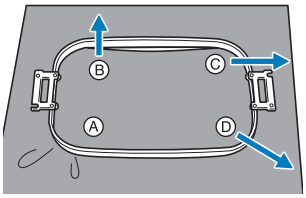
2 外枠の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。



- 外枠の表裏はありません。どちらの面が表になっても構いません。

3 内枠ではさみます。

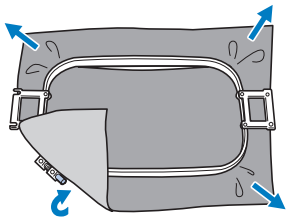
調節ネジのある角 Ⓐ、その隣の角 Ⓑ、その後に対角の角 Ⓒ。最後に調節ネジのない角の対角の角 Ⓓ の順で挟み込んでいきます。



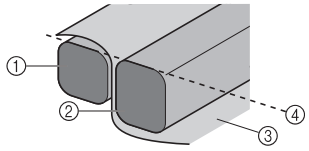
まず、Ⓐ 調節ネジのある角を合わせ、内枠を押し込みます。次に、Ⓑ の矢印の方向に布地を軽く引っ張りながらたるみが出ないようにして、Ⓑ の角に押し込みます。同様に、Ⓒ の矢印の方向に引っ張りながら Ⓒ の角に、Ⓓ の矢印の方向に引っ張りながら Ⓓ の角に押し込みます。

- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

4 さらに布地を引っ張りながら、調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのない状態にします。

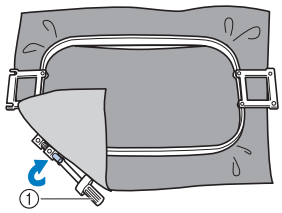


- 布地を張った後、布地を軽くたたくと太鼓のような音がするくらいが目安です。
- 外枠と内枠の天面の高さがほぼ同じになるように、しっかりとはめてください。



① 外枠
② 内枠
③ 布地の表
④ ほぼ同じ高さになる

- 調節ネジはドライバー（大）を使うと、しっかりと締め付けることができます。



① ドライバー（大）

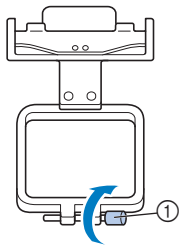
お知らせ

- 確実にきれいに布地を刺しゅう枠に張るために、枠張り台を使うことをお勧めします。

小型枠の布地の張り方と取り付け方

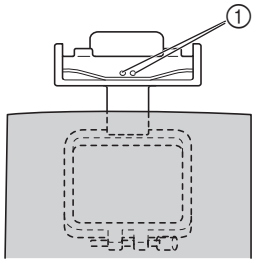
小型枠を使用するときは、台枠ｅをセットします。

1 **刺しゅう枠の外枠の調節ネジをゆるめます。**



① 調整ネジ

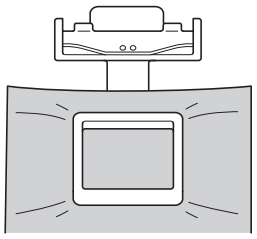
2 **外枠の上に、布地をピンッと伸ばしてのせます。**



① ネジ頭

- 台枠のネジ頭が表になるように外枠をおいてください。

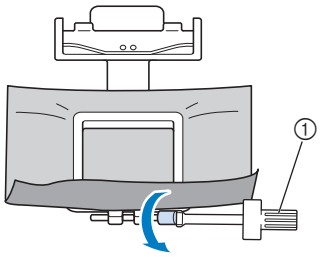
3 **内枠ではさみます。**



- 刺しゅう枠の内側に、はさみしわができないよう注意してください。

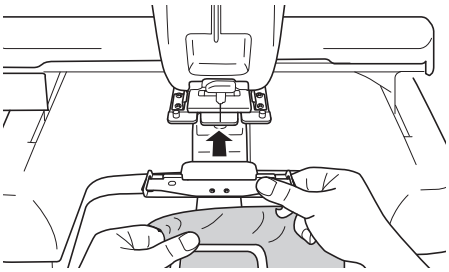
4 **調節ネジをしっかりと締め、布にたるみのないか確認します。**

- 調節ネジはドライバー（大）を使うと、しっかりと締め付けることができます。

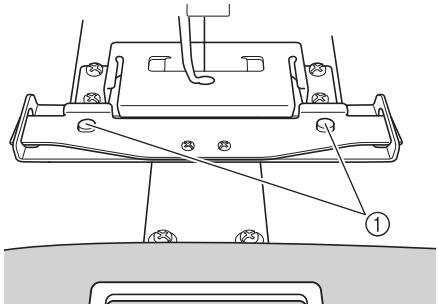


① ドライバー（大）

5 **布地を張った刺しゅう枠を両手でしっかりと握り、台枠ｅに取り付けます。**



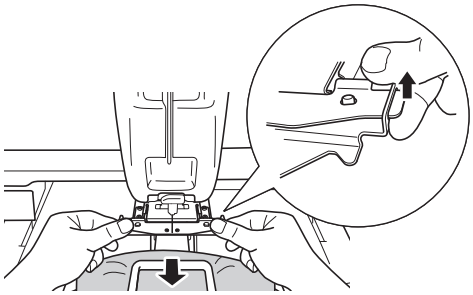
6 **台枠ｅのピンを、小型枠の両端にある穴に差し込みます。**



① 台枠のピンが、刺しゅう枠の取付部の穴に入っていることを確認してください。

■ 小型枠の取り外し方

小型枠を両手で持ちながら、両脇のバネを指で持ち上げ、枠を手前に引っ張って取ります。

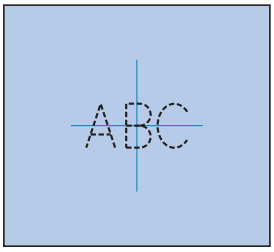


お願い
●バネで指を挟まないよう注意してください。

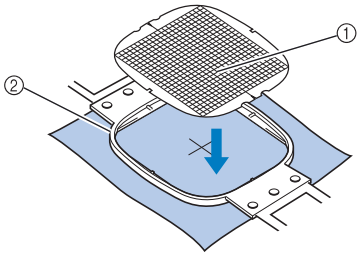
刺しゅうシートを使う

布地に対して模様が水平にぬわれるように布地を刺しゅう枠に張るには、刺しゅうシートの基準線を目安にして張ると便利です。

1 チャコペンで刺しゅうしたい範囲にしるしを付けます。

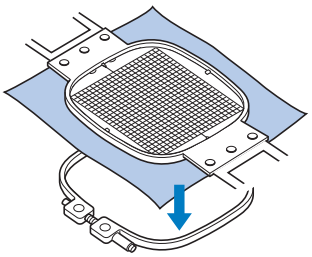


2 内枠に刺しゅうシートを置きます。布に付けたしるしと刺しゅうシートのガイドラインを揃えます。

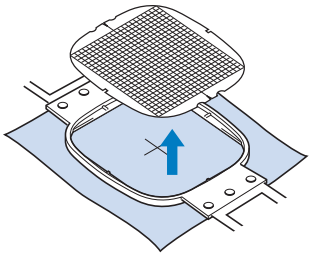


① ガイドライン
② 内枠

3 折り目やしわがなくなるように丁寧に布を伸ばし、内枠ではさみます。



4 刺しゅうシートを外します。

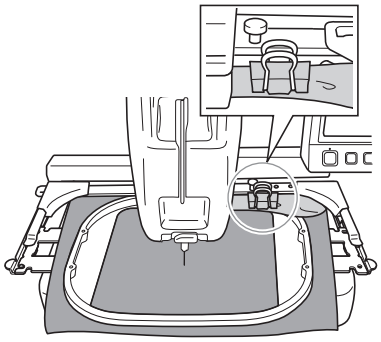


布地が大きい／小さいときは

枠に対して布地が大きかったり、小さかったりしたときの対処のしかたについて説明します。

■ 大きな布地や重い衣類の場合

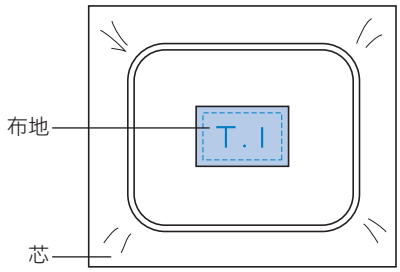
大きな布地やジャンパーなどの重い衣類をぬうときは、クリップで刺しゅう枠に留めるなどして、刺しゅう枠から布端が垂れ下がらないようにしてください。垂れ下がった状態でぬうと、刺しゅう枠の動きが悪くなり、模様くずれの原因となります。



● クリップなどで刺しゅう枠に留めます。

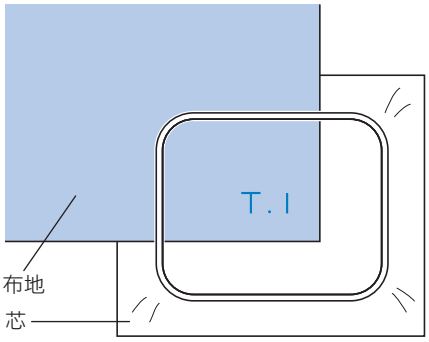
■ 小さい布地の場合

布用スプレーのりを使って、刺しゅう枠に張った芯に小さい布地を貼ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけします。



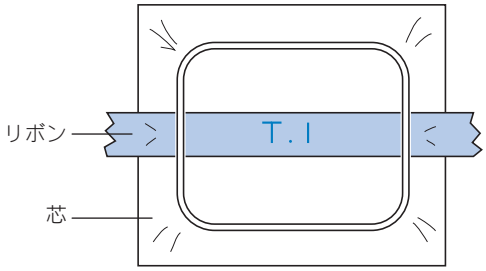
■ 布地の隅にぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、しつけをします。



■ リボンテープのような細いものにぬう場合

布用スプレーのりを使って芯に貼ってから、刺しゅう枠に張ります。布用スプレーのりを使いたくない場合は、テープの両端を芯といっしょに刺しゅうに張ります。



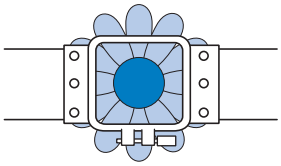
刺しゅう枠の位置と動きについて

ミシンを操作する上で、刺しゅう枠について知っておいていただきたいことを説明します。

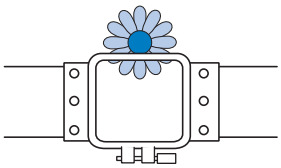
■ 縫製できない刺しゅう枠

P. 44 で説明したとおり、画面上の使用可能刺しゅう枠で表示されている刺しゅう枠が、現在選んでいる模様をぬうことができる枠です。
ぬいたい模様より小さい縫製範囲の刺しゅう枠は、使用できません。模様の大きさが縫製範囲より小さい場合でも、縫製位置がその枠の縫製範囲から外れているときもその枠は使うことはできません。

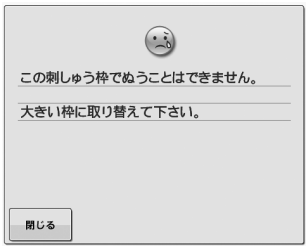
模様より小さい縫製範囲の枠



模様がその枠の縫製範囲から外れている



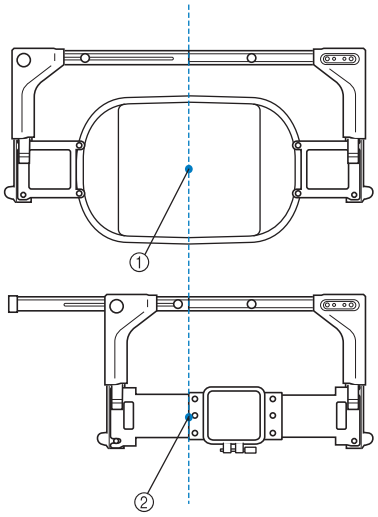
このような場合は、ミシンは刺しゅう枠を交換するようにメッセージで知らせてくれます。



刺しゅう枠をセットしていない状態でも、枠の交換が指示されることがあります。
ミシンは、台枠の左アームの位置でどの枠がセットされているか感知します。したがって、実際に刺しゅう枠がセットされていない状態でも、左アームの位置で判断します。

■ スタート位置への移動

縫製前の針位置は刺しゅう模様のぬい始め点（スタート位置）にあります。
刺しゅう枠を交換すると次にセットした枠はスタート位置にありません。
例えば、スタート位置が大枠の中心であり、小枠に交換した場合は次のようになります。



① 特大枠の中心に針位置
② 刺しゅう枠を交換したときの針位置

スタート位置のズレがある場合には、次のときに刺しゅう枠を自動的にスタート位置に移動します。

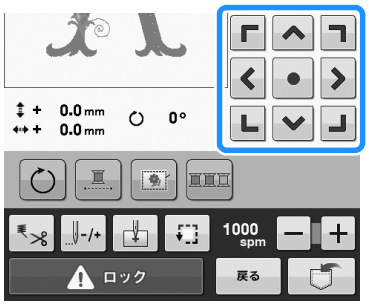
- **ミシンの電源が入ったとき**
  刺しゅう枠が移動します。
- **縫製画面が表示されたとき**
  刺しゅう枠が正位置にあれば移動しません。模様が刺しゅう枠の縫製範囲から出ている場合、刺しゅう枠を交換するようにメッセージが表示されます。刺しゅう枠を交換するか、編集画面に戻り刺しゅう位置を動かしてください。
- **編集画面、縫製画面で刺しゅう枠を交換し、縫製範囲の確認・枠移動・縫製開始の各キーを押したとき**
  必ず動きます。
  正位置に移動して一旦止まりますので、もう一度目的のキーを押してください。
  移動後、模様がその枠の縫製範囲から外れている場合は、枠交換メッセージが表示されます。枠を交換するか、編集画面に戻ってサイズや縫製位置を調整してください。

思い通りの位置にぬうには

購入時は、模様の中心からぬい始めるように設定されています。したがって、縫製位置にある針の針落ち位置に模様の中心がくるように、枠を移動してぬい位置を調整します。また、刺しゅう枠に対して布地を平行に張ることができず、布地に対して模様が傾いてしまう場合は、模様全体の角度を調整します。

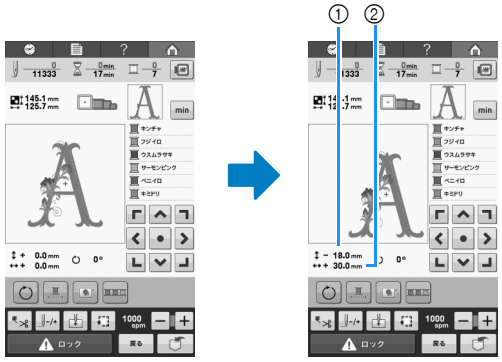
1 **縫製画面の [↖]、[↑]、[↗]、[←]、[→]、[↙]、[↓]、[↘] を押します。**

針落ち位置に刺しゅうをぬいたい位置の中心がくるように、刺しゅうを移動します。設定画面で LED ポインターを「ON」にすると、赤いポインターの光が針位置を示します。設定画面の詳細については、P. 142「設定キーの使い方」を参照してください。



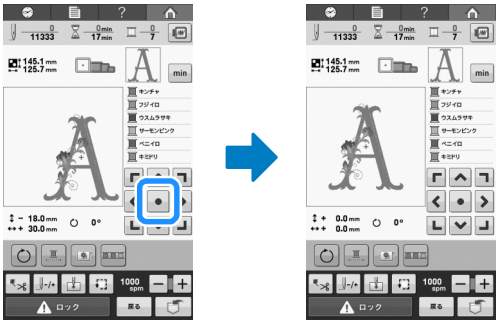
→ 矢印の方向に模様表示エリア模様が移動します。

> **お願い**
> ●刺しゅう枠は矢印の逆方向に移動しますので、注意してください。



① 移動したときの縦の移動距離を示します。
② 移動したときの横の移動距離を示します。

● [●] を押すと、正位置（縫製位置にある針の下に刺しゅう枠の中心がある状態）に戻ります。

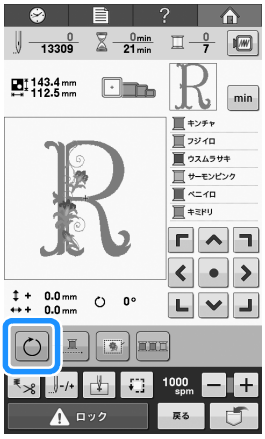


指またはタッチペンで、画面の模様をドラッグして移動することもできます。

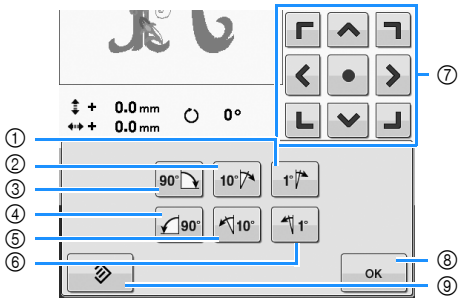
角度を調整する

布地によっては、刺しゅう枠に思い通りの角度で布地を張ることができない場合があります。このような場合は、布地に合わせて模様の角度を調整します。

1 **[↻] を押します。**



→ 次の画面が表示されます。



例／0 度

① 右に 1 度ずつ回転

② 右に 10 度ずつ回転

③ 右に 90 度ずつ回転

④ 左に 90 度ずつ回転

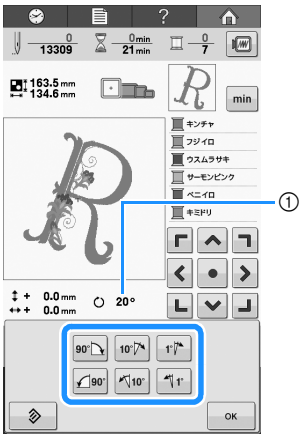
⑤ 左に 10 度ずつ回転

⑥ 左に 1 度ずつ回転

⑦ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑧ 押すと、この画面を閉じます。
⑨ 押すと、0 度に戻ります。

❷ 各キーを押して、布地に合わせて模様の角度を調整します。

キーを押すごとに、模様が回転します。



① キーを押すごとに、変更後の回転角度を示します。

● 元の角度（0 度）に戻したい場合は、[ ] を押します。

❸ 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

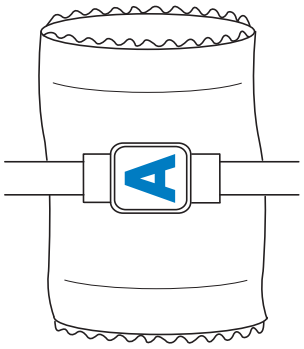
操作のしかたは、P. 82 を参照してください。

❹ 必要に応じて[OK]、[ ]を押して縫製範囲の確認をします。

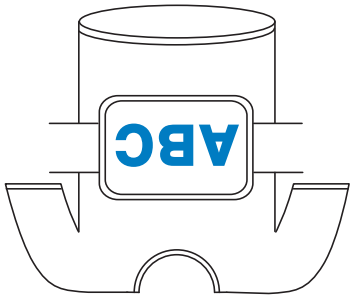
操作のしかたは、P. 48 を参照してください。

お知らせ

● この機能で微妙な角度調整をすることができますが、袋もの、筒ものなど刺しゅう枠の張り方が限定されるものをぬう場合にもこの機能を使うと便利です。
例：ピローケースにぬう場合
模様を左に 90 度回転してぬいます。



例：T シャツにぬう場合
模様を 180 度回転します。T シャツの襟ぐり側ではなく胴側からミシンベッドを通し、刺しゅう枠をミシンにセットします。刺しゅう枠の移動により襟ぐりの伸びを防ぎます。



途中で糸が切れた／下糸がなくなったときは

縫製の途中で糸が切れたり、下糸がなくなったりしたときは、ミシンは自動的に止まります。何針か空ぬいがされてしまいますので、ぬわれている部分と少し重なるようにぬい目を戻してから続きをぬいます。

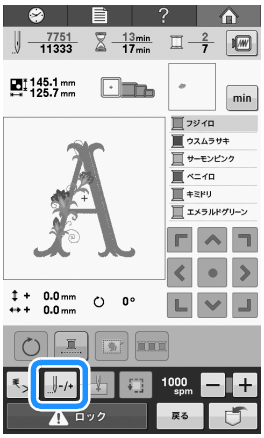
お願い

- 糸センサーが「OFF」になっていると、刺しゅうが終わるまでミシンは止まりません。通常は、糸センサーを「ON」にしてお使いください。 (P. 147「糸センサーを設定する」参照)
- ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

上糸が切れたとき

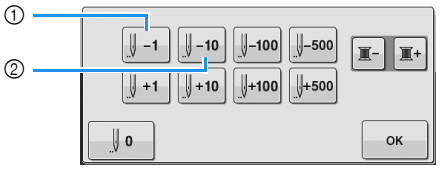
1 上糸をかけ直します。(P. 50 参照)

2 [-/+]を押します。



→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

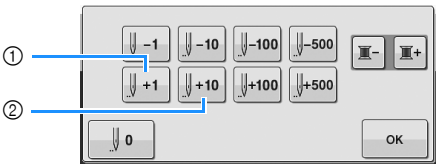
3 [-1] [-10]を押して、確実にぬわれている部分と少し重なるところまでぬい目を戻します。



① 1 回押すごとに 1 針ずつ戻ります。
② 1 回押すごとに 10 針ずつ戻ります。

枠が移動します。ぬわれている部分と少し重なったところに針落ち位置がくるように、調整します。設定画面で LED ポインターを「ON」にすると、赤いポインターの光が針位置を示します。設定画面の詳細については、P. 142「設定キーの使い方」を参照してください。

戻しすぎてしまったときは、[+1] [+10] を押して、ぬい目を進めます。



① 1 回押すごとに 1 針ずつ進みます。
② 1 回押すごとに 10 針ずつ進みます。

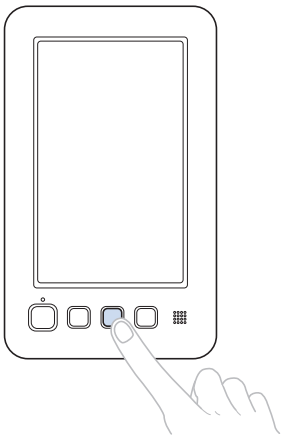
4 [OK]を押します。

→ 縫製画面に戻ります。

5 [ロック]（ロック解除キー）、スタート／ストップスイッチを押して、続きをぬいます。

下糸が切れた／なくなったとき

1 画面の ⚠ ロック を押し、ミシンロックを解除したあとに、糸切りスイッチを押します。

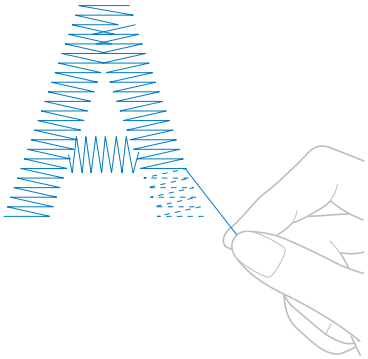


→ 上糸が切れます。

- 下糸が切れた、またはなくなったときは、一旦上糸も切ってください。

2 **空ぬいされている上糸を取り除きます。**

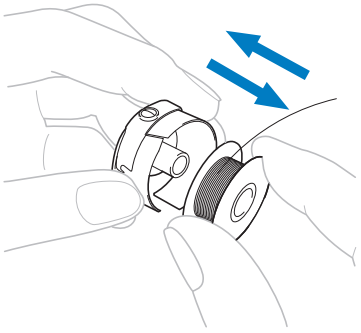
上糸の切れ端を引っ張ります。



- きれいに取り除けない場合は、はさみで切ってください。

■ 下糸がなくなった場合は、ここでボビンを交換します。

3 下糸が巻かれたボビンと交換します。(P. 34 参照)



- 釜カバーを開けることができれば、刺しゅう枠を外さずにボビンを交換できます。
- 袋状の布地などでミシンベッドをおおっていて、釜カバーを開けることができない場合は、ここで一旦刺しゅう枠を外します。(P. 60 参照) ボビンを交換した後、刺しゅう枠をセットします。(P. 46 参照)

お願い

縫製の途中で刺しゅう枠を外す場合は、次のことに注意してください。模様くずれの原因となります。

- ●張られている布地に無理な力をかけて布地をたるませない。
- ●刺しゅう枠を外したり、セットしたりする際は、キャリッジや押えに当たらないようにする。キャリッジに当たってキャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直してください。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。
- ●刺しゅう枠をセットしたときは、台枠の左右のアームのピンが刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認する。

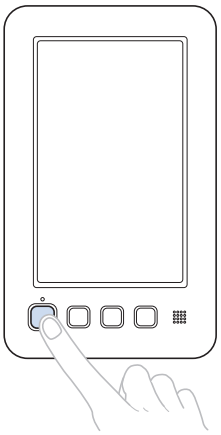
4 **P.84「上糸が切れたとき」の手順 2 ～ 5 と同様にぬい目を戻して、続きをぬいます。**

始めまたは途中からぬいたいときは

ぬってみて糸調子があっていなかったり、糸色をまちがえてしまったりしたときなど、始めからぬい直したいときはぬい目を戻してから新たにぬい直します。また、糸色・ぬい目を進めたり、戻したりして、ぬい始めたい糸色のぬい目からぬうことできます。

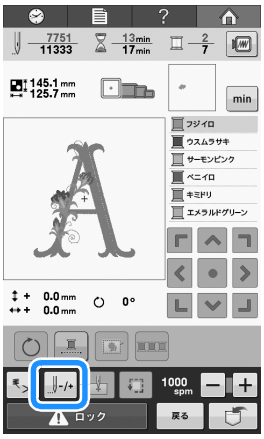
お願い
●ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

1 スタート／ストップスイッチを押して、ミシンを止めます。



● 必要に応じて、布地を張り替えたり、ぬった刺しゅう部分をはさみで取り除いたりします。

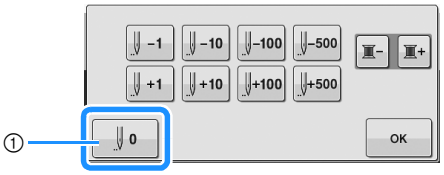
2 -/+ を押します。



→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

■始めからぬいたいとき

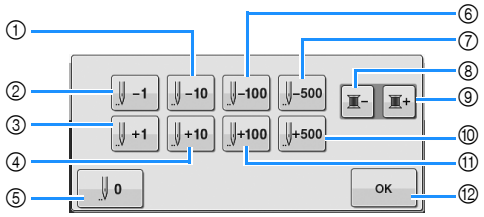
3 0 を押します。



① 1色目の部分のぬい始めに戻ります。
→ 刺しゅう枠が動いて、ぬい始めの位置に戻ります。

■ ぬい始めのぬい目を指定したいとき

4 **を押して糸替え順の糸色部分を、 、 、 、 、 、 、 、 を押してぬい目を指定します。**



① 1 回押すごとに 10 針ずつ戻ります。
② 1 回押すごとに 1 針ずつ戻ります。
③ 1 回押すごとに 1 針ずつ進みます。
④ 1 回押すごとに 10 針ずつ進みます。
⑤ 1 回押すと、そのときぬっていた色のぬい始めに戻ります。2 回目から、1 回押すごとに 1 色ずつ前の色のぬい始めに戻ります。
⑥ 1 回押すごとに 100 針ずつ戻ります。
⑦ 1 回押すごとに 500 針ずつ戻ります。
⑧ 1 回押すと、そのときぬっていた色部分のぬい始めに戻ります。2 回目から、1 回押すごとに 1 色ずつ前の色部分のぬい始め位置に戻ります。
⑨ 1 回押すごとに次の色部分のぬい始め位置に進みます。
⑩ 1 回押すごとに 500 針ずつ進みます。
⑪ 1 回押すごとに 100 針ずつ進みます。
⑫ 押すと、この画面を閉じます。
→ 刺しゅう枠が動いて指定された針位置を示します。針棒が縫製位置に移動します。

5 **ぬい始めのぬい目が指定できたら、 を押します。**

→ 縫製画面に戻ります。

6 **(ロック解除キー)、スタート／ストップスイッチを押してぬいます。**

→ 指定したところからぬい始めます。

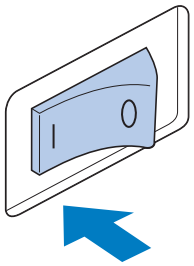
停止後、途中からぬうときは

次のようなときは、ぬい終わったところまでのぬい目をミシンが記憶しています。

- **縫製終了後に電源スイッチを切ったとき**
  電源を入れキャリッジが初期設定の位置に移動したときに、糸が引っ張られたり、引っかかったりしないよう、電源を切る前に糸を切っておきます。
- **縫製中に停電などで電源が切れたとき**
  次に電源を入れたときに続きからぬうことができますが、ぬい目を少し戻してからぬい始めます。

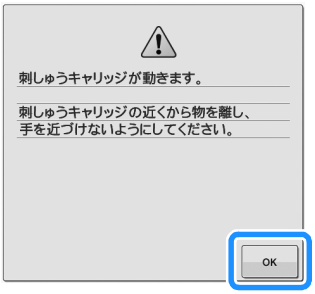
お願い
●ぬい目を戻したり、進めたりするときは、枠が動きますので注意してください。

1 電源スイッチの “I” 側を押し、電源を入れます。



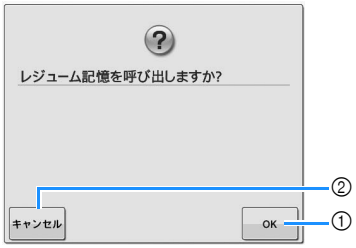
2 液晶画面にオープニング画面が表示されたら、液晶画面を押してください。液晶画面のどこを押しても、次の画面に変わります。

3 OK を押します。



→ 続きをぬうか、新しく操作を始めるかを尋ねてきます。

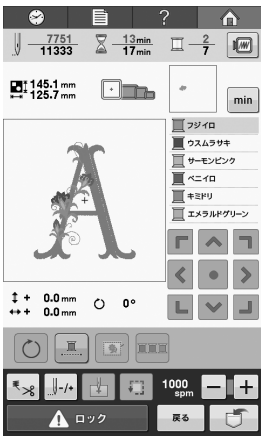
4 OK を押します。



① 続きをぬうときに押します。

② 押すと、縫製をキャンセルして、新しい模様を選ぶ画面が示されます。

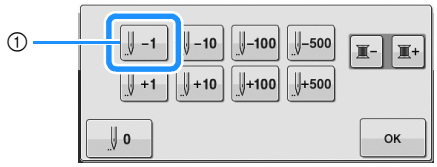
→ 前回電源を切ったときの縫製画面が示されます。



5 **-/+を押します。**

→ ぬい目戻る／進む画面が表示されます。

6 **−1を2～3回押して、2～3針ぬい目を戻します。**



① 1回押すごとに1針ずつ戻ります。

- 針落ち位置を示す赤いポインターの光が、すでにぬわれている部分と少し重なったところをさしているか、確認してください。

7 **OKを押します。**

→ 縫製画面に戻ります。

8 **ロック（ロック解除キー）、スタート／ストップスイッチを押して、続きをぬいます。**

お知らせ

- 縫製中でもミシンはいつでも停止することはできますが、糸替え時に停止すると次にぬい始めるときにぬい目を戻す必要はありません。

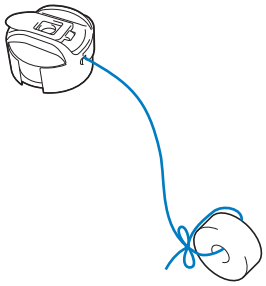
糸調子を調整する

P. 59 で説明したように正しい糸調子になっていない場合の、糸調子の調整のしかたを説明します。まず下糸の糸調子を調整してから、上糸の調子を調整します。

お願い
- ボビンを交換したあとは、必ず下糸の糸調子を確認してください。
  下糸の糸調子は、下糸やボビンの種類によって異なります。例えば、紙ボビンを同種のボビンと交換したときなども、下糸の糸調子を確認し、必要に応じて糸調子を調整してください。
- 必ず下糸の糸調子を調整してから、上糸の糸調子を調整してください。

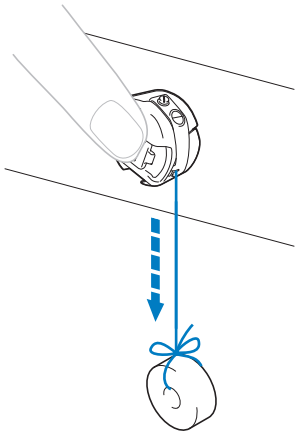
下糸の調子を調整する

1 ボビンケースから出ている下糸の端に付属の下糸おもりを結び付けます。



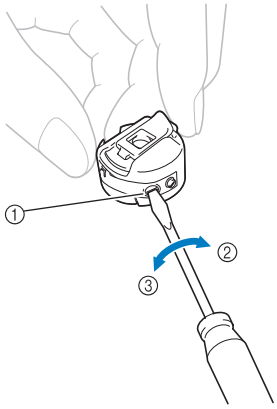
お願い
- 紙ボビンと金属ボビンでは、調整するときに使用する下糸おもりが異なります。
  紙ボビンの場合：下糸おもり（L タイプ）のみ
  金属ボビンの場合：
  下糸おもり（L タイプ）＋下糸おもり（S タイプ）

2 図のように、ボビンケースを滑らかな垂直面に押し当てます。



- 下糸おもりの重さで下糸が、ゆっくりと繰り出されれば正しい糸調子です。

3 糸調子ネジを付属の小型ドライバーを回して、調整します。



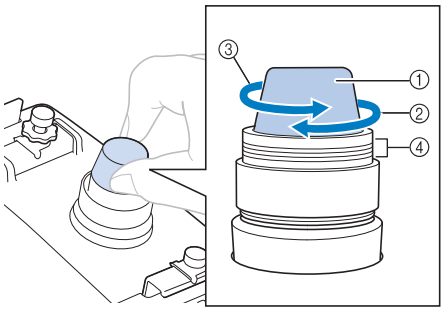
① 糸調子ネジ
② 強くします。
③ 弱くします。

4 調整ができたら、ためしぬいをして糸調子を確認します。

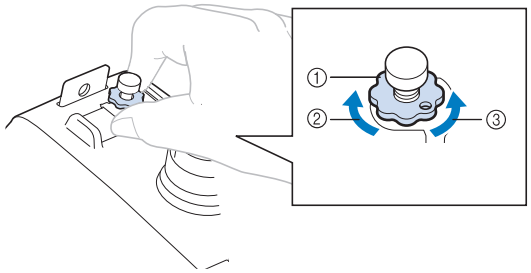
上糸の調子を調整する

上糸のぬい目が布地の裏側から少しのぞく程度に、糸調子を調整してください。

1 **糸調子つまみを手で回します。**



① 糸調子つまみ
② 強くします。
③ 弱くします。
④ 印
→ 糸調子がうまく調整できない場合は、糸道上糸調子つまみを回します。



① 糸道上糸調子つまみ
② 強くします。
③ 弱くします。

■ 正しい糸調子

布地の裏に上糸が少し見える状態です。糸調子が正しく調整されていなければ、布地にしわが寄ったり、目とびが起こったりして、刺しゅうがうまく仕上がりません。

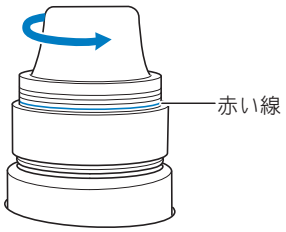
糸調子が正しく調整されていないときは、状況に応じて下記の手順に従ってください。

お願い
●赤い線よりも糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れることがありますが、故障ではありません。少し糸調子を強めて、もう一度縫製を始めてください。

■ 糸調子が強いとき

上糸が強すぎて、表側に下糸が出ています。

矢印の方向に回して、弱くします。



赤い線が見えたら、それ以上糸調子を弱めることができません。下糸の糸調子を強めて、調整してください。(P. 90「下糸の調子を調整する」)

お願い
●赤い線が見えてからも、さらに糸調子を弱めると、糸調子つまみが外れます。
●糸調子部分の組み立てについて詳しくは、P. 167 を参照してください。

■ 糸調子が弱いとき

上糸が弱すぎて、上糸がたるみ糸の締まりがゆるくなったり、表側に糸のループができています。

矢印の方向に回して、強くします。

第 4 章

縫製設定

縫製設定について説明します。知っておくと便利な機能です。

刺しゅうのしつけぬい.....94
ぬい始め位置設定.....95
文字をつなげて刺しゅうする.....96
縫製最高速度設定.....98
縫製色管理.....99
連続した刺しゅう（1 色の場合）.....99
糸色並べ替え.....99
糸切り機能.....100
自動糸切り機能.....100
渡り糸切り機能.....100
■渡り糸の長さを選ぶ.....101

刺しゅうのしつけぬい

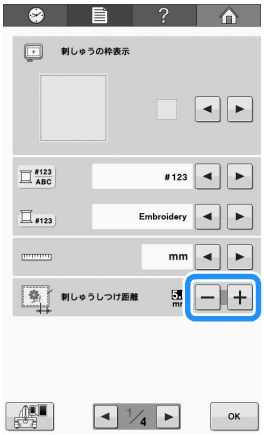
接着芯を貼り付けられないような布地をぬうとき、模様のまわりにしつけぬいをして芯が動かないようにします。接着芯を使うと、ぬい目が縮みや模様のずれが少なくなり、刺しゅうがきれいに仕上がります。

お願い

●模様の組み合わせや編集が終わった後で、しつけぬいを設定してください。しつけぬい設定をした後で、模様を組み合わせたり編集したりすると、縫製後に模様の下にしつけぬいがされてしまい、しつけ糸を外すのが難しくなります。

1 を押して、設定画面の 1 ページを表示します。

2 − ＋を押して、しつけぬいと模様の距離を設定します。



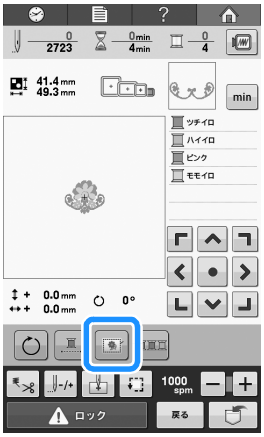
お知らせ

●設定値が大きいほど、しつけぬいと模様の間は広がります。

●設定は、ミシンの電源を切った後も保持されます。

3 OK を押して、縫製画面に戻ります。

4 を押して、しつけぬいを設定します。



お願い

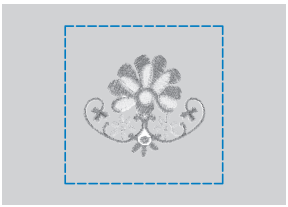
● を押すと、模様が画面の中央に移動します。しつけぬいを設定してから、模様をお好みの位置に移動してください。

● を押すと、設定が解除されます。

→ しつけぬいは、ぬい順の最初にきます。

5 ロック（ロック解除キー）、スタート／ストップスイッチを押して、ぬいます。

6 刺しゅうが終わったら、しつけぬいを外します。

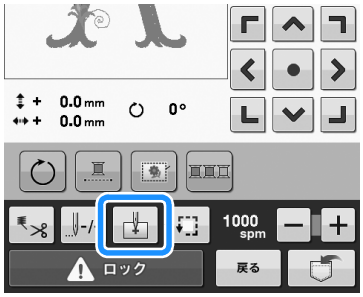


ぬい始め位置設定

刺しゅう模様のぬい始めの針位置を、模様の左上、左中央、左下、上中央、中心、下中央、右上、右中央、右下の 9 点のいずれかに設定できます。
この機能を使うと斜めの繰り返しぬいができます。

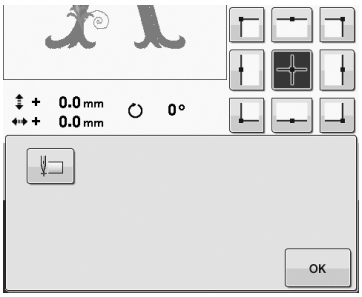
縫製画面で設定します。
購入時は、ぬい始めの針位置は、模様の中心に設定されています。

1 **を押します。**



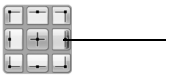
→ ぬい始め位置設定画面が表示されます。

2 **希望のぬい始め位置のキーを押します。**



→ 反転されたキーは現在選択されている設定です。

例



→ ぬい始め位置を指定すると、自動的にぬい終わり位置も同じ位置に指定されます。
→ 刺しゅう枠がぬい始め位置に移動します。

3 **指定し終わったら、** **を押します。**

→ 縫製画面に戻ります。

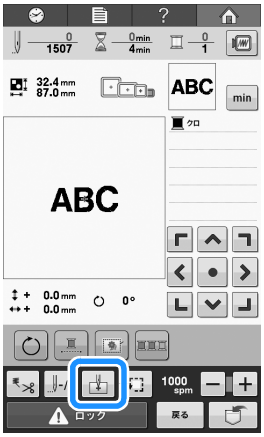
文字をつなげて刺しゅうする

刺しゅう枠からはみ出して、文字模様をつなげて刺しゅうするには、以下の手順のようにします。
例：「DEF」を「ABC」につなげる場合

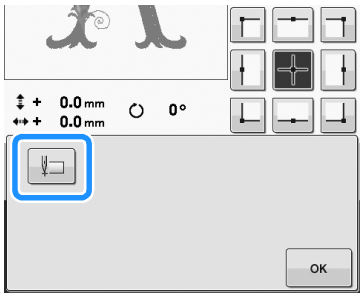
A B C D E F

1 「ABC」の文字模様を選びます。

2 縫製画面で、 を押します。



3 を押します。



→ 針棒の位置は模様の左下隅となります。針が正しい位置にくるように、刺しゅう枠が移動します。

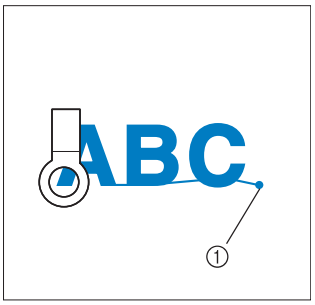
お願い
- 開始位置設定をキャンセルするには、模様の中心を開始位置に戻し、 を押してください。
- を使用して別の刺しゅう開始位置を選びます。

4 OK を押して縫製画面に戻ります。

→ 開始位置が模様の左下隅に設定されているときは、 が に変わります。

5 ロック を押し、スタート / ストップスイッチを押して刺しゅうを始めます。

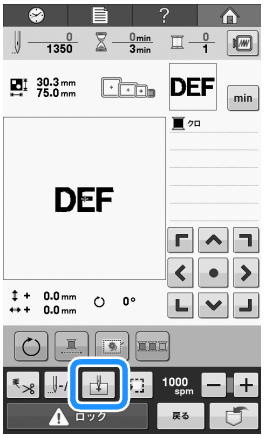
6 文字の刺しゅうが終わった後、余裕を持った長さで糸を切って刺しゅう枠を取り外した後、残りの文字（「DEF」）を刺しゅうするために刺しゅう枠を再度取り付けます。



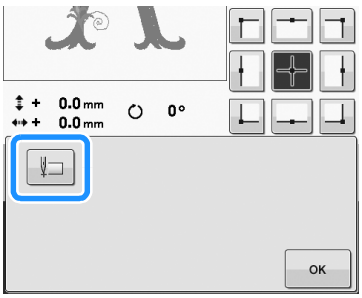
① 刺しゅうの終わり

7 手順 1 と同様に、「DEF」の文字模様を選びます。

8 縫製画面で、 を押します。



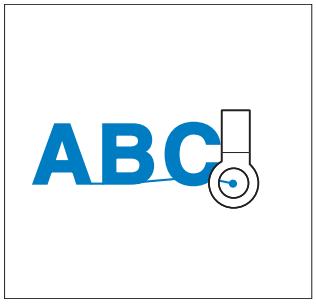
9 を押します。



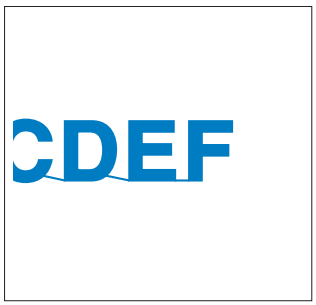
→ 針棒の位置は模様の左下隅となります。針が正しい位置になるように、刺しゅう枠が移動します。

10 OK を押します。

11 を使い、前の模様の刺しゅう終わり位置に針を合わせます。



12 ロック を押し、スタート / ストップスイッチを押して残りも文字模様の刺しゅうを始めます。



縫製最高速度設定

縫製最高速度を、1 分間に 400 ～ 1000 回転の間の 100 回転ごと 7 段階から設定できます。帽子枠を使用時は 400 ～ 600 回転の間の 50 回転ごと 5 段階から設定できます。

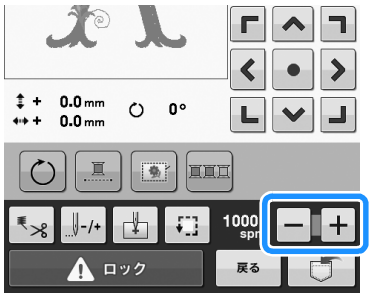
縫製最高速度表

刺しゅう枠／平枠		帽子枠／シリンダー枠	
1	1000	1	600
2	900	2	550
3	800	3	500
4	700	4	450
5	600	5	400
6	500	–	–
7	400	–	–

縫製画面で設定します。
購入時は、1000 回転に設定されています（帽子枠は 400 回転）。

帽子枠およびシリンダー枠、平枠は別売です。

1 速くしたいときは＋、遅くしたいときは－を押します。



→ －の左側にある数字が変わります。

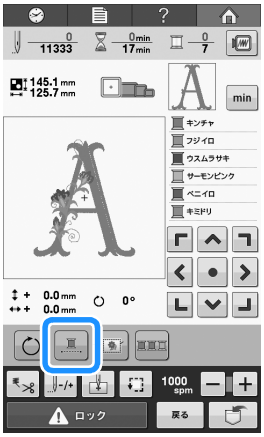
お知らせ

- 薄い布地や厚い布地、重い布地は遅い速度に設定してください。また速度を遅くするほど、縫製音は静かになります。
- 縫製の途中でも、設定を変更することができます。
- 縫製最高速度設定は、設定を変更するまで変わりません。電源を切っても、設定内容は記憶されています。
- メタリック糸のように弱い糸をお使いの場合は、縫製速度を 400 回転に設定してください。

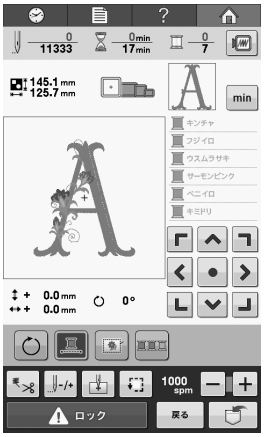
縫製色管理

連続した刺しゅう（1 色の場合）

選んだ模様を複数の色ではなく 1 色でぬうこともできます。色替え時にはミシンの動きが遅くなりますが、そのまま止まらず、模様が仕上がるまで刺しゅうが続きます。を押すと、縫製中に糸替えせずに、選んだ模様が 1 色でぬわれます。もう一度を押すと模様の元々の設定に戻ります。



→ 画面の糸色表示がグレーアウトされます。



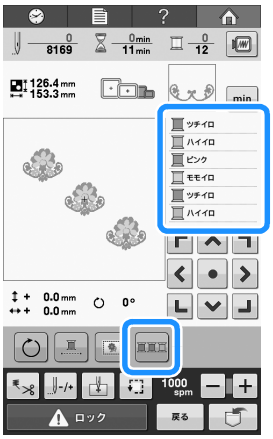
お知らせ

- 連続刺しゅうを設定した場合でも、自動糸切り機能や渡り糸切り機能を使用することができます（P. 100 参照）。
- 刺しゅうが終わると、連続刺しゅうがキャンセルされます。

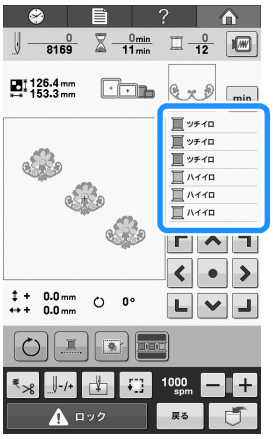
糸色並べ替え

糸こま交換の回数を最小限にして刺しゅうすることができます。

刺しゅうを始める前に、を押して縫製順を糸色で並べ替えます。糸色並べ替えをキャンセルして、縫製色順に刺しゅうするにはを押します。



→ 縫製色順が糸色で並べ替えられました。



お願い

- 糸色並べ替え機能は、模様が重なっている場合は使用できません。

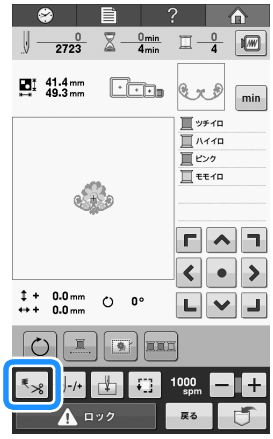
糸切り機能

自動糸切り機能

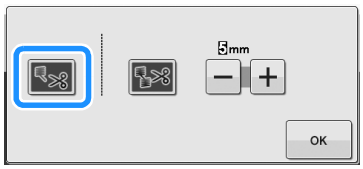
自動糸切り機能は、ぬい終わりのところで自動的に糸を切ります。この機能はあらかじめ ON に設定されています。設定を OFF にするには、を押してからを押します。この機能は縫製中に ON または OFF にできます。

- 電源を切ると、この機能は標準設定のに戻ります。

1 を押します。



2 を押して自動糸切り機能を OFF にします。



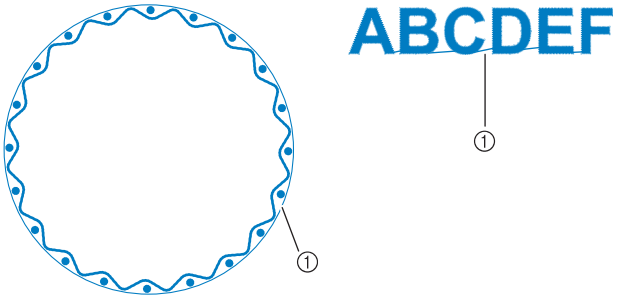
→ キーの表示がに変わります。

→ 1 色の糸をぬい終わると、ミシンは糸を切らずに停止します。

渡り糸切り機能

渡り糸機能は、余分な渡り糸を自動的に切ります。この機能はあらかじめ ON に設定されています。設定を OFF にするには、を押してからを押します。この機能は縫製中に ON または OFF にできます。

- 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。

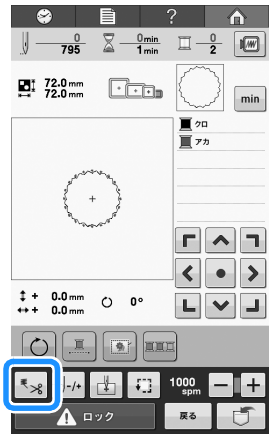


① 渡り糸

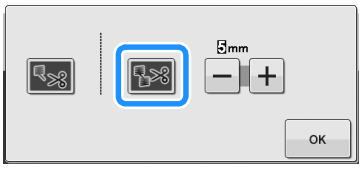
お願い

- アルファベットのように、短い渡り糸を自動糸切り機能を設定して刺しゅうするときは、ボールポイント針（刺しゅう用）を使用してください。

1 を押します。



2 を押して渡り糸切り機能を OFF にします。



→ キーの表示が に変わります。

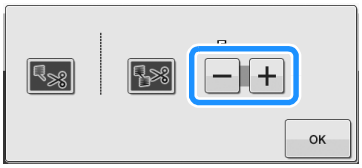
→ ミシンは、次のぬい目に進む前に糸を切りません。

■渡り糸の長さを選ぶ

渡り糸切り機能 が設定されている場合、残しておく渡り糸の長さを選ぶことができます。長さは、刺しゅうの途中で変更できます。
5mm から 50mm まで、5mm きざみで設定を選択できます。

→ 設定は、ミシンの電源を切っても保存されます。

＋または－を押して、渡り糸の長さを選びます。
例：－を押して 25mm を選ぶと、ミシンは次のぬい目に移動する前に、25mm 以下の渡り糸を切らずに残します。



お願い

- 糸切りの多い模様の場合は、布地の裏面に残る糸の量を減らすために、渡り糸の長さ調節を長めに設定することをおすすめします。
- 渡り糸の長さに選ぶ数値が大きければ大きいほど、糸を切る回数が減りますが、布地にはより多くの渡り糸が残ることになります。

第 5 章

模様の選択／編集／記憶

刺しゅう模様の選び方、編集のしかた、記憶のしかたについて説明します。

刺しゅう模様の記憶 104
刺しゅうデータに関する注意 104
■ 使用可能な刺しゅうデータの種類 104
■ 使用可能な USB メディアの種類 104
■ ミシンとパソコンの接続 105
■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意 105
■ タジマフォーマット（.dst）の刺しゅうデータについて 105
刺しゅうカード（別売）について 106
USB メディア（市販品）について 106
刺しゅう模様を選ぶ 107
基本的な模様の選び方 107
■ 模様選択画面 107
■ 模様一覧画面 107
ワンポイント／アルファベット 108
枠模様 108
文字模様 109
■ 配列を変更する 111
■ 揃えを変更する 111
■ 横書き／縦書きを切り替える 112
刺しゅうカード（別売） 112
■ 刺しゅうカード（別売）について 112
■ カードリーダー（別売）とカードライター（別売刺しゅうソフトウェア同梱品）＊について 112
■ 刺しゅうカードリーダーを使用する 112
刺しゅう模様をミシンに記憶する 113
■ メモリーがいっぱいの場合 113
刺しゅう模様を USB メディアに記憶する 114
刺しゅう模様をパソコンに記憶する 114
ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す 115
USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す 116
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す 117
刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面） 119
模様を組み合わせる 119
編集する模様を選ぶ 120
模様イメージを拡大表示する 120
位置を移動する 121
左右反転する 121
大きさを変える 122
回転する 123
文字の配列を変更する 124
文字間隔を変更する 124
組み合わせた文字模様を分割する 125
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ） 126
■ 糸密度をあらくする 126
■ 糸密度を細かくする 126
1 文字ずつ色を変える 126
模様の色を変える 126
繰り返し模様をつくる 127
■ 模様を繰り返してぬうには 127
■ 繰り返し模様の 1 つの要素を繰り返す 128
■ 糸印をつける 129
ユーザーパレットを作る 130
■ 一覧からユーザーパレットに色を追加する 131
■ ユーザーパレットを USB メディアに保存する 132
■ USB メディアからユーザーパレットのデータを呼び出す 132
ユーザーパレットから色を選ぶ 133
模様を複製する 134
模様を削除する 135
刺しゅう模様全体を編集する（縫製画面） 136
すべて回転する 136
組み合わせの編集 137

刺しゅう模様の記憶

刺しゅうデータに関する注意

このミシンで作成・記憶したデータ以外の刺しゅうデータを扱うときは、次の点に注意してください。

⚠ 注意

- **当社正規の模様以外の刺しゅうデータを使用する際は、糸密度が細かすぎる場合や3回以上の重ねぬいをする場合があり、糸切れや針折れが発生するおそれがあります。そのような場合は、当社正規のデータ作成装置（刺しゅうPROなど）で、刺しゅうデータを修正してご使用ください。**

■ 使用可能な刺しゅうデータの種類

- このミシンで扱える刺しゅうデータは、.pes、.phc、.dst ファイルのみです。当社正規のデータ作成装置およびミシンで記憶された模様以外のデータを扱うと、ミシンが誤作動するおそれがあります。

■ 使用可能な USB メディアの種類

模様データを USB メディアへ記憶したり、USB メディアへ記憶した模様データを呼び出したりすることができます。使用できる USB メディアの種類は次のとおりです。

- USB フラッシュドライブ（USB フラッシュメモリー）
- USB フロッピーディスクドライブ

呼び出しのみが可能な刺しゅうデータ

- USB CD-ROM、CD-R、CD-RW ドライブ

また、市販の USB メモリーカードリーダー／ライターで、次の USB メディアを使用することもできます。

- SD カード
- コンパクトフラッシュ
- メモリースティック
- スマートメディア
- マルチメディアカード（MMC）
- xD ピクチャーカード

お願い

- 処理速度は、選んだポートや保存されているデータ容量によって異なることがあります。
- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能な USB メディアについての詳細は、ブラザーソリューションセンター（http://support.brother.co.jp ）でご確認ください。
- USB メディアを差し込むと、アクセスランプが点滅します。認識するまでに 5 ～ 6 秒かかります。（USB メディアの種類によって、認識するまでの時間は異なります。）

お知らせ

- フォルダーを作成する場合は、パソコンを使用してください。
- フォルダー名、および模様データのファイル名には、英数字、またはダッシュ（-）、アンダーバー（_）を使用することができます。フォルダー名の長さが 8 文字以下の場合は、フォルダー名全体が画面に表示されます。 9 文字以上の場合は、始めの 6 文字の後が「～」と数字に変わります。

■ ミシンとパソコンの接続

接続するパソコンが、以下の動作環境を満たしていることを確認してください。

- 対応機種：
  USB ポート標準装備の IBM-PC またはその互換機
- 対応 OS：
  Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8/Windows 8.1、Windows 10

■ パソコンでデータを作成・保存するときの注意

- フォルダー名、および模様データのファイル名には、特殊記号やコンマ（,）、ピリオド（.）を使用しないでください。フォルダー、または模様データを正しく識別できないおそれがあります。フォルダー名およびファイル名には、英数字、またはダッシュ（-）、アンダーバー（ _ ）のみを使用してください。
- ヨコ 200mm× タテ 200mm より大きな刺しゅうデータは扱うことができません。（デザインはすべて、デザイン領域ヨコ 200mm× タテ 200mm 内にしてください。）
- 針数、色数の制限を超えて記憶した .pes ファイルは模様が表示されません。当社正規のデータ作成装置で、制限内（針数 50 万針、色替え 127 回まで）の模様に修正してご使用ください。
- USB メディア内に作成されたフォルダーに格納された模様データは、本機で読み込むことができます。
- リムーバブルディスクにはフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成し、フォルダー内に刺しゅうデータを記憶した場合、ミシンで模様データを表示することはできません。
- 刺しゅう機を取り付けていない場合にも、このミシンは刺しゅうデータを扱うことができます。

■ タジマフォーマット（.dst）の刺しゅうデータについて

- .dst データは、模様一覧画面にファイル名で表示されます。（実際の絵柄は表示されません。）ファイル名は、8 文字までのアルファベット・数字で表示されます。
- .dst データのファイル名に全角文字を使用すると、ミシンが模様データを正しく認識できないおそれがあります。
- タジマフォーマット（.dst）には、模様の色情報がありませんので、どの模様を選択しても当社指定の糸色順で表示されます。画面上で、でき上がりを確認しながら、糸色変更でお好みの色に変更してください。

刺しゅうカード（別売）について

- 分解したり改造しないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
- 水・溶剤類・飲み物など、液体でぬらさないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度差の激しい場所、スピーカー等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
- 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- 刺しゅうカードから刺しゅうデータを呼び出すときは、刺しゅうカードライターをミシンに接続してください。
- 刺しゅうカードは、収納ケースに入れて保管してください。
- 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- ライセンス付きあるいは著作権で保護されているなどの理由により、このミシンでは使用できない刺しゅうカードがあります。
- 日本国外で売られている刺しゅうカードは、使用できませんのでご了承ください。
- 刺しゅうカードは 、必ず刺しゅうカードリーダー／ライターのアクセスランプが点滅していないときに、抜き差ししてください。(P. 112「刺しゅうカード（別売)」参照)

＊ 「刺しゅう PRO バージョン 5」以降のバージョン、あるいは「ハートステッチズ DL」をご購入の場合は、別売刺しゅうソフトウェアに付属のカードライターをミシンに接続してご使用いただくことができます。

USB メディア（市販品）について

- 分解したり改造しないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重いものを載せることはしないでください。
- 水・溶剤類・飲み物など、液体でぬらさないでください。
- 強い静電気、電気的ノイズの発生しない環境で使用、保管してください。
- 振動や衝撃が加わる場所、直射日光の当たる場所、糸くず等のほこりっぽい場所、高温多湿の場所、温度差の激しい場所、スピーカー等の強い磁気の近くで使用、保管しないでください。
- 刺しゅうデータの呼び出し中は、振動や衝撃を与えたり、ミシンから取り出さないでください。
- USB メディア内のデータは、誤操作や事故などで消失・破損することがあります。重要なデータは、バックアップをお勧めします。
- USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能な USB メディアについての詳細は、ブラザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp) でご確認ください。
- USB メディアは、必ず USB メディアのアクセスランプが点滅していない状態で抜いてください。
- USB メディアは、差し込んだ後 5 秒以上経過してから抜いてください。
- USB メディアについては、お買い求めの USB メディアに付属の取扱説明書もよく読んで取り扱ってください。

刺しゅう模様を選ぶ

このミシンには、刺しゅう模様が内蔵されています。それらの模様のほか、刺しゅうカード（別売）やUSB メディア（市販品）、パソコンから模様を呼び出すことができます。

お知らせ

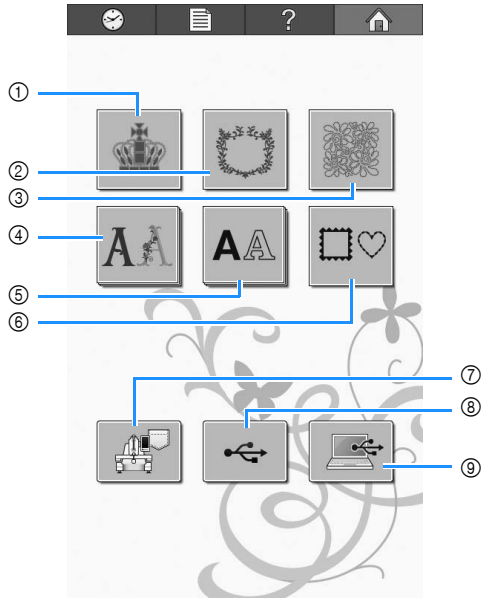
●刺しゅうカード（別売）から模様を呼び出す方法については、P. 112 を参照してください。

基本的な模様の選び方

模様の種類によって多少違いがありますが、基本的には次の手順で選びます。

❶ 模様選択画面で希望するカテゴリーキーを押します。

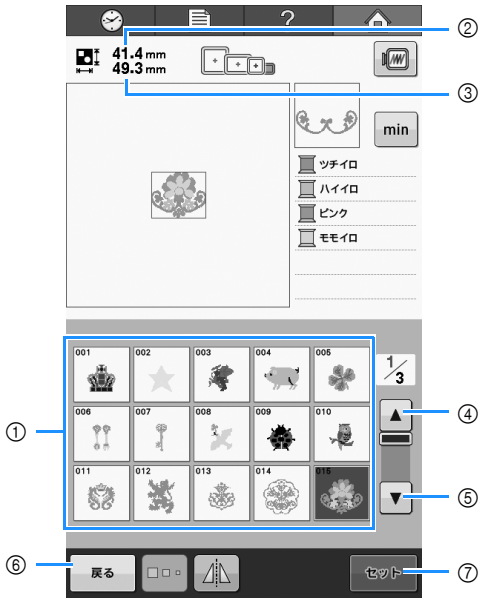
■ 模様選択画面



① ワンポイント
② 枠飾り模様
③ キルト模様
④ アルファベット
⑤ 文字模様
⑥ 枠模様
⑦ ミシンに記憶した刺しゅう模様
⑧ USB メディア
⑨ パソコン (USB)

❷ 次に表示される模様一覧画面で模様キーを押して、模様を選びます。

■ 模様一覧画面



① 模様キー
- 模様キーを押すと、その模様の情報が表示されます。

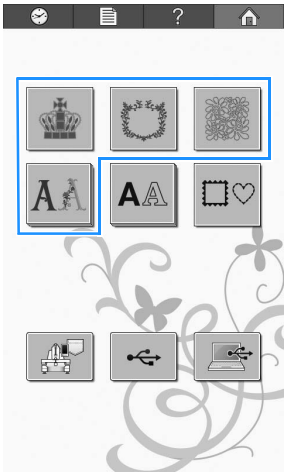
② 模様の縦の長さ
③ 模様の横の長さ
④ ▲ ページアップ
⑤ ▼ ページダウン
- 複数のページがあるとき、④ と ⑤ を押して目的のページを表示します。

⑥ 戻るキー
- 模様選択画面に戻ります。

⑦ セットキー
- 模様を選んだ後に押します。選択が確定され、編集画面に進みます。

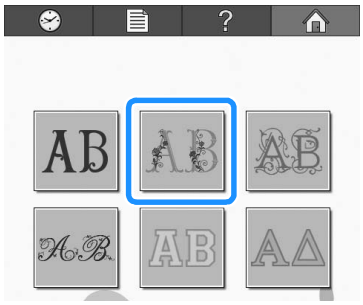
ワンポイント／アルファベット

1 刺しゅうしたい模様カテゴリーを選びます。



→ 模様の種類が表示されます。

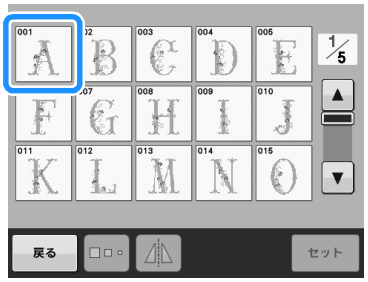
2 模様の種類を選びます。



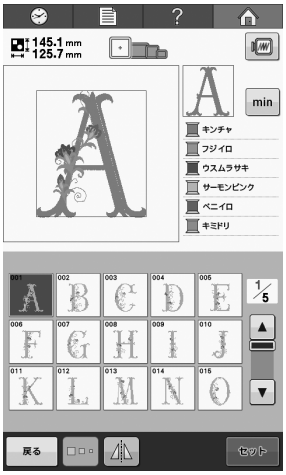
→ 模様一覧が表示されます。

3 模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。



→ 模様表示エリアに模様が表示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

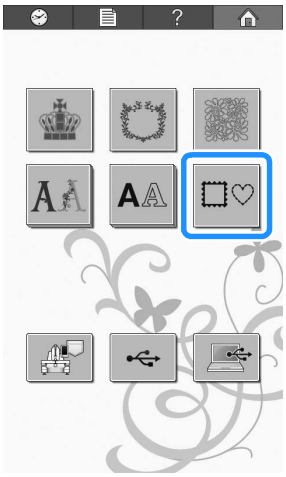
4 セット を押します。

これで模様の選択が確定されます。

→ 編集画面が表示されます。

枠模様

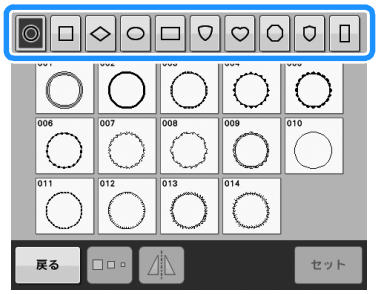
1 □♡ を押します。



→ 枠模様一覧が表示されます。

2 上段で枠の形を選びます。

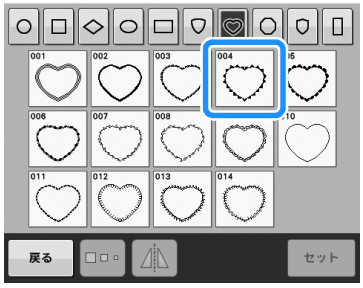
選びたい枠キーを押します。



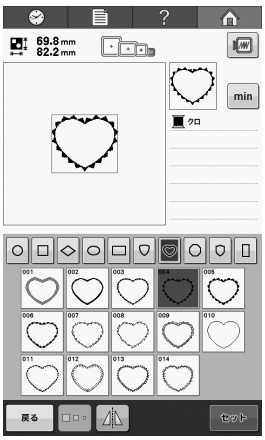
→ 下段に枠の模様が表示されます。

3 下段で枠模様を選びます。

選びたい模様キーを押します。



→ 模様表示エリアに模様が示されます。



- まちがえて模様を選んだときや模様を選び直したいときは、選びたい模様キーを押し直します。

4 セット を押します。

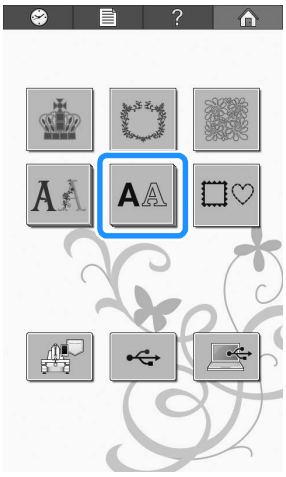
これで模様の選択が確定されます。

→ 編集画面が表示されます。

文字模様

例) Lucky Color

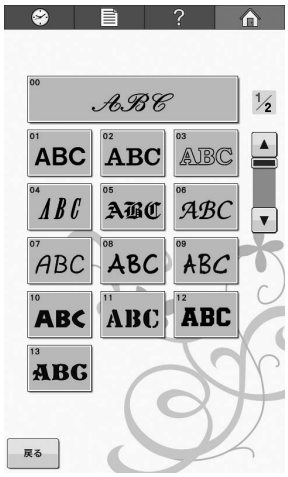
1 AA を押します。



→ 書体選択画面が表示されます。

2 書体を選びます。

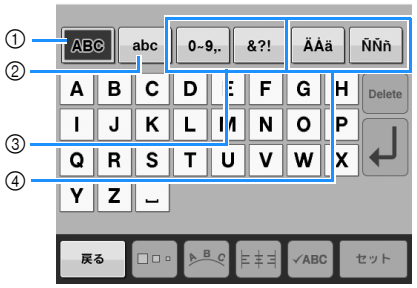
選びたい書体キーを押します。



- 次のページを見るときは ▲ または ▼ を押します。

→ 文字入力画面が表示されます。

3 選びたい文字種が表示されていないときは、選びたい文字種のタブを押します。



① 大文字
② 小文字
③ 数字・記号
④ 欧州特殊文字

→ タブキーに示されている文字種の文字入力画面が表示されます。

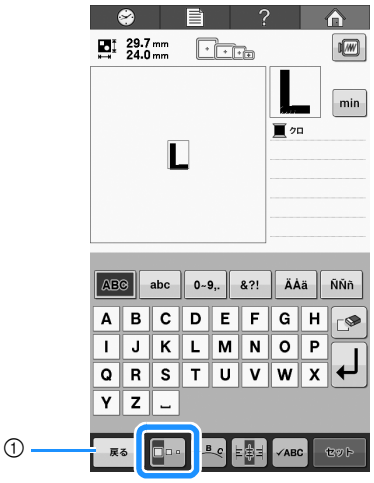
- 書体を選び直したいときは、戻る を押します。書体選択画面に戻ります。

4 文字を選びます。

選びたい文字キーを押します。

→ 模様表示エリアに、文字が入力されます。

5 1 文字目を選んでから □□▫ を押し、希望の大きさにします。



① 押すと、大きさを変更できます。

- 大きさを変えると、次に選ぶ文字は同じ大きさになります。
- 文字を組み合わせた後で、まとめて大きさを変えることはできません。（編集画面で大きさを変更することはできます。）

お願い

●4 つの小さいフォント（14 ABCD、15 ABCD、16 ABCD、17 ABCD）は、大きさを変更することができません。

6 abc を押して、「ucky」と順に押します。

① まちがえて文字を入力したときや文字を入し直したいときは、⌫ を押して文字を取り消してから入力し直します。⌫ を押すと、文字列の最後の文字から 1 文字ずつ取り消されます。

② スペースを入れるには、␣ を押します。

7 ↵ を押して改行します。

8 ABC を押して、「C」を押します。

9 abc を押して、「olor」と順に押します。

10 文字が小さくて画面表示が見にくいときは、[✓ABC]を押すと文字の確認ができます。

11 確認ができたら、[OK]を押して文字入力画面に戻ります。

12 すべての文字を入力し終わったら、[セット]を押します。

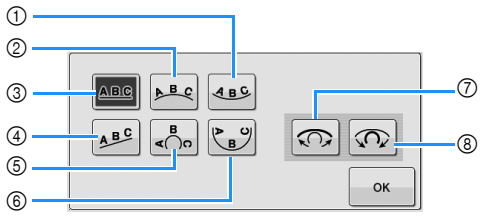
これで模様の選択が確定します。

→ 編集画面が表示されます。

■配列を変更する

[ABC]を押すと、次の画面が表示されます。希望の配列のキーを押します。

配列が決まったら、[OK]を押します。文字入力画面に戻ります。



① ゆるい曲線の内側に配列します。

② ゆるい曲線の外側に配列します。

③ 直線に配列します。

④ 斜線に配列します。

⑤ 急な曲線の内側に配列します。

⑥ 急な曲線の内側に配列します。

⑦ 曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを弱く（ゆるく）できます。

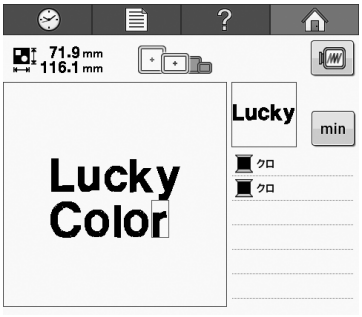
⑧ 曲線の配列を選んだ場合、押すごとに曲線の度合いを強く（急に）できます。

- この画面で配列を変更すると、より多くの文字を入力することができます。

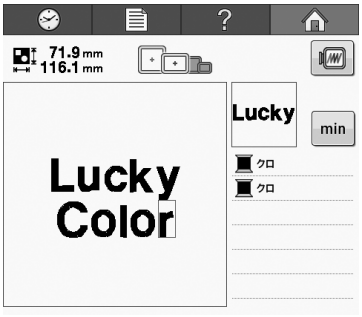
■揃えを変更する

文字の揃えを変更するには、[揃え]を押します。

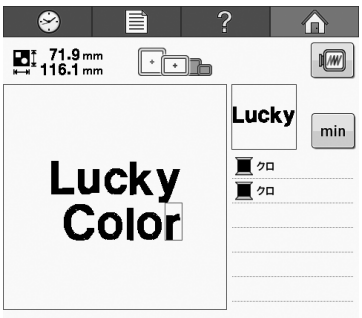
[揃え]が表示されている場合は、文字は左揃えで並んでいます。



[揃え]が表示されている場合は、文字は中央揃えで並んでいます。



[揃え]が表示されている場合は、文字は右揃えで並んでいます。



お知らせ

- 文字の色は黒に設定されています。色を変えたいときは、P.126「1 文字ずつ色を変える」、P. 126「模様の色を変える」してください。

■ 横書き／縦書きを切り替える

日本語フォントを選んだとき、 を押すと、日本語の文字（ひらがな／カタカナ／漢字）の横書き／縦書きが切り替わります。

刺しゅうカード（別売）

■ 刺しゅうカード（別売）について

- このミシン用に作られた刺しゅうカード以外は使用しないでください。対応していないカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。
- 日本国外で販売されている刺しゅうカードは、このミシンでは使用できません。また、国内で販売されている刺しゅうカードの中にも、ライセンス付きあるいは著作権で保護されているなどの理由により、一部利用できないものがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 刺しゅうカードは丈夫なケースに入れて保管してください。

■ カードリーダー（別売）とカードライター（別売刺しゅうソフトウェア同梱品）* について

- このミシン専用のカードリーダー以外は使用しないでください。専用のカードリーダー以外を使用した場合、誤作動が起きるおそれがあります。

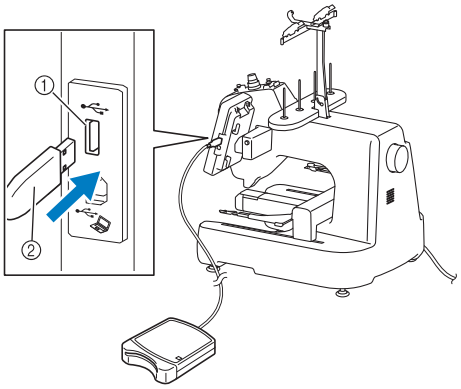
お知らせ

●ミシンに接続したカードリーダーに入れた刺しゅうカードに、ミシンから模様データを転送して保存することはできません。

* 刺しゅう PRO バージョン 5 以降、またはハートステッチズ DL をお持ちの場合は、別売刺しゅうソフトウェアに付属のカードライターをミシンに接続して、刺しゅうカードに入っている模様を呼び出すことができます。

■ 刺しゅうカードリーダーを使用する

1 カードリーダー（別売）／カードライター（別売刺しゅうソフトウェア付属品）を、ミシンの USB ポートにつなぎます。

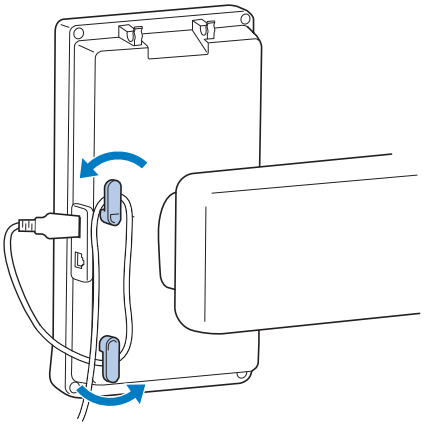


① USB ポート

② 刺しゅうカードリーダー／カードライター *

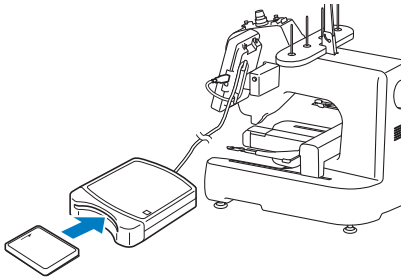
* 刺しゅう PRO バージョン 5 以降、またはハートステッチズ DL をお持ちの場合は、別売刺しゅうソフトウェアに付属のカードライターをミシンに接続して、刺しゅうカードに入っている模様を呼び出すことができます。

カードリーダー／カードライターをミシンの USB ポートに接続するときは、操作パネル背面の 2 つのフックにケーブルを巻きつけて、しっかり固定してください。ケーブルが固定されていないと、刺しゅう枠が動くときに枠がケーブルにひっかかり、模様がずれるおそれがあります。



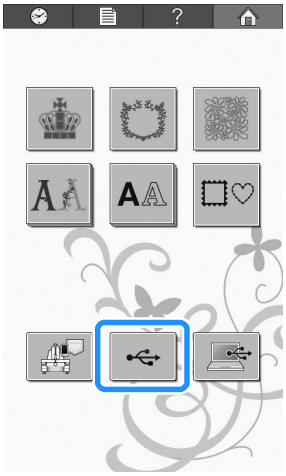
2 カードリーダー／カードライターにカードをしっかり差し込みます。

刺しゅうカードは、印刷された矢印が上を向くように差し込んでください。



お願い
- 当社正規の刺しゅうカード以外のカードを使用すると、ミシンが誤作動するおそれがあります。必ず、当社正規の刺しゅうカードをご使用ください。
- 一部のライセンス付きカードあるいは著作権で保護されたカードは、この刺しゅうミシンではお使いいただけない場合があります。

3 カードリーダー／カードライターがつながれている USB ポートのキーを押します。



→ 刺しゅうカードの模様一覧が表示されます。

4 108 ページ～ 109 ページを参照して、模様を選びます。

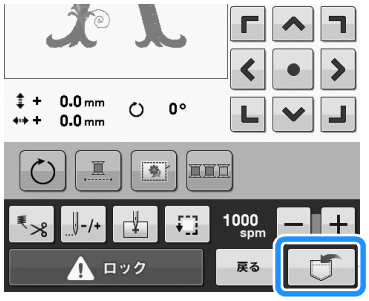
刺しゅう模様をミシンに記憶する

編集した模様やよく使う模様をミシンに記憶しておくことができます。例えば、名前や、回転させたり大きさを変更したりした模様、縫製位置を変更した模様などをミシンに記憶しておくと便利です。合計で約 1MB の模様を保存することができます。

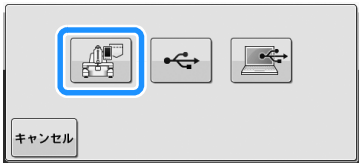
お願い
- 「記憶中」の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

お知らせ
- 模様の記憶には数秒かかります。
- 記憶した模様の呼び出しかたは、P.115「ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す」を参照してください。

1 記憶したい模様を表示した状態で、縫製画面で を押します。



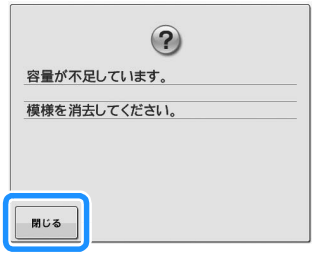
2 を押します。
- 記憶をやめる場合は キャンセル を押します。



→ 記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

■ メモリーがいっぱいの場合

次の画面が表示された場合は、すでに保存されている模様の数が、保存可能な最大数に達しているか、保存しようとしている模様の容量が大きすぎるため、保存できません。 閉じる を押してすでに保存されている模様を削除すると、新しい模様が保存できます。詳細は、P. 115「ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す」を参照してください。



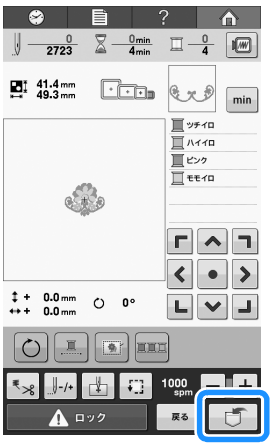
刺しゅう模様を USB メディアに記憶する

刺しゅう模様を USB メディアに記憶するときは、USB メディアをミシンの USB ポートに接続します。

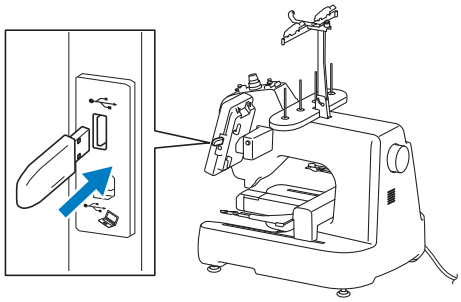
お知らせ

- 市販の USB メディアが使用できますが、USB メディアの種類によっては、このミシンで使用できないことがあります。使用可能な USB メディアについての詳細は、ブラザーソリューションセンター（ http://support.brother.co.jp/ ）でご確認ください。
- USB メディアの種類に応じて、直接ミシンの USB ポートに接続するか、もしくは USB メディア呼び出し／書き込み装置をミシンの USB ポートに接続してください。
- USB メディアの抜き差しは、ミシンの電源の入／切に関係なく、いつでもできます。

1 縫製画面で、記憶させたい模様を表示した状態で を押します。



2 USB メディアをミシンのUSB ポートに差し込みます。



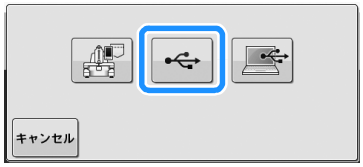
① USB ポート
② USB メディア

お願い

- USB メディア以外のものは絶対に差し込まないでください。故障の原因となります。

3 を押します。

＊ キャンセル を押すと、保存せずに元の画面に戻ります。



→「記憶中」の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

お願い

- 「記憶中」の画面が表示されているときは、絶対に USB メディアを抜き差ししないでください。記憶されている模様データが消えることがあります。

刺しゅう模様をパソコンに記憶する

付属の USB ケーブルでミシンとパソコンに接続し、刺しゅう模様を一時的に呼び出して、パソコンの「リムーバブルディスク」フォルダーに保存します。「リムーバブルディスク」には約 772 KB の刺しゅう模様を保存できます。ただし、ミシンの電源を切ると保存された刺しゅう模様は削除されます。

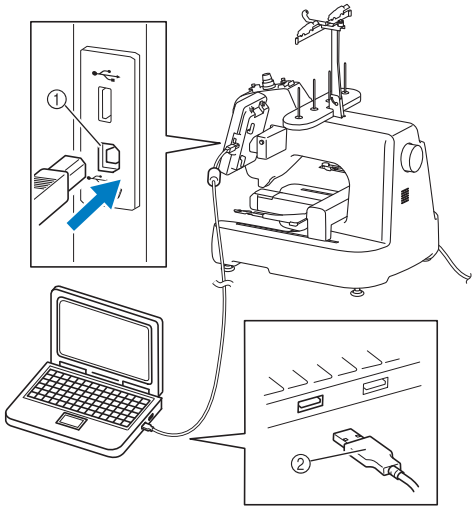
パソコンと OS について詳細は、P. 105「ミシンとパソコンの接続」を参照してください。

お願い

- 「記憶中」の画面が表示されているときは、絶対に電源スイッチを切らないでください。記憶されている模様データが消えるおそれがあります。

1 付属の USB ケーブルでパソコンとミシンを接続します。

- USB ケーブルは、パソコンやミシンの電源の ON／OFF に関係なく、それぞれの USB ポートにつなぐことができます。

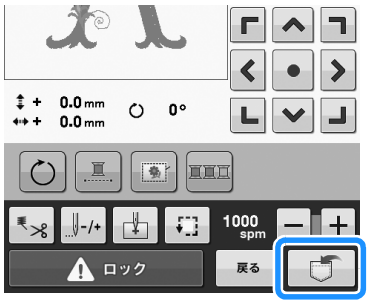


① パソコン接続用の USB ポート
② USB ケーブルコネクタ
→ パソコンの「コンピューター（マイコンピュータ）」に「リムーバブルディスク」のアイコンが表示されます。

お願い
- USB コネクタは差し込む向きが決まっています。入らないときは無理に差し込まず、コネクタの向きを確認してください。
- パソコンの USB ポートの位置については、パソコンの取扱説明書を参照してください。

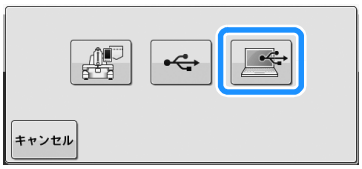
2 パソコンの電源を入れて「コンピューター（マイコンピュータ）」を選びます。

3 縫製画面で、記憶させたい模様を表示した状態で を押します。



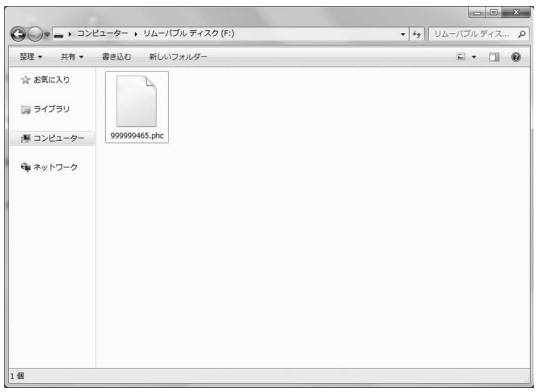
4 を押します。

- キャンセル を押すと、保存せずに元の画面に戻ります。



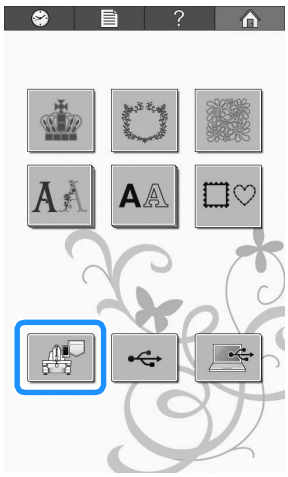
→ 模様は、「コンピューター（マイコンピュータ）」の「リムーバブルディスク」に一時的に保存されます。

5 「リムーバブルディスク」内にある模様の .phc ファイルを選び、ファイルをパソコンにコピーしてください。



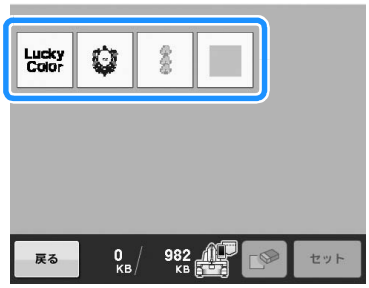
ミシンに記憶した刺しゅう模様を呼び出す

1 を押します。



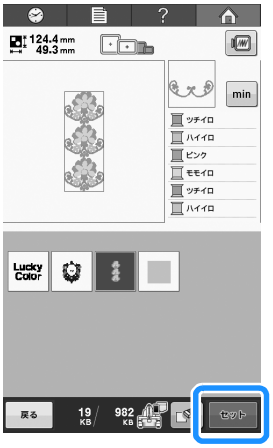
→ ミシンに保存されている模様が表示されます。

2 呼び出したい模様キーを押します。



3 セット を押します。

＊ 模様を削除するには を押します。



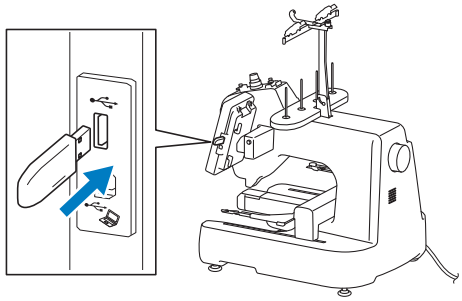
→ 縫製画面が表示されます。

USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す

USB メディアに記憶した刺しゅう模様を呼び出します。模様が USB メディアのフォルダーに格納されている場合は、各フォルダーを検索して刺しゅう模様を見つけてください。

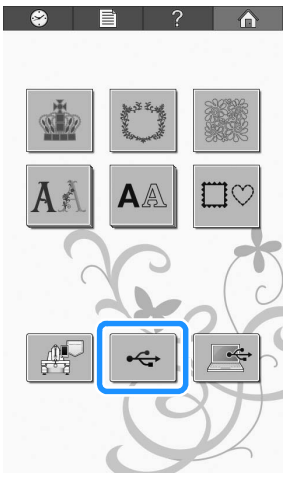
お願い
●処理速度は、データ量によって異なります。

1 USB メディアをミシンのUSB ポートに差し込みます。



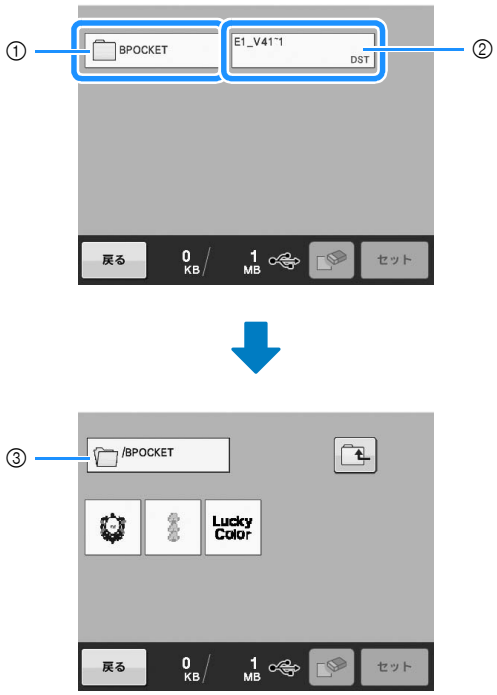
① USB ポート
② USB メディア

2 を押します。



→ 刺しゅうデータと、最上位フォルダー内のフォルダが表示されます。

3 複数の模様がサブフォルダーに分類されている場合は、 を押します。



① フォルダー名
② USB メディア内の刺しゅう模様
③ パス

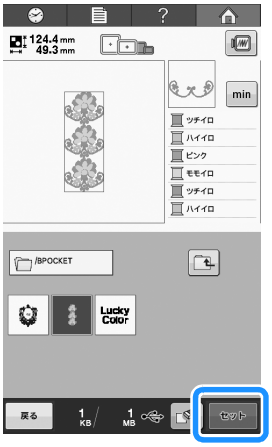
＊ パスは一覧の一番上に表示され、現在のフォルダーを示します。
＊ フォルダー内の刺しゅう模様とサブフォルダーが表示されます。
＊ 前のフォルダーに戻るには、 を押します。
＊ フォルダーを作成する際はパソコンを使ってください。本機ではフォルダーを作成することはできません。

4 呼び出したい模様キーを押します。

＊ 戻る を押すと元の画面に戻ります。

5 セット を押します。

＊ を押すと、USB メディアから模様が削除されます。



→ 縫製編集画面が表示されます。

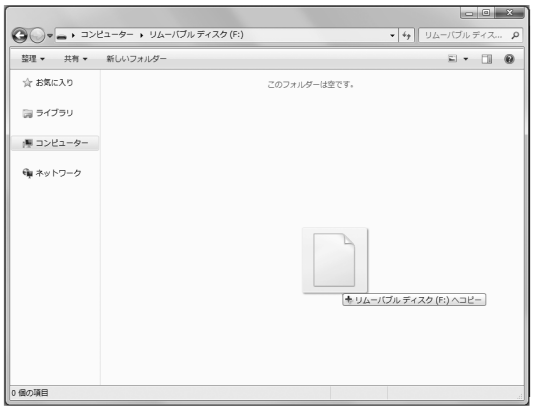
パソコンから刺しゅう模様を呼び出す

使用可能なパソコンの OS については、P. 105「ミシンとパソコンの接続」を参照してください。

1 付属の USB ケーブルを、パソコンの USB ポートおよびミシンの USB ポートに差し込みます。（P. 114「刺しゅう模様を USB メディアに記憶する」を参照してください。）

2 パソコン上で、「コンピューター（マイ コンピューター）」を開き、「リムーバブル ディスク」を開きます。

3 「リムーバブルディスク」に、模様データをコピーします。

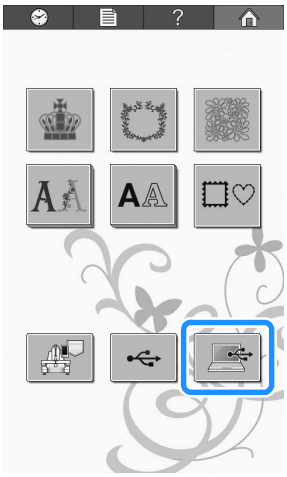


→「リムーバブルディスク」に入れた模様データが、ミシンへ書き込まれます。

お願い

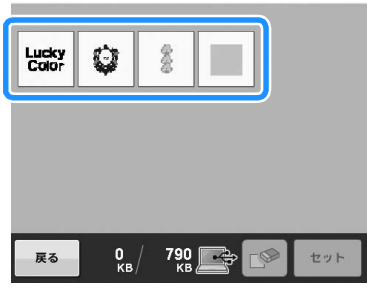
- 書き込みの最中は、USB ケーブルを抜かないでください。
- 「リムーバブルディスク」内にフォルダーを作らないでください。フォルダーが表示できないため、フォルダー内の模様データは呼び出せません。

4 を押します。



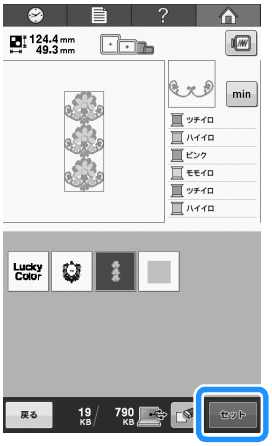
→ 模様一覧が表示されます。

5 呼び出したい模様キーを押します。



6 セット を押します。

＊ を押すと、パソコンから模様が削除されます。



→ 縫製編集画面が表示されます。

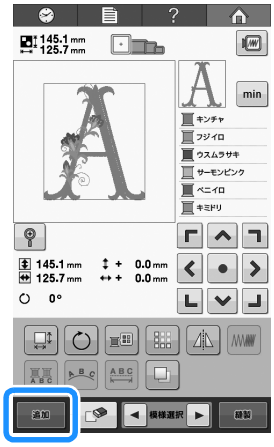
刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）

編集画面と縫製画面から模様を編集することができます。個々の模様は編集画面で、全体の模様は縫製画面で編集します。

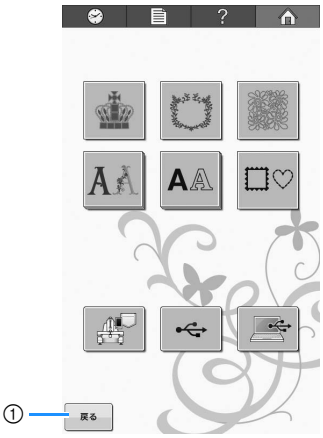
模様を組み合わせる

ワンポイントと枠模様、内蔵の文字と別売の刺しゅうカードの模様など、いろいろな模様の組み合わせが簡単にできます。

1 追加 **を押します。**



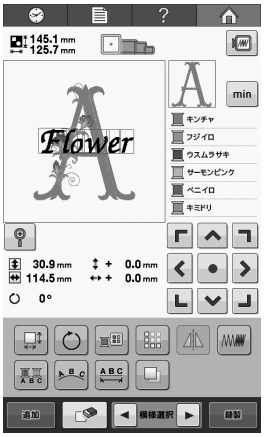
→ 模様選択画面に戻ります。



① 組み合わせをやめるときに押します。編集画面に移行します。

2 **模様を選びます。**

P. 107 ～ 109 の手順で模様を選び、追加します。



- 模様を選ぶと、常に模様表示エリアの中心に配置されます。

3 **組み合わせたい模様分、手順 1 ～ 2 を繰り返します。**

お知らせ

- 個々の模様の位置の調整や編集は、編集画面でできます。模様を選ぶごとに表示される編集画面でも、組み合わせをしたいすべての模様を選び終わってから表示される編集画面でも、同じようにできます。

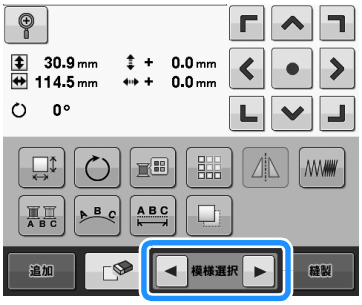
編集する模様を選ぶ

複数の模様を組み合わせている場合は、いくつかある模様パーツのうち、編集対象となる模様を選びます。

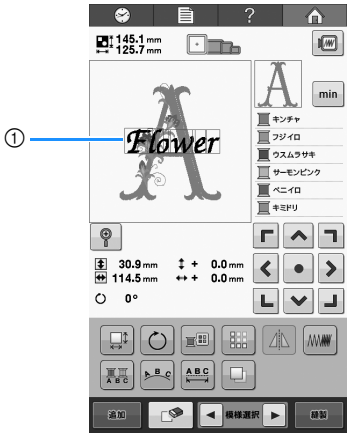
1 **◄または►を押します。**

赤い枠で囲まれている模様が編集対象となる模様です。

編集したい模様が赤枠で囲まれるまで、◄または►を押します。



→ 模様を選んだ順または逆順で、模様が選ばれていきます。



① 編集対象を示す赤い枠

お知らせ

●編集画面では、複数の模様を組み合わせている場合は、❶ 編集する対象となる模様を選んで、❷ その模様を編集する、が編集の基本手順になります。

模様イメージを拡大表示する

小さい模様を選んだときは、細部をチェックするために模様イメージを拡大表示できます。

1 **を押します。**

→ 模様イメージが 200% 拡大されて表示されます。

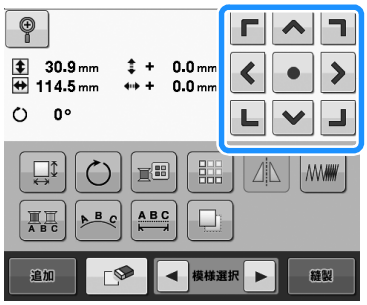
2 **全体が表示しきれないときは、模様イメージを動かして確認します。**

● 通常の模様イメージ表示に戻るには、を押します。

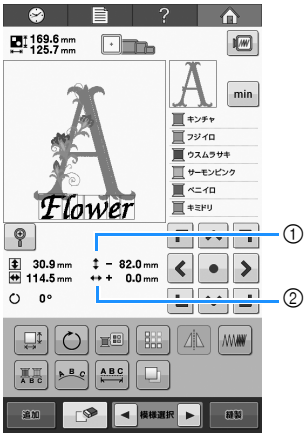
位置を移動する

刺しゅう枠のどの位置に縫製するかを決めます。模様を組み合わせている場合は、個々の模様を移動してレイアウトします。

1 **移動させたい方向の矢印キーを押します。**



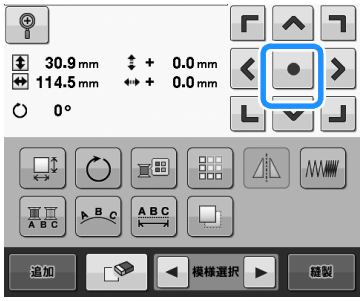
→ 矢印の方向に模様が移動します。



① 移動したときの縦の移動距離を示します。

② 移動したときの横の移動距離を示します。

● 移動する前の位置（刺しゅう枠の中心）に戻したときは、● を押します。



指またはタッチペンで、画面の模様をドラッグして移動することもできます。

お願い

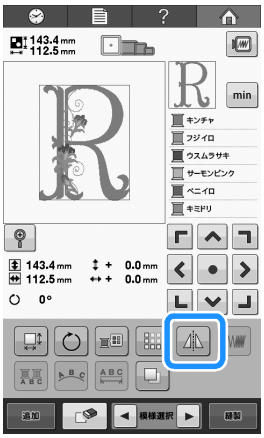
●模様を動かせるのは、画面上に矢印が表示されているときのみです。

お知らせ

●縫製画面の矢印キーは、枠を移動して縫製位置を決めるために使います。

左右反転する

1 を押して、にします。



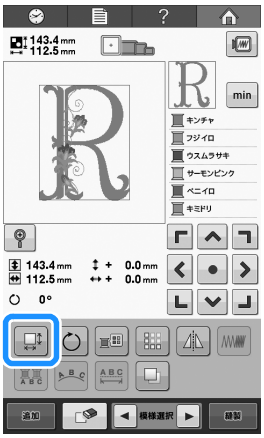
→ 模様が左右反転します。

● キーを 1 回押すごとに、切り替わります。

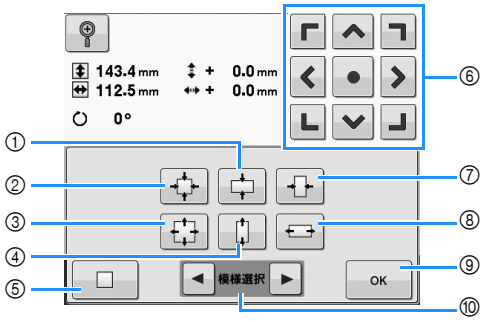
左右反転解除　　左右反転する

大きさを変える

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



例／元の大きさ

① 縦方向のみ縮小

② 縦横比を変えずに縮小

③ 縦横比を変えずに拡大

④ 縦方向のみ拡大

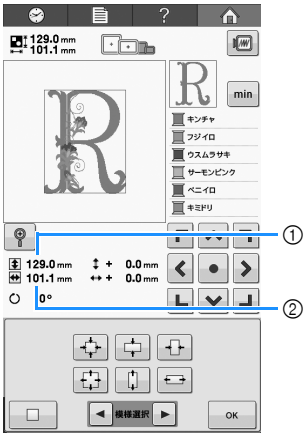
⑤ 押すと、元の大きさに戻ります。
⑥ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑦ 横方向のみ縮小

⑧ 横方向のみ拡大

⑨ 押すと、この画面を閉じます。
⑩ このキーを押して、編集する模様を選びます。

2 各キーを押して、希望の大きさにします。

キーを押すごとに、変更後の大きさを示します。



キーを押して大きさを変更した後に、模様の大きさが表示されます。

① 縦の長さ

② 横の長さ

- 模様や文字によって、拡大できる模様の大きさが異なります。
- 模様を回転すると、縦、横の方向が反転する場合があります。
- 模様を元の大きさに戻すには、□を押します。

3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P. 121「位置を移動する」を参照してください。

4 変更し終わったら、OKを押します。

→ 編集画面に戻ります。

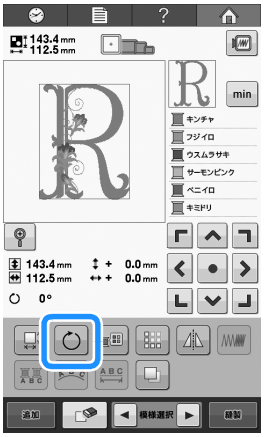
⚠ 注意

- **模様の大きさを変えたときは、使用できる枠の表示を確認して使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガ原因となります。**

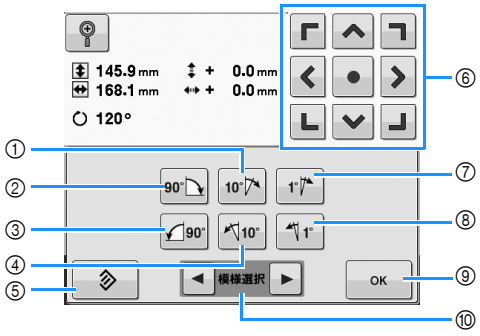
回転する

1 ～ 359 度、左右両方向に回転することできます。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



例／ 0 度

① 右に 10 度ずつ回転

② 右に 90 度ずつ回転

③ 左に 90 度ずつ回転

④ 左に 10 度ずつ回転

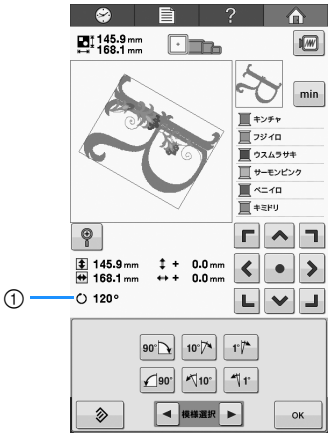
⑤ 押すと、0 度に戻ります。
⑥ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑦ 右に 1 度ずつ回転

⑧ 左に 1 度ずつ回転

⑨ 押すと、この画面を閉じます。
⑩ このキーを押して、編集する模様を選びます。

2 各キーを押して、希望の角度にします。

キーを押すごとに模様が回転します。



① キーを押すごとに、変更後の回転角度を示します。

- 元の角度（0 度）に戻したい場合は、 を押します。

3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P. 121「位置を移動する」を参照してください。

4 変更し終わったら OK を押します。

→ 編集画面に戻ります。

⚠ 注意

- **模様の角度を変えたときは、使用できる枠の表示を確認して使用してください。表示される枠以外の刺しゅう枠を使用すると枠が押えに当たり、ケガの原因となります。**

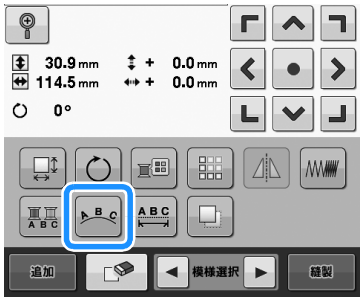
お知らせ

- 縫製画面の を使うと、組み合わせた模様全体の回転ができます。(P. 136「すべて回転する」)
- 大きな模様や、縫製範囲の端にレイアウトされている模様などで、回転すると縫製範囲からはみ出る場合は、キーを押しても希望の角度に回転できないことがあります。

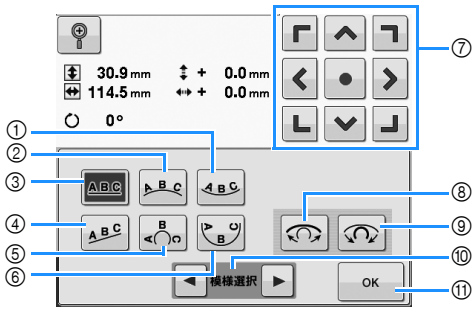
文字の配列を変更する

文字を水平、斜め、円弧に配列することができます。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



① ゆるい円弧の内側に配列します。
② ゆるい円弧の外側に配列します。
③ 直線に配列します。
④ 斜線に配列します。
⑤ 急な円弧の外側に配列します。
⑥ 急な円弧の内側に配列します。
⑦ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑧ 曲線の配列を選んだ後に押すと、押すごとに曲線の度合いが弱く（ゆるく）なります。
⑨ 曲線の配列を選んだ後に押すと、押すごとに曲線の度合いが強く（急に）なります。
⑩ このキーを押して、編集する模様を選びます。
⑪ 押すと、この画面を閉じます。

2 希望の配列キーを押します。

3 曲線の配列を選んだ場合は、曲線の度合いを調整できます。必要に応じて、 を押して調整します。

お知らせ

● を選んだときは、、はそれぞれ、、にキーが変わります。傾きの度合いを調整できます。

4 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

操作のしかたは、P. 121「位置を移動する」を参照してください。

5 変更し終わったら、OK を押します。

→ 編集画面に戻ります。

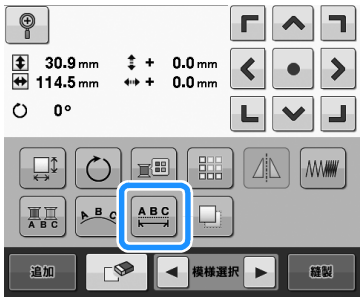
お知らせ

●P. 111 で文字を選ぶときに設定した配列は、ここで変更することができます。

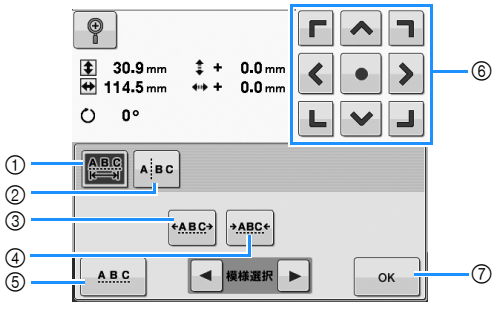
文字間隔を変更する

文字間隔を広げたり、狭くしたりできます。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



① 選択された文字内で均等割り付けします。
② 個別に文字間隔を調整／編集するために、文字を切り離します。
③ 文字間隔を広くします。
④ 文字間隔をせまくします。
⑤ 標準の文字間隔（元の文字間隔）を選択します。
⑥ 矢印キーの方向に、模様を移動できます。
⑦ 押すと、この画面を閉じます。

2 各キーを押して、希望の文字間隔にします。

キーを押すごとに、文字間隔が少しずつ広くまたはせまくなります。

- 元の文字間隔にしたい場合は、[A B C]を押します。

3 必要に応じて、矢印キーを押して模様の位置を調整します。

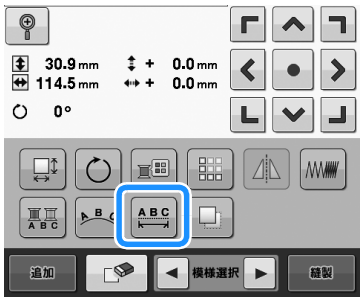
操作のしかたは、P. 121「位置を移動する」を参照してください。

4 変更し終わったら、[OK]を押します。

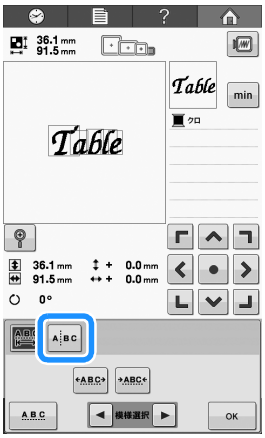
組み合わせた文字模様を分割する

すべての文字を入力した後、組み合わせた文字模様を分割し、文字間隔を調整したり、模様を個別に編集したりできます。

1 [A B C]を押します。

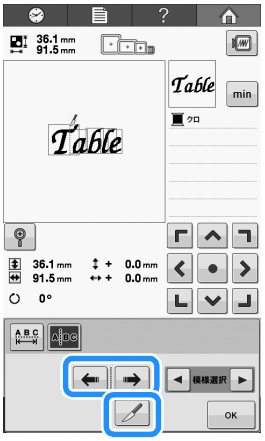


2 [A BC]を押します。



→ キーは、[A BC]に変わります。

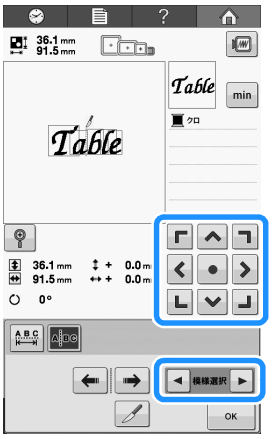
3 [◀][▶]で分割する場所を選び、[✎]を押します。この例では、模様は「T」と「a」との間で分割されます。



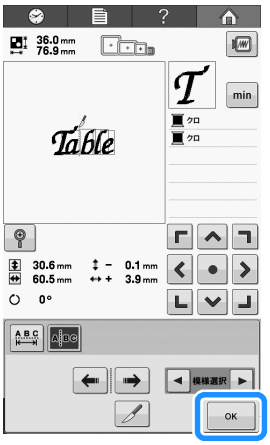
お願い

- 分割した文字模様を再び組み合わせることはできません。

4 [◀]または[▶]で模様を選び、[✥]で文字間隔を調整します。



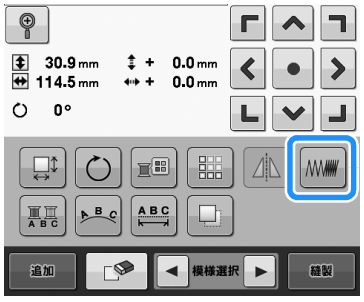
5 [OK]を押します。



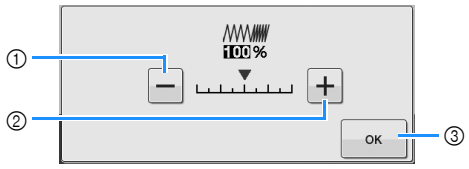
糸密度を変える（文字・枠模様の一部のみ）

文字・枠模様の一部のみ糸密度を変えることができます。
80 ～ 120% の間で 5% ごとに設定できます

1 を押します。

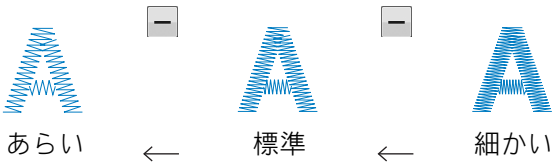


→ 次の画面が表示されます。

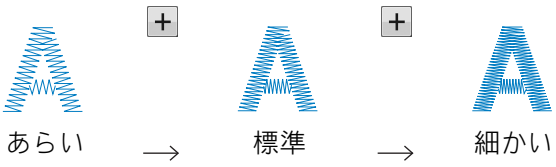


① 糸密度を粗くします。
② 糸密度を細かくします。
③ 押すと、この画面を閉じます。

■ 糸密度をあらくする



■ 糸密度を細かくする



2 各キーを押して、希望の糸密度にします。

キーを押すごとに、少しずつあらくまたは細かくなります。

- 元の糸密度（標準）に戻したい場合は、100% にします。

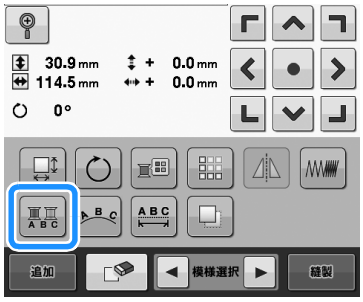
3 変更し終わったら、OK を押します。

→ 編集画面に戻ります。

1 文字ずつ色を変える

P. 109 の、文字模様で選択した文字は、黒色に設定されています。文字の色を変えたいときは、配色キーで変更しますが、1 文字ずつ色を変えたいときは、色替えキーを「ON」にしてから 1 文字ずつ色を設定します。

1 を押して にします。



- キーを 1 回押すごとに、切り替わります。

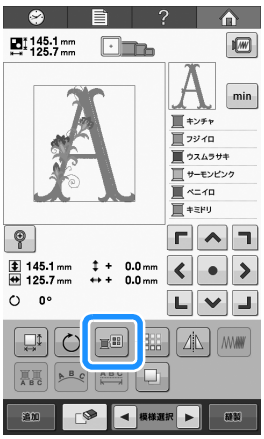
色替え off　　色替え on

- 色の変更は、P.126「模様の色を変える」を参照してください。

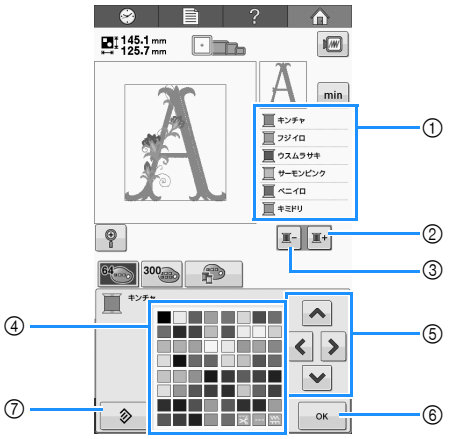
模様の色を変える

模様の色を変えて、画面で確認することができます。
色を変えると、同じ模様でも雰囲気が変わり、楽しむことができます。
この機能のみ、編集の対象になっている模様だけでなく、すべての模様色を変更することができます。

1 を押します。

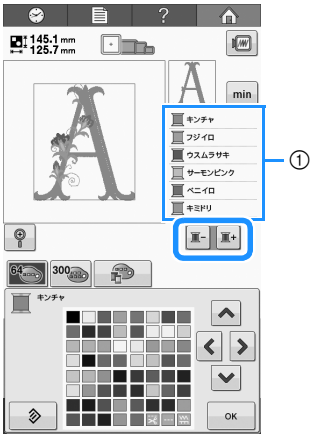


→ 糸色編集画面が表示されます。



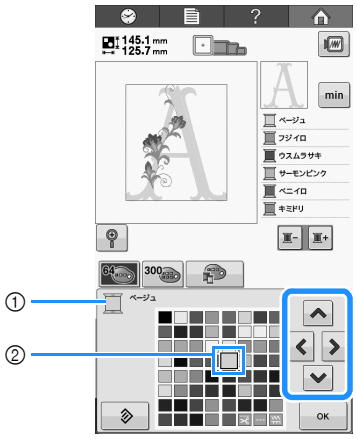
① 色替表示の１番上の色の部分が色を変える対象となります。
② 色替表示を進めます。
③ 色替表示を戻します。
④ 色パレット
この中から色を選びます。
⑤ 色パレットの色を選ぶときに使います。
⑥ 押すと、この画面を閉じます。
⑦ 押すと、元の色に戻ります。

2 **[−] [+]を押して、色替表示の１番上に変えたい色を表示させます。**



① １番上に表示される部分の糸色が変更されます。

3 **[∧] [＜] [＞] [∨]を押して、パレットの中から新しい色を選びます。**



① 選んだ色の色糸名が表示されます。
② 大きく表示されている□が選ばれている色です。
→ 模様表示エリアの、模様の変更をした部分の色が変わります。

4 **[OK]を押します。**
→ 色の変更が確定されます。
→ 編集画面に戻ります。

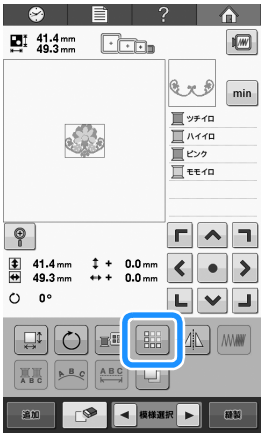
お知らせ
●色パレットは、お手持ちの糸色などを自由に組み合わせて作り変えることができます。(P. 130「ユーザーパレットを作る」)

繰り返し模様をつくる

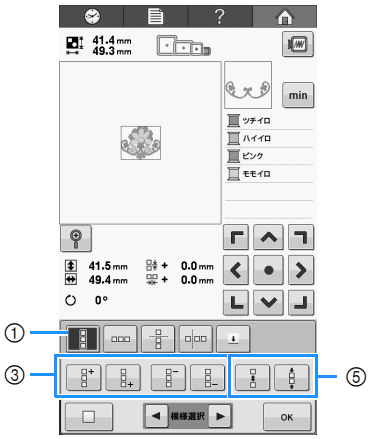
■ 模様を繰り返してぬうには

ボーダー機能を使って、繰り返し模様を作ることができます。繰り返し模様の間隔を調整することもできます。

1 **[ ]を押します。**



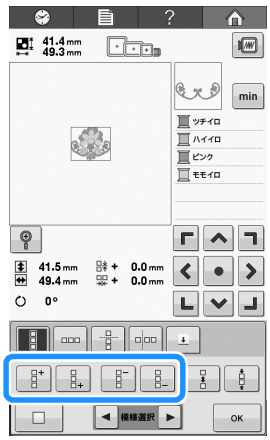
2 模様を繰り返す方向を選びます。



① 垂直方向
② 水平方向
③ 垂直方向の繰り返しと削除のキー
④ 水平方向の繰り返しと削除のキー
⑤ 空白キー
→ 水平、垂直繰り返し／削除のキーは、選んだ方向によって切り替わります。

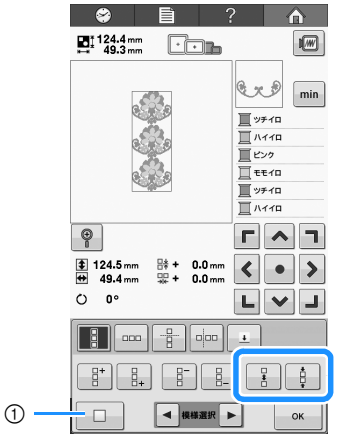
3 を使うと一番上の模様が繰り返され、を使うと一番下の模様が繰り返されます。

- 一番上の模様を削除するには、を押します。
- 一番下の模様を削除するには、を押します。



4 繰り返した模様の間隔を調整します。

- 間隔を広げるには、を押します。
- 間隔を狭めるには、を押します。



① を押すと、繰り返しがリセットされます。

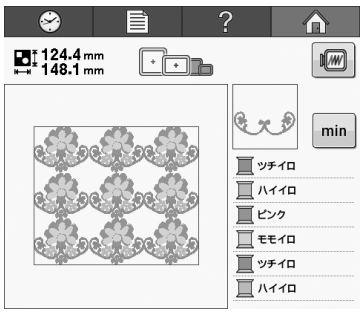
お知らせ
●模様の間隔の調整ができるのは、赤枠の内側のみです。

5 手順 2 から 4 を繰り返して、繰り返し模様を仕上げます。

6 変更し終わったら、OK を押します。

模様編集画面が再度表示されます。

お知らせ
●2 つ以上の模様がある場合は、すべての模様が赤い枠の中で 1 つの模様としてグループ化されます。



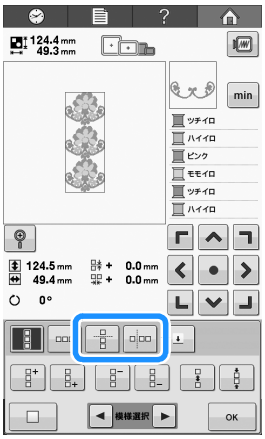
●模様を繰り返す方向を変更すると、赤枠内の模様が 1 つの繰り返し単位として自動的にグループ化されます。繰り返し模様の 1 つの要素の繰り返し方法については、P.128「繰り返し模様の 1 つの要素を繰り返す」を参照してください。

■繰り返し模様の 1 つの要素を繰り返す

分割機能を使用すると、繰り返し模様の 1 つの要素を選び、その要素だけを繰り返すことができます。この機能を使用すると、複雑な繰り返し模様をデザインできます。

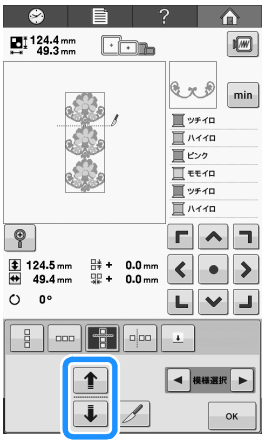
1 **繰り返し模様を切り取る方向を選びます。**

- 水平方向に切り取るには を押します。
- 垂直方向に切り取るには を押します。



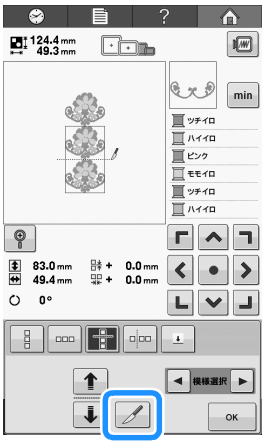
→ 水平、垂直繰り返し／削除の表示は、選んだ方向によって切り替わります。

2 **または で、切り取り線を選びます。**



→ 切り取り線が移動します。

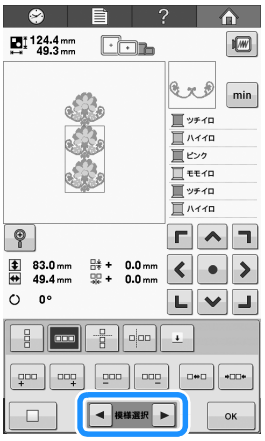
3 **を押します。**



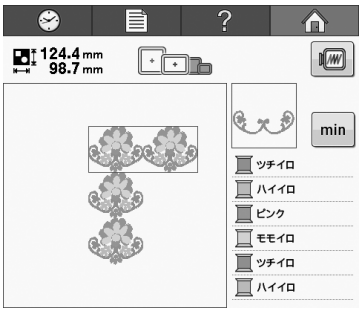
→ 繰り返し模様が要素に分割されます。

4 **を押します。**

5 **または で、繰り返す要素を選びます。**



6 **任意の方向に要素を繰り返します。**



7 **変更し終わったら、 を押します。**

模様編集画面が再度表示されます。

お願い

- 繰り返し模様を分割した要素に切り取った後は、元の繰り返し模様に戻すことはできません。
- 各要素は編集画面で個別に編集できます。P.120「編集する模様を選ぶ」を参照してください。

■ 糸印をつける

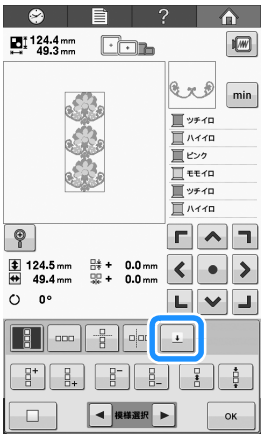
模様を続けてぬうときに糸印をつけておくと、模様合わせが簡単にできます。模様が終わると、最後の糸で矢印の形の糸印がぬわれます。模様を続けてぬうときには、矢印の尖端に次の模様位置を合わせます。

お知らせ

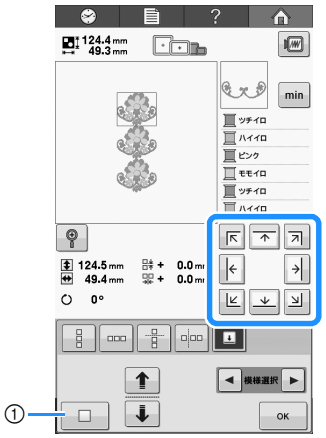
- 個別の模様を繰り返しぬうときは、模様の周囲のみに糸印をぬうこともできます。

1 を押します。

2 を押します。



3 で、ぬう糸印を選びます。

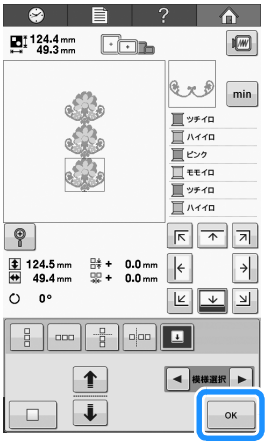


① 押すと糸印設定がキャンセルされます。

お知らせ

●2 つ以上の要素がある場合は、◄、►、または ▲、▼を押して、糸印を付けたい模様を選びます。

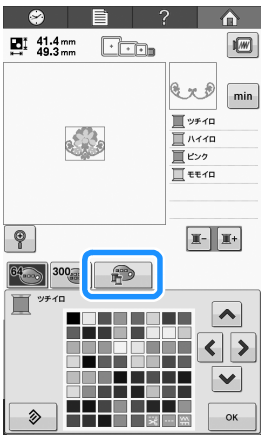
4 OK を押します。



ユーザーパレットを作る

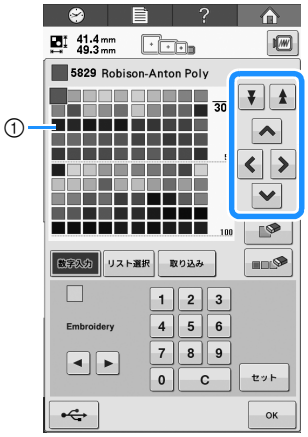
お手持ちの糸だけを使った「ユーザーパレット」を作ることができます。糸ブランド 9 社の糸色リストから、お手持ちの糸の糸色を選んで、色パレットに設定します。

1 を押して、 を押します。



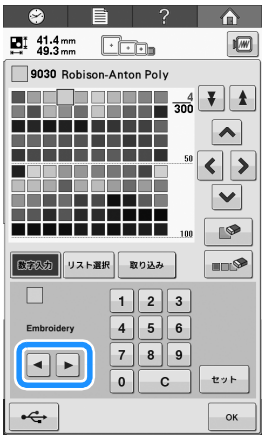
2 ▲、◄、►、▼で、ユーザーパレットのどこに色を追加するかを選びます。

- タッチペンで直接画面を押し、ユーザーパレットの糸色から色を選ぶことができます。
- ユーザーパレット上の ▲ または ▼ を押すと、一度に 100 色をスクロールできます。



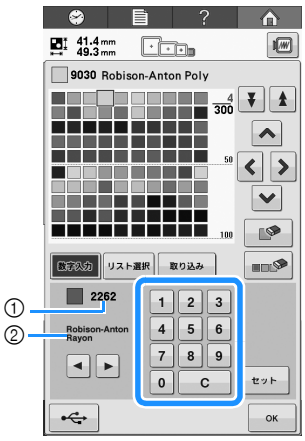
① ユーザーパレット

3 ◄または►で、ミシンの糸ブランドのいずれかを選びます。



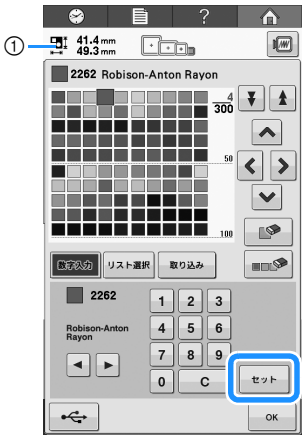
4 1、2、3、4、5、6、7、8、9、0 キーを使って、糸色の 4 桁の番号を入力します。

- 間違えた場合は、C を押して入力した番号を消し、正しい番号を入力し直してください。



① 入力された糸色番号
② 糸のブランド

5 セット を押します。



① 選ばれた糸色
→ 選ばれた糸色がユーザーパレットに設定されます。

お願い
- セット を押さなければ、糸色番号は変更されません。

6 ここまでの手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

- 指定した色をパレットから削除するには、 を押します。
- パレットに設定した糸色をすべて削除したい場合は、 を押してください。

7 OK を押して、元の画面に戻ります。

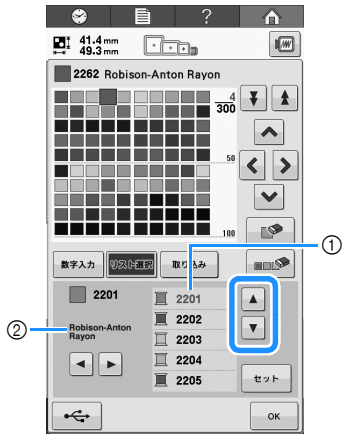
お願い
- ユーザーパレットを USB メディアに保存することができます。詳しくは、P. 132 「ユーザーパレットを USB メディアに保存する」を参照してください。

■ 一覧からユーザーパレットに色を追加する

1 を押して、 を押します。

2 リスト選択 を押して糸の一覧を表示します。

3 ▲ または ▼ で、糸色を選びます。



① 糸色番号
② 糸のブランド

4 セット を押します。

5 ここまでの手順を繰り返して、お好みの色をすべて指定します。

- 指定した色をパレットから削除するには、 を押します。
- パレットに設定した糸色をすべて削除したい場合は、 を押してください。

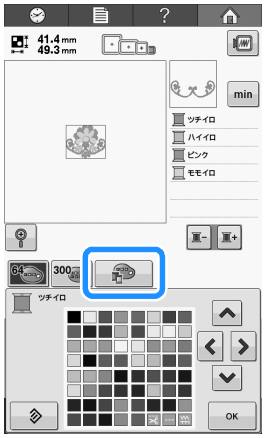
6 OK を押して、元の画面に戻ります。

■ユーザーパレットをUSBメディアに保存する

ミシンで設定できるユーザーパレットは 1 つですが、作ったユーザーパレットを USB メディアに保存することができます。

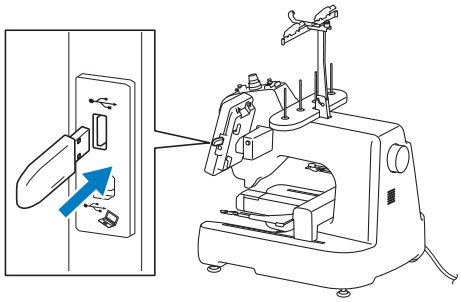
お願い
- ユーザーパレットはミシンのメモリーやパソコンには保存できません。
- ユーザーパレットのデータは、「.pcp」ファイルとして保存されます。

1 を押した後、 を押します。



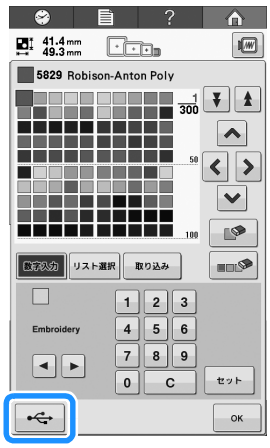
2 P. 130「ユーザーパレットを作る」の手順に従って、ユーザーパレットにお好みの色を設定します。

3 USB メディアをミシンのUSB ポートに差し込みます。



① USB ポート
② USB メディア

4 を押します。



→「記憶中」の画面が表示されます。記憶されると、自動的に元の画面に戻ります。

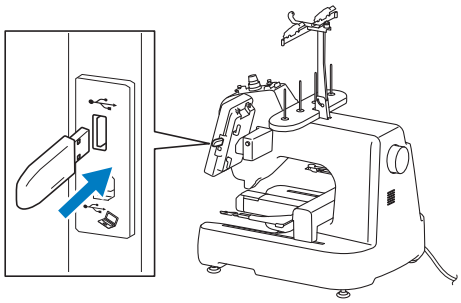
お願い
- 「記憶中」の画面が表示されているときは、絶対に USB メディアを抜き差ししないでください。記憶されているデータが消えることがあります。

■USB メディアからユーザーパレットのデータを呼び出す

USB メディアからユーザーパレットのデータを呼び出します。

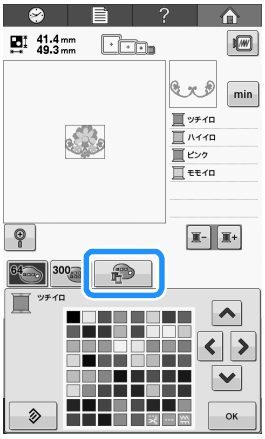
お願い
- USB メディアには 2 つ以上の「.pcp」ファイルを保存しないでください。一度に呼び出せるユーザーパレットは 1 つです。

1 ユーザーパレットのデータが保存されている USB メディアを、ミシンの USB ポートに差し込みます。

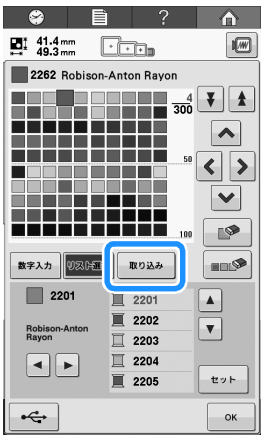


① USB ポート
② USB メディア

2 を押した後、 を押します。



3 取り込み を押します。



→「記憶中」の画面が表示されます。データがミシンに読み込まれると、自動的に元の画面に戻ります。

お願い

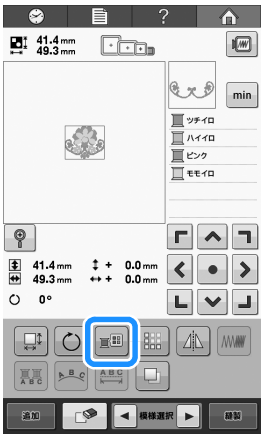
●「記憶中」の画面が表示されているときは、絶対に USB メディアを抜き差ししないでください。記憶されているデータが消えることがあります。

4 読み込まれたユーザーパレットが画面に表示されます。

ユーザーパレットから色を選ぶ

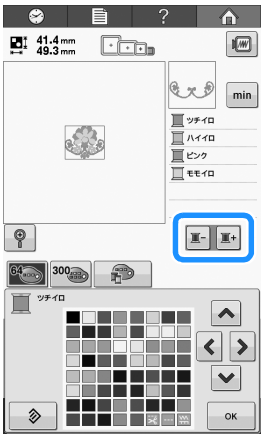
ユーザーパレットに設定した最大 300 色の糸色から 1 色を選ぶことができます。

1 を押します。

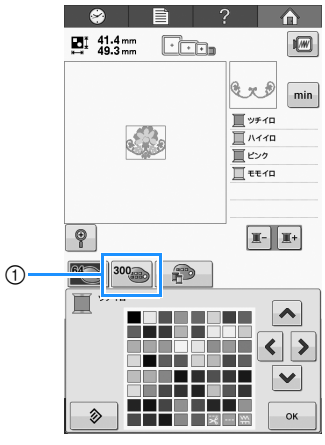


→ 64 色の刺しゅう糸色リストが表示されます。

2 または を押して、変更したい糸色を選びます。



3 を押します。

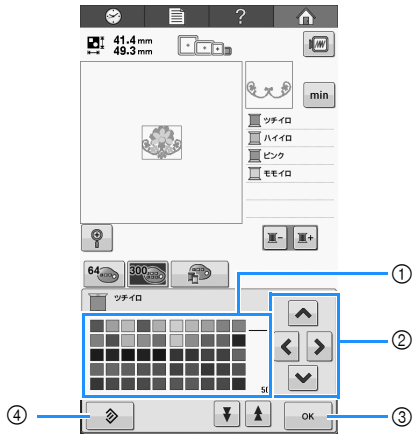


① 糸色変更キー

→ 糸色（300 色の刺しゅう糸）画面が表示されます。

4 、、、で、ユーザーパレットから新しい色を選びます。

- または で、ユーザーパレットをスクロールします。
- を押すと、元の糸色設定に戻せます。
- タッチペンで直接画面を押して、糸色（300 色の刺しゅう糸）リストから色を選ぶこともできます。

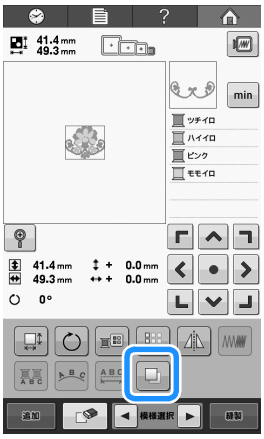


① 糸色リストです。このリストから色を選びます。
② これらの矢印を使用して、糸色リスト内の色選択を進めます。
③ このキーを押すと画面を閉じます。
④ このキーを押すと元の色に戻ります。
→ 画面には変更された色が表示されます。

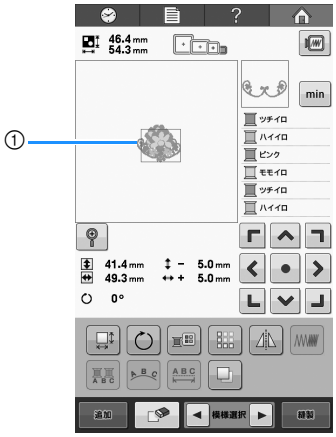
5 OK を押します。

模様を複製する

1 を押します。



→ 複製された模様は、元の模様の上に配置されます。

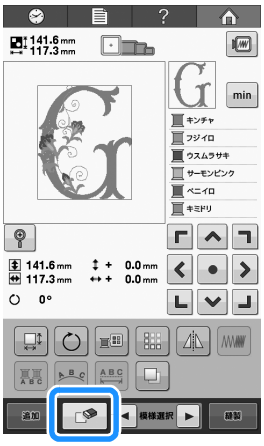


① 複製された模様

お願い
- 複数の模様を画面に表示している場合は、 または で選んだ模様のみが複製されます。
- 複製された模様を個別に移動し、編集します。

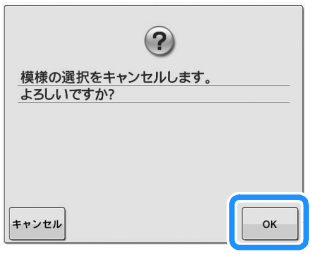
模様を削除する

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。

2 を押します。



→ 模様が削除されます。

- 削除をやめる場合は、 を押します。

お願い

●複数の模様が表示されている場合は、選んだ模様のみが削除されます。

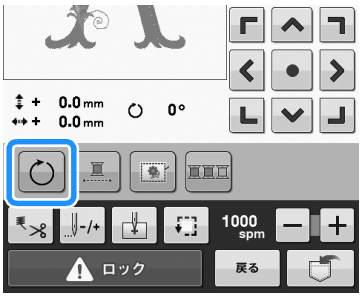
刺しゅう模様全体を編集する（縫製画面）

縫製画面では、編集画面で組み合わせをしなかった場合は 1 つの模様に対して、組み合わせをした場合は模様全体を 1 つの模様として編集します。
また矢印キーは、編集画面では模様を移動するために使いましたが、縫製画面では枠を移動するために使います。キーを押すと、枠が動きますので注意してください。

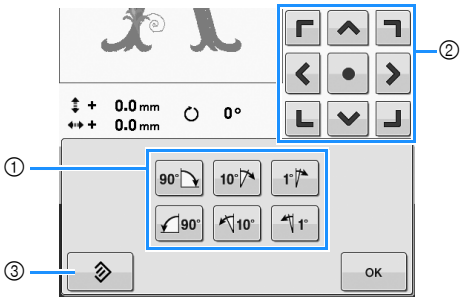
すべて回転する

模様全体を回転します。

1 を押します。



→ 次の画面が表示されます。



① 回転することができます。
② 枠を移動することができます。
③ 押すと、この画面を閉じます。

2 **各キーを押して、希望の角度にします。**

操作のしかたは、P. 123「回転する」を参照してください。

3 **必要に応じて、矢印キーを押して枠の位置を調整します。**

操作のしかたは、P. 82「思い通りの位置にぬうには」を参照してください。

4 **変更し終わったら、OK を押します。**

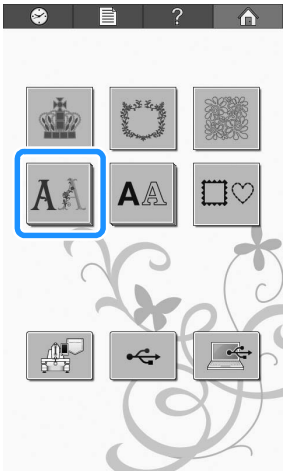
→ 縫製画面に戻ります。

組み合わせの編集

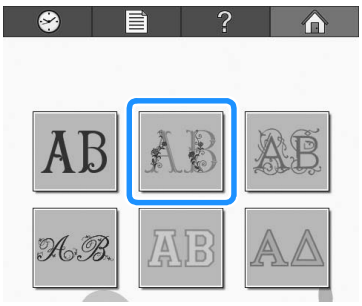
花模様に文字を組み合わせてを編集してみましょう。

例)

1 を押します。



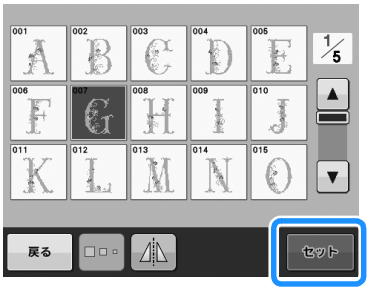
2 を押します。



3 を選びます。

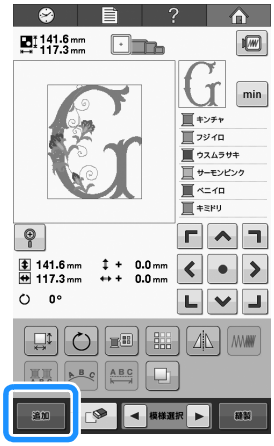
→ 模様は刺しゅう範囲の中心にレイアウトされます。

4 模様を選んだら、セット を押します。



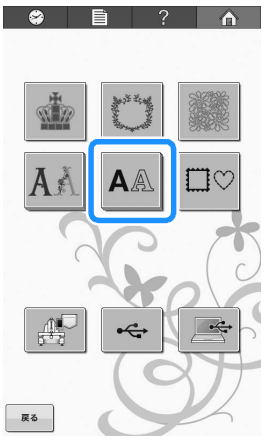
→ 編集画面が表示されます。

5 追加 を押します。

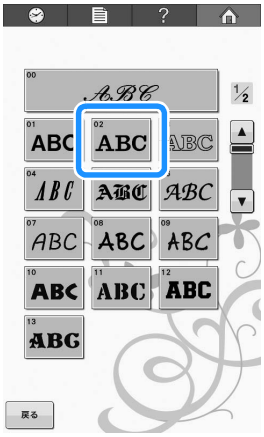


→ 模様選択画面が表示されます。

6 AA を押します。



7 ABC を押します。



8 「ood」を入力した後、↵を押して改行します。

小文字タブキーを押して小文字入力画面を表示させてから、「o」、「o」、「d」を押します。

→ 選んだ文字は、刺しゅう範囲の中心に表示されます。

- 大きさを変えたい場合は、「o」を選んでから □□▫ を押して大きさを選択してください。
- 配列を変えたい場合は を押して変更してください。

9 「Luck」を入力します。

「L」を押した後、小文字タブキーを押して小文字入力画面を表示させてから、「u」、「c」、「k」を押します。

→ 選んだ文字は、前に入力した文字の下に表示されます。

- 文字揃えを変更するには、 を押します。

10 文字を選んだら、セット を押します。

→ 編集画面が表示されます。

11 ▼ ↵ ▶ を押して、バランスよく文字が入るように文字の位置を調節します。

12 全体のバランスを見て、編集し直したいときは◀ ▶を押すと、編集できる模様の対象を変えることができます。

指やタッチペンで、直接画面を触って模様を選ぶこともできます。

13 を押した後、を押して模様を確認します。

- OK を押して、元の画面に戻ります。

14 すべての編集が終わったら、縫製 を押します。

→ 縫製画面が表示されます。

- 戻る を押すと編集画面に戻り、編集をし直すことができます。

第 6 章

基本設定とヘルプ機能

P. 32 で紹介した設定キー、ミシンの使い方キーの使用方法を説明します。ミシンの基本設定の変更をしたり、画面上で操作のしかたなどを調べたりできます。

設定キーの使い方 142
設定画面の見方 142
■1 ページ 142
■2 ページ 142
■3 ページ 143
■4 ページ 143
設定画面のイメージを USB メディアに保存する 144
ガイド表示を切り替える 144
糸色表示を切り替える 145
■表示例 145
長さの単位を切り替える 146
刺しゅうしつけ距離を変更する 146
縫製エリアの表示色／模様キーの表示色を変更する 146
模様キーの大きさを指定する 147
糸センサーを設定する 147
スピーカー音量を変更する 147
エコモードまたは電源オフサポートモードを設定する 148
オープニング画面を設定する 148
言語を切り替える 148
ライトの ON ／ OFF を切り替える 149
画面の明るさを調整する 149
LED ポインターを設定する 149
ミシンの使い方キーの使い方 150
■各項目の内容 150

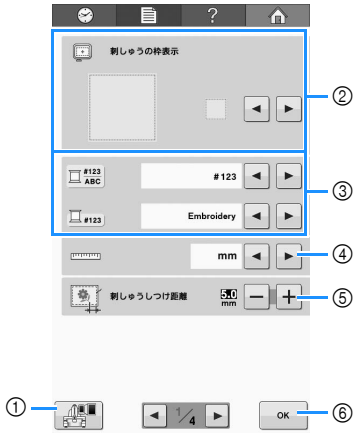
設定キーの使い方

(設定) キーを押すと、いろいろなミシン本体の基本設定を変えることができます

設定画面の見方

設定画面は 4 ページあります。右下の◀、▶を押して、目的のページを表示します。閉じるは全ページで表示されます。

■ 1 ページ



① 現在の設定画面のイメージを USB メディアに保存します。 (P. 144 参照)

② 模様表示エリアのガイド（刺しゅう枠の範囲、グリッド、針位置）表示を設定できます。

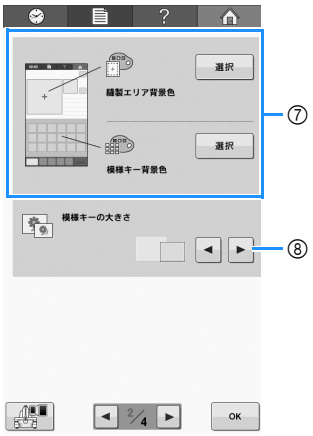
③ 糸色情報を、糸名、糸ブランドおよび糸番号に切り替えることができます。 (P. 145 参照)

④ 単位
画面に表示される長さの単位を設定できます。 (P. 146 参照)

⑤ 刺しゅうしつけ距離 (P. 94 参照)
模様としつけぬいとの距離を指定します。

⑥ 設定し終わったら押します。設定を確定して、設定キーを押す前の画面に戻ります。

■ 2 ページ



⑦ 縫製エリアの表示色／模様キーの表示色
刺しゅうの色に応じて、縫製エリアおよび模様キーの表示色を変更すると、より見やすく、選びやすくなる場合があります。 (P. 146 参照)

⑧ 模様キーの大きさ
模様一覧画面から模様を選ぶ時に表示されるイメージキーの大きさを「小さく」表示するか「大きく」表示するかを指定します。 (P. 147 参照)

■3 ページ

⑨ 上糸・下糸センサー
上糸・下糸センサーの ON ／ OFF を設定します。(P. 147 参照)

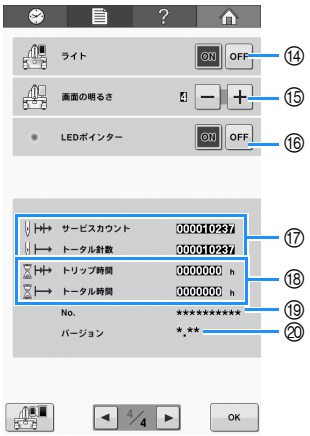
⑩ ミシンスピーカーボリューム
操作音および警告音の音量を調節できます。(P. 17 または P. 147 参照)

⑪ エコモードまたは電源オフサポートモードを設定します。(P. 148「エコモードまたは電源オフサポートモードを設定する」参照)

⑫ オープニング画面
ミシンの電源を入れた時にオープニング画面を表示するかしないか（ON ／ OFF）を設定することができます。

⑬ 言語
言語の切り替えができます。指定した言語でキーやメッセージが表示されます。(P. 148 参照)

■4 ページ



⑭ ライト
針もとライトの ON ／ OFF を設定することができます。(P. 149 参照)

⑮ 画面の明るさ
液晶画面の明るさが調整できます。(P. 149 参照)

⑯ LED ポインターの ON ／ OFF を設定します

⑰ トータル針数カウンターは、ぬわれた針数の総数を示し、サービスカウントカウンターは、ミシンの前回のメンテナンス以降にぬわれた針数を示します。

⑱ トータル時間カウンターは、ミシンがこれまでに使用された総時間を示し、トリップ時間カウンターは、前回のメンテナンス以降にミシンが使用された時間を示します。

※ ⑰、⑱ のカウンター数値は、ミシンの定期メンテナンスを受けられる時期の目安としてご利用ください。

⑲ プロダクト No.
このミシンの番号です。(10 桁)

⑳ バージョン
このミシンにインストールされているソフトウェアのバージョンを示します。(P. 183 参照)

お願い
●ミシンのアップデートについては、「PR 専用ダイヤル」にお問い合わせいただくか、「http://support.brother.co.jp」をご覧ください。

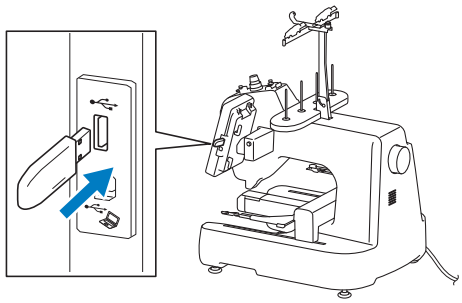
次の項から、各設定の説明をします。設定をし終わったら、閉じる を押して、設定画面を開く前の画面に戻ってください。

お知らせ
●縫製中に変更できない設定もあります。

設定画面のイメージを USB メディアに保存する

設定画面のイメージを BMP ファイルとして保存できます。
一度に最大で 100 個のイメージを 1 つの USB メディアに保存できます。
この機能は設定画面のすべてのページで有効です。

1 USB メディアをミシンの右側面にある USB ポートに差し込みます。



① USB ポート
② USB メディア

2 を押します。

→ イメージが USB メディアに保存されます。

3 USB メディアを抜き、保存したイメージをパソコンで確認します。

設定画面のイメージは、「S##.BMP」のファイル名で保存されます。
＊ 「S##. BMP」の「##」の部分は、自動的に S00 から S99 の間の番号が入ります。

お願い

●すでにUSBメディア内に100個のファイルが保存されている場合、次のメッセージが表示されます。USB メディアからファイルを削除するか、別の USB メディアを使用してください。

ガイド表示を切り替える

模様表示エリアに表示されるガイドは、使用する枠にあわせて、表示を切り替えることができます。
設定画面の 1 ページで設定します。

① 設定するガイドがどのように表示されるか、ここで確認します。

中心表示は、赤色の＋マークで表示されます。
購入時は、「OFF」に設定されています。

1 ◄ または ► で、中心表示とグリッド表示／非表示を選びます。

グリッド線のみ

十字線のみ

中心表示のみ

中心表示とグリッド線

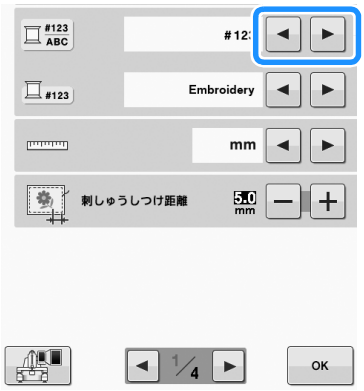
中心表示と十字線

表示なし

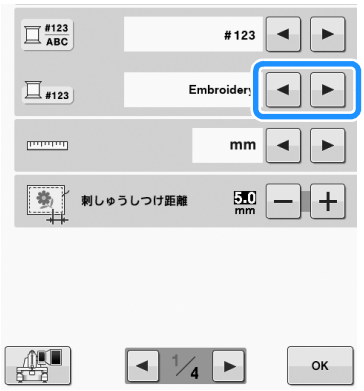
糸色表示を切り替える

糸色の名前、刺しゅう糸番号または刺しゅう時間を表示させることができます。
購入時は、糸色番号（#123）に設定されています。
設定画面の 1 ページで設定します。

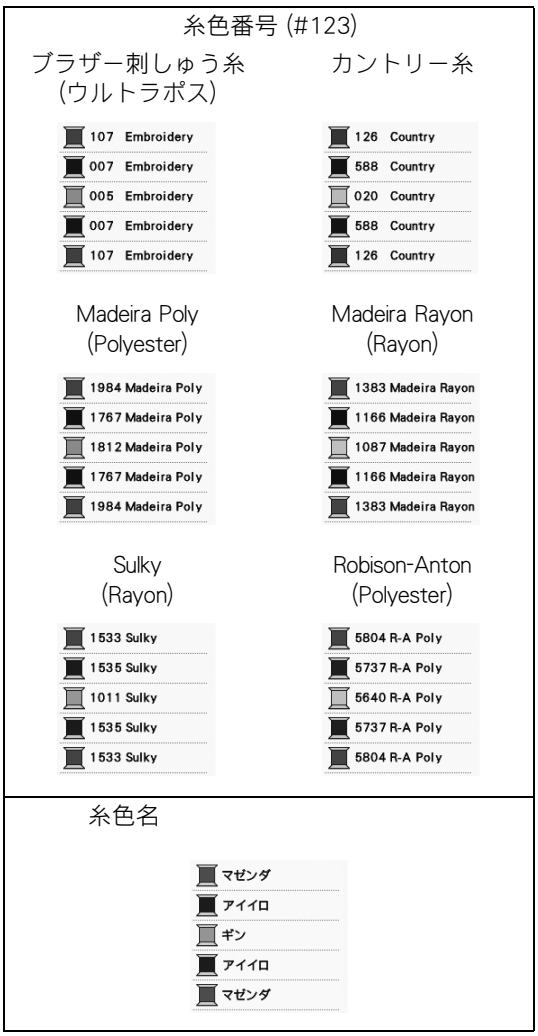
1 **◀または▶を押すと、糸色の名前、刺しゅう糸番号または刺しゅう時間が表示されます。**



2 **糸番号［#123］が表示されているときに◀または▶で、次の 6 種類の刺しゅう糸ブランドから選びます。**



■ 表示例



お知らせ

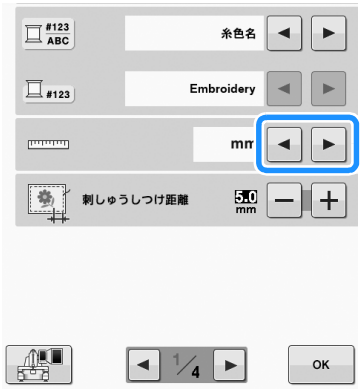
- 通常、ぬい順表示や模様表示エリアの模様の糸色は、専用色（ミシン内蔵の色パレットの色）で表示されます。ぬい順表示や色替表示の糸番号は、その色に一番近い、ここで設定したブランドの色番号が表示されます。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。
- 液晶画面で表現される色と実際の糸色は微妙に異なることがあります。

長さの単位を切り替える

長さの単位を、mm、inch から選ぶことができます。
購入時は、「mm」に設定されています。
設定画面の 1 ページで設定します。

1 **◀または▶で、単位を選びます。**

希望の単位を表示させます。



刺しゅうしつけ距離を変更する

刺しゅう模様としつけぬいの距離は、0.0mm から 12.0mm の間で設定できます。
購入時は 5.0mm に設定されています。この機能を使用する場合は、P. 94「刺しゅうのしつけぬい」を参照してください。
設定画面の 1 ページで設定します。

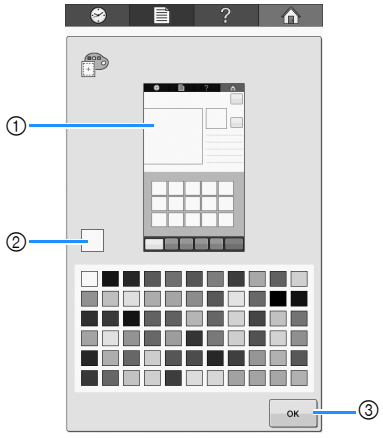
1 **－ ＋を押して、模様としつけぬいの距離を設定します。**

縫製エリアの表示色／模様キーの表示色を変更する

模様の色に応じて、66 色の中から背景色が選べます。縫製エリアの表示色と模様キーの表示色には、異なる色を選ぶことができます。
購入時は、白色に設定されています。
設定画面の 2 ページで設定します。

1 **選択 を押します。**

2 **66 色から表示色を選びます。**



① 縫製エリア背景色／模様キー背景色
② 選択された色
③ OK を押すと設定画面に戻ります。

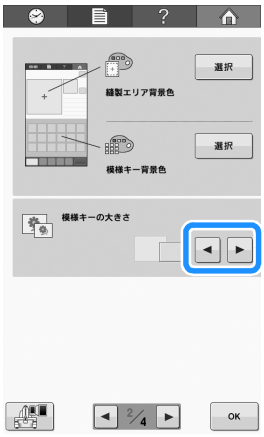
お知らせ

- この設定はミシンの電源を切った後も、保持されます。

模様キーの大きさを指定する

刺しゅう模様を選択するための模様キーを「標準」で表示するか、「大」に表示するかを設定することができます。「大」は、「標準」の 1.5 倍になります。
購入時は、「標準」に設定されています。
設定画面の 2 ページで設定します。

1 ◄または►で、模様キーの大きさを選びます。



お願い
●模様キーの大きさは、模様一覧画面表示中は変更されません。この場合、模様選択画面に戻って、再度模様の種類を選んでください。

糸センサーを設定する

糸センサーが「OFF」に設定されていると、糸が切れるか、ボビンに糸がなくなっても、刺しゅうが終わるまでミシンは停止しません。糸センサーは、「OFF」に設定する必要がある場合を除き、必ず「入」に設定してください。
購入時は、「ON」に設定されています。
設定画面の 3 ページで設定します。

1 ONまたはOFFを押して設定します。

お願い
●通常は、糸センサーを「ON」に設定します。糸センサーが「OFF」に設定されていると、上糸が絡まってもミシンが検出できません。糸が絡まったままミシンの使用を続けると、ミシンが破損するおそれがあります。

スピーカー音量を変更する

操作音の音量を変更することができます。
スピーカー音量は、「OFF」か「1」～「5」の範囲で設定できます。「OFF」を選択すると、スピーカーから音が聞こえなくなります。
購入時は、「3」に設定されています。
設定画面の 3 ページで設定します。

1 −または+で、スピーカー音量を選びます。

→ キーを押して操作音を鳴らし、希望の音量が選択されていることを確認してください。

エコモードまたは電源オフサポートモードを設定する

エコモードまたは電源オフサポートモードを設定すると、ミシンの電力を節約することができます。特定の時間、本機を使用しないでいると、次のいずれかのモードに入ります。

エコモード：

スリープモードに入ります。刺しゅうを続けるには、画面に触れるか、スタート／ストップスイッチを押します。

電源オフサポートモード：

一定期間後に電源が切れます。刺しゅうを再開するには、一度電源を切り、再度電源を入れます。

ミシンの状態	エコモード	電源オフサポートモード
設定可能な時間	OFF、0 ～ 120（分）	OFF、1 ～ 12（時間）
スタート／ストップスイッチ	緑色の点滅	緑色のゆっくりした点滅
停止する機能	ライト、画面表示、LED ポインター	全機能
復帰後	停止前の動作から再開します。	電源を切る必要があります。

これらのモードから復帰するには、スタート／ストップスイッチを押すか、画面に触れてください。

設定画面の 3 ページで設定します。

1 **◀または▶でモードに入るまでの時間を選びます。**

お願い

●ミシンがエコモードまたは電源オフサポートモードに入っている間に電源を切った場合は、約 5 秒待ってから再度電源を入れてください。

オープニング画面を設定する

ミシンの最初の画面を設定することができます。オープニング画面を「ON」に設定すると、ミシンの電源を入れた時にオープニング画面が表示されます。画面に触れると最初の模様選択画面が表示されます。

購入時は、「ON」に設定されています。

設定画面の 3 ページで設定します。

1 **ONまたはOFFを押して設定します。**

言語を切り替える

画面の表示言語を選ぶことができます。

設定画面の 3 ページで設定します。

1 **◀または▶で、言語を選びます。**

希望の言語を表示させます。

ライトの ON ／ OFF を切り替える

ライトの ON ／ OFF を切り替えることができます。
購入時は、「ON」に設定されています。
設定画面の 3 ページで設定します。

1 ON または OFF を押して設定します。

画面の明るさを調整する

液晶画面の明るさを 1 から 6 の間で調整できます。
数字が小さい方が暗くなります。
購入時は、「4」に設定されています。
設定画面の 4 ページで設定します。

1 −または＋で、明るさを調整します。

LED ポインターを設定する

LED ポインターの ON ／ OFF を設定できます。
「ON」に設定すると、縫製画面で LED ポインターが針落ち位置を示します。「OFF」に設定すると、すべての画面で LED ポインターが消灯します。詳細は P. 42「刺しゅう位置マーカー」を参照してください。
購入時は、「ON」に設定されています。
設定画面の 4 ページで設定します。

1 ON または OFF を押して設定します。

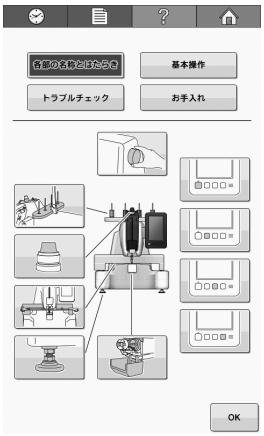
6

ミシンの使い方キーの使い方

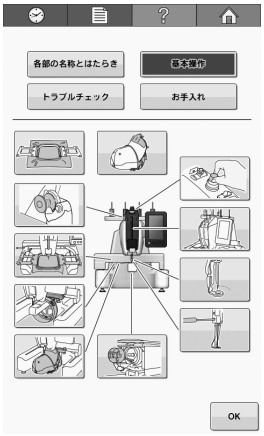
このミシンに、ミシンの基本操作など取扱説明書に準じた内容が記憶されています。[?]（ミシンの使い方）キーを押して画面に表示される 4 つの項目を選ぶと、その内容を確認することができます。

■ 各項目の内容

各部の名前とはたらき
ミシンの重要な部品とそれぞれのはたらきを表示して説明します。



基本操作
基本的な糸かけや枠張りなどの操作方法を図示します。

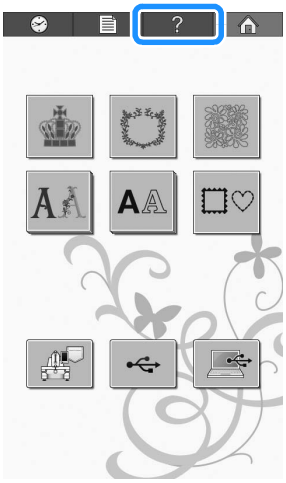


トラブルチェック
問題解決のための基本的なガイドです。

お手入れ
ミシンのメンテナンス方法を示します。

例）上糸の通し方を知りたいとき

1 [?] **を押します。**



→ ミシンの使い方画面が表示されます。

2 [基本操作] **を押します。**

→ 基本操作の一覧が表示されます。

3 [ ] **を押します。**

→ 上糸通しの手順が表示されます。

4 **説明を読みます。**

＊ [►] を押すと、次のページが表示されます。

＊ [◄] を押すと、前のページが表示されます。

5 [戻る] **を押して元の画面に戻ります。**

第 7 章

付録

応用ぬいのテクニックや、きれいな刺しゅうに仕上げるためのポイント、ミシンのお手入れと困ったときの対処方法などを紹介します。

アップリケぬい 154
アップリケ模様のぬい方 154
■ アップリケの手順 154
枠模様を使ってアップリケをするには（1） 155
枠模様を使ってアップリケをするには（2） 156
分割模様をぬう 158
豆知識 160
色パレットについて 160
タジマフォーマット（.dst）の刺しゅうデータの色について 160
きれいな刺しゅうに仕上げるために 161
糸 161
接着芯 161
枠張りのテクニック 162
■ 枠の基本 162
布／接着芯の適合表 163
お手入れ 164
画面の汚れの掃除 164
本体表面の掃除 164
釜の掃除 164
針板まわりの掃除 165
ボビンケースの掃除 166
上糸の糸道の掃除 166
■ 糸案内を掃除する 166
■ 糸調子つまみを分解して掃除する 167
ミシンに注油する 168
■ レース部に注油する 168
■ 針棒に注油する 169
メンテナンスメッセージについて 169
困ったとき 170
トラブルチェック 170
エラーメッセージ 176
キーを押しても反応しないときは 181
仕様 182
本体仕様 182
ミシンのソフトウェアをアップグレードする 183
USB メディアを使用したアップグレード手順 183
パソコンを使用したアップグレード手順 184
索引 186

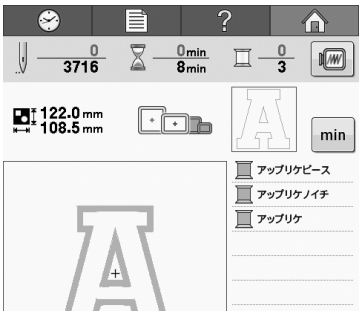
アップリケぬい

アップリケのぬい方を説明します。

アップリケ模様のぬい方

刺しゅうの中にはアップリケを使用した模様があります。色替表示の部分に「アップリケピース」、「アップリケノイチ」、「アップリケ」と表示された場合は、以下の手順でアップリケをします。

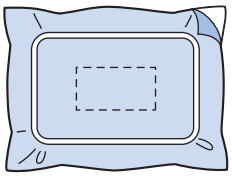
* 糸色表示設定によって または のように表示されることがあります。



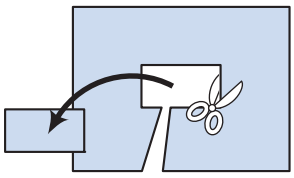
■ アップリケの手順

1. アップリケをしたい布地の裏側に、接着芯を貼ります。

2. 手順1のアップリケ布を刺しゅう枠に張り、「アップリケピース」をぬいます。
   アップリケピースの切り取り線をぬってミシンは止まります。

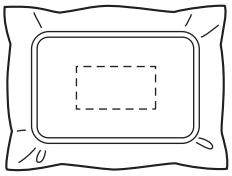


3. 刺しゅう枠からアップリケ布を外し、ぬい目の上をていねいに切り取ります。

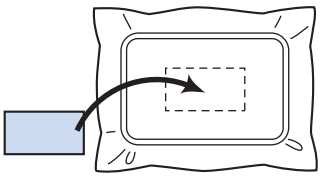


- このときぬい目よりも内側を切ると、アップリケをするときに布地に糸がかからなくなりますので、ぬい目の上をていねいに切ってください。この作業をていねいに行わないと仕上がりが汚くなります。また、糸はきれいに取り除いてください。

4. アップリケの土台布を刺しゅう枠に張り、「アップリケノイチ」をぬいます。アップリケの位置をぬって、ミシンは止まります。

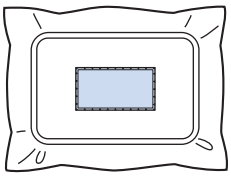


5. 切り取ったアップリケピースの裏側に、のりまたはスプレーのりを薄く付け、手順4の「アップリケノイチ」に合わせて貼り付けます。



- 可溶性の布を使ってアップリケピースを土台布に貼り付ける場合は、土台布を刺しゅう枠から外さずにアイロンをかけてください。

6 アップリケピースを貼り付けたら、「アップリケ」をぬいます。アップリケができます。

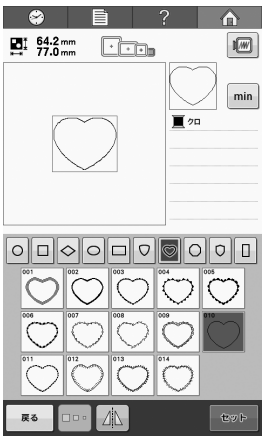


- 模様によっては、「アップリケ」が表示されないものがあります。この場合、「アップリケ」ぬいは、刺しゅうの 1 部分として色糸で表示され、その色糸でぬわれます。

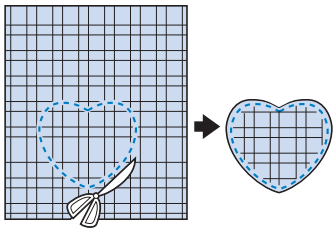
7 残りの刺しゅうをぬいます。

枠模様を使ってアップリケをするには（1）

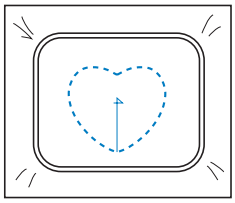
同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使って、アップリケをします。



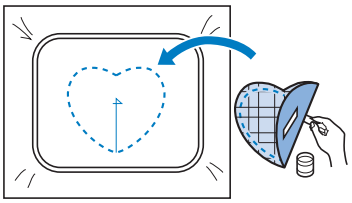
1 直線ぬいの枠模様を選び、アップリケ布に刺しゅうをします。ぬい目の外側をていねいに切り取ります。



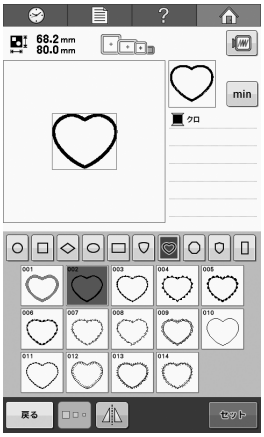
2 土台布にも同じように刺しゅうをします。

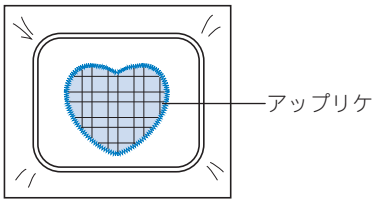


3 手順 1 で切り取ったアップリケ布の裏側に薄く、のりまたは布用スプレーのりを付け、土台布のぬい目にあわせて貼り付けます。



4 同じ形のサテンぬいの枠模様を選び、手順 3 の布に刺しゅうをするとアップリケができます。





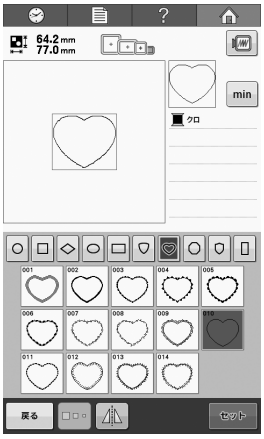
お願い

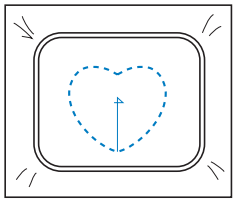
- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬう位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

枠模様を使ってアップリケをするには（2）

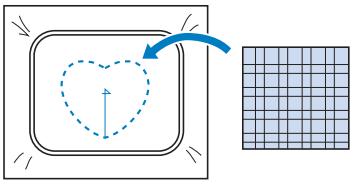
もう１つのアップリケの方法です。この方法では布地は張り替える必要がありません。同じ形で同じ大きさの直線ぬいとサテンぬいの枠模様を使ってアップリケをします。

1 直線ぬいの枠模様を選び、土台布に刺しゅうをします。

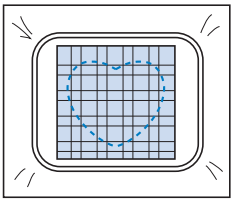




2 手順❶の刺しゅうの上にアップリケ布を置きます。このとき、ぬい目がアップリケ布からはみ出ないようにしてください。

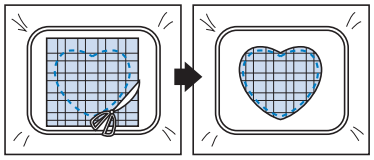


3 アップリケ布の上からもう１度、同じ枠模様を刺しゅうします。



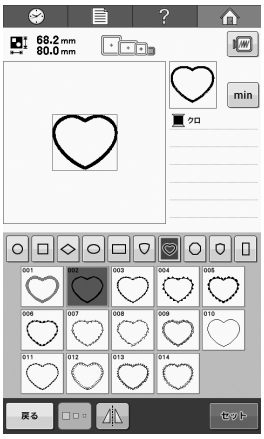
- 中心の十字をぬう前に、ミシンを止めてください。

4 刺しゅう枠を外し、ぬい目の外側を切り取ります。



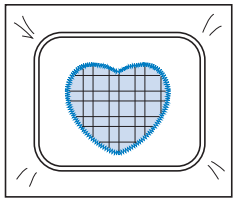
お願い
- 布地は刺しゅう枠にはめたまま、切ってください。また、張られている布地に無理な力をかけると、布地がたるんでしまうで注意してください。

5 同じ形のサテンぬいの枠模様を選びます。



お願い
- 直線ぬいの枠模様を選んだときに、大きさやぬう位置を変えた場合は、サテンぬいの枠模様も同じ大きさ、同じ位置になるように変えてください。

6 手順 4 の刺しゅう枠をセットし、刺しゅうをするとアップリケができます。

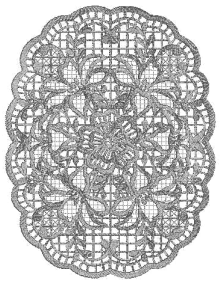


分割模様をぬう

刺しゅう PRO バージョン 7 以降で作成した分割模様をぬうことができます。大型の刺しゅう模様の場合は、刺しゅう枠よりも大きな刺しゅうデザインが複数のセクションに分割され、それぞれのセクションをぬい終わった後にそれを組み合わせて 1 つの模様を作ることになります。

分割模様の作成およびより詳しいぬい方については、刺しゅう PRO に付属している取扱説明書を参照してください。

以下の手順は、USB メディアから下図の分割模様を呼び出し、刺しゅうする方法を説明しています。



1 **作成した分割模様が保存されたメディアをミシンに接続し、刺しゅうしたい分割模様を選びます。**

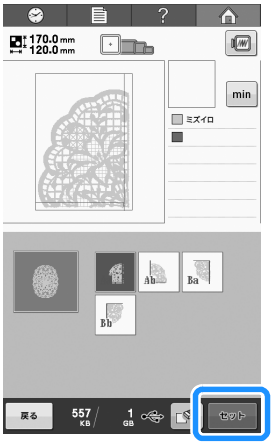
- 模様の呼び出しについて詳しくは、P. 116「USB メディアから刺しゅう模様を呼び出す」を参照してください。

→ 分割模様の場所を選択するための画面が表示されます。

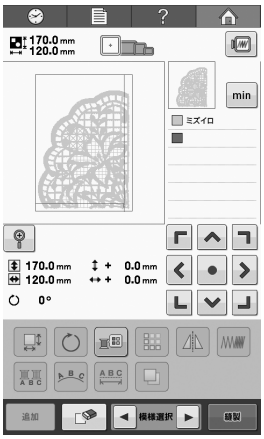
2 **刺しゅうする部位 Aa を選びます。**

- 部位をアルファベット順に選びます。
- 最大で 9 の部位を 1 つのページに表示できます。模様の部位数が 10 以上の場合は、▲または▼でページを切り替えてください。

3 **セット を押します。**



4 必要に応じて、模様を編集します。



- 詳しくは、P.119「刺しゅう模様を個別に編集する（編集画面）」を参照してください。

お知らせ

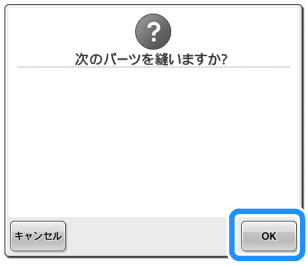
- を押すと、模様を左または右方向に 90 度回転させることができます。

5 縫製 を押します。

6 ロック を押し、ミシンロックを解除します。

7 スタート／ストップスイッチを押してその模様部位の刺しゅうを始めます。

8 刺しゅうが終わったら、以下の画面が表示されます。OK を押します。



→ 分割模様の部位を選択するための画面が表示されます。

9 手順 2 から 8 を繰り返し、模様の残りの部位を組み合わせていきます。

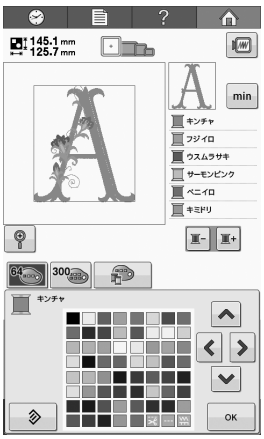
豆知識

さらにこのミシンを使いこなしていただくための操作を紹介します。

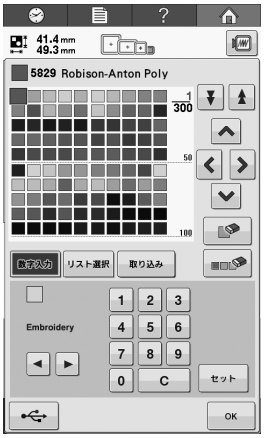
色パレットについて

ミシン内蔵の色パレットとユーザーパレットについて補足説明します。
通常、ぬい順表示の糸こまや色替表示の糸こま、模様表示エリアの模様の糸色は、専用色（ミシン内蔵の色パレットの色）で表示されます。ぬい順表示や色替表示の糸番号は、その色に一番近い、設定画面の１ページで設定したブランドの色番号が表示されています。したがって、仕上がりの色とは多少色味が異なっていることがあります。
それに対し、お手持ちの糸を任意に設定するユーザーパレットは、ミシンに内蔵されている色ライブラリーから１色ずつブランド名とその糸番号で糸色を指定してつくる色パレットですので、その糸色オリジナルの色で表示されます。
ユーザーパレットを設定した上で、このパレットから糸色を選んで模様の色を変更すると、より仕上がりに近い色で模様を確認できます。
お手持ちの糸色を登録し、是非、ご活用ください。
新しいユーザーパレットを作る場合は、既存のユーザーパレットを忘れずに保存してください。
(P.130「ユーザーパレットを作る」および、P. 133「ユーザーパレットから色を選ぶ」)

通常色表示（購入時）の色パレット

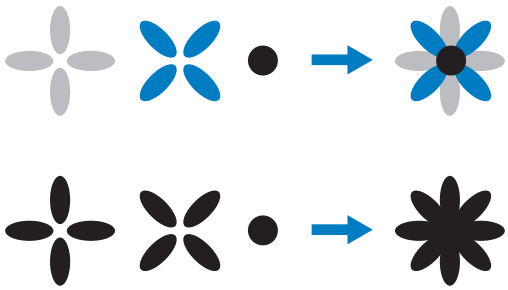


ユーザーパレット



タジマフォーマット（.dst）の刺しゅうデータの色について

タジマフォーマット（.dst）には、模様の色情報がありません。形だけの部分の集合で作られています。
例えば、次の刺しゅうデータは、タジマフォーマット（.dst）では、



となっています。
そこで、模様の部分を分かりやすくするため、このミシンでタジマフォーマットデータを扱うときは、自動的に当社指定の糸色順で色がつけられて表示されます。この糸色は、模様のデザインに関係なく、適当な色が部分のぬい順に従ってつけられていますので、例えば、果物のオレンジの色が青になっていたり、模様のデザインによっては違和感のある色付けになってしまうこともあります。
タジマフォーマットデータを扱うときは、画面上ででき上がりイメージを確認しながら、糸色編集画面で色を変更してお使いください。

きれいな刺しゅうに仕上げるために

よりきれいな刺しゅうに仕上げるために、糸、刺しゅう枠、接着芯について、注意していただきたいことを説明します。

糸

刺しゅう糸は高価なものですので、取り扱いには万全の注意を払ってください。どんなに良い糸でも、きちんと縫製するためには正しく保管する必要があります。特に、糸がお客様のもとへ届いてから実際にミシンでご使用になるまでの期間は注意してください。刺しゅう糸は、過度の熱や光、または湿気のように、損傷を与えるようなものがない環境で保管してください。

刺しゅう糸は、できるだけ清潔でほこりのない場所に保管してください。また、煙や蒸気、ガスの出る場所も避けてください。ガスヒーターのような家庭用の器具、またはディーゼルエンジンから出るガスによって、糸が黄色くなることがあります。

直射日光は、刺しゅう糸にとって有害となります。糸の入った箱は、開けたままにして直射日光にさらされないようにしてください。直射日光に長期間さらしておくと、刺しゅう糸が色あせするおそれがあります。

温度や湿度もまた、刺しゅう糸にとって有害となることがあります。温度は 15 ～ 25 ℃、湿度は 40 ～ 60% が理想的な保存条件です。カビを防ぐために、これらの条件をできるだけ一定に保つようにしてください。高温すぎる場所に保存すると、糸が弱くなり最終的には糸が切れるおそれがあります。湿気が多いと、糸の品質に悪影響を及ぼすことがあります。確実に糸が傷まないよう保管するには、保存している未使用の糸を頻繁にチェックして、保存状態・条件が良好かどうかを確認してください。

保存状態の良い糸を使用すると、制作時間を向上させることができます。（糸の強度、密度や重量は、縫製のしやすさと縫製中の糸切れ回数、ならびに作品の仕上がりにも影響します。）

接着芯

接着芯は、刺しゅうする布を固定させるために使用します。誤った種類の接着芯を使用すると、布が刺しゅう枠内で動いてしまい、刺しゅうがずれるおそれがあります。接着芯は、タオル地やコーデュロイ、ピケニットのような毛羽のある布を刺しゅうするときには、必ず使用してください。縫製する布の種類に応じて、種類別の接着芯を使用します。

刺しゅうに使える接着芯は、切るタイプ、はがすタイプ、溶けるタイプ、粘着タイプの 4 種類があります。この 4 種類は、それぞれ重さとサイズ、生地が異なります。特定の布に使用する接着芯を選ぶときは、デザインのぬい目数、ぬい方とサイズを考慮してください。

また、接着芯が伸びないことを確認してください。種類によっては、垂直方向や水平方向には伸びなくても、対角線方向に伸びるものがあります。このような種類の接着芯は使用しないでください。縫製中に伸びて、デザインがずれることがあります。

1. **ポリエステル製メッシュの切るタイプの接着芯**
接着芯がぬった表面に透けないため、薄い色の布に使用します。仕上がったものを軽くてやわらかいタッチで安定させたい場合、例えば、赤ちゃんの衣服などにこの種類の接着芯が適しています。

2. **切るタイプの接着芯**
普通～重いニットに適しており、織物にも使用できます。ぬい目数が多くても耐えることができ、2 ～ 3 枚重ねて使用することで、さらに膨大なぬい目数にも耐えることができます。また、衣服の内側を外側と同じように見栄え良くしたい場合は、切るタイプの黒い接着芯が適しています。黒い接着芯は、白い接着芯に比べて透けにくいため、あわい色や薄い色の衣服に使用することをお勧めします。

3. **粘着タイプ（はがして貼る）の接着芯**
曲げにくい（固め）布に使用します。この接着芯は粘着面を上にして枠の下側に付け、縫製する部分の外側の表面に布を接着できるようにします。刺しゅうが終わったら、布を外し余分な部分は捨ててください。これを繰り返します。

4. **はがすタイプの接着芯**

キャンバス地やポプリン、デニムのような普通の重さの織物と、丈夫な布に使用します。この接着芯は、2 枚以上重ねて使用することで、多くのぬい目数に耐えることができます。この種類の接着芯は織り込まれていないので、縫製が終わったあとに、刺しゅうデザインの端から簡単にはがすことができます。はがすタイプの接着芯にも黒色があります。

5. **水に溶けるタイプの接着芯**

タオルのような素材を刺しゅうするときに、毛羽が縫製のじゃまにならないようにするために使用します。毛羽のあるタイプで刺しゅうできる布は、タオル地やコーデュロイ、ベルベット、フェイクファー等があります。これらの布は、毛羽の繊維が刺しゅうデザインのぬい目からはみ出て、仕上がりが悪く見えることがあります。それを防ぐために、水に溶けるタイプの接着芯を使うことによって、表のぬい目をきれいに仕上げます。このタイプの接着芯は、レースや他のモチーフを刺しゅうするときに、仕上がり部分のみの接着芯として使用することもできます。刺しゅうが完成したあとに簡単に布からはがして取ることができ、残った部分も水で洗い流すことができます。

枠張りのテクニック

「よい仕事にはよい道具を使いなさい」というのは、私たちが常に耳にする言葉です。これは、刺しゅう業界にも言えることです。間違った種類の刺しゅう枠を使用すると、縫製時にデザインが揃わなかったり、制作したものが破れたりすることがあります。完璧なデザインでも、それに合うように設計された枠のサイズや種類、手法を誤って使ったために、結果が台なしになることがあります。

■ 枠の基本

筒枠 - この種類の枠を使用すると、筒状の布や筒状に縫製した衣類を刺しゅうすることができます。布の裏側まで糸を通すことなく、布の表面に刺しゅうすることができます。T シャツを枠に逆さまに張ったときは、刺しゅう模様を忘れずに回転させてください。

帽子枠 - これらは、帽子を固定するための特別な刺しゅう枠です。帽子に刺しゅうする場合は、この刺しゅう枠を使用してください。

刺しゅう枠と接着芯 - 刺しゅう枠に張った布と接着芯は、完全に平らで、しわやすき間が入らないように注意してください。しわやすき間を取り除くときは、布と接着芯を一緒に伸ばしてください。布と接着芯を伸ばすときに、強くひっぱりすぎないよう注意してください。伸ばしすぎると、枠を取り外したときに、完成したデザインにしわが入ることがあります。また、デザインとデザインの間に割れ目ができることがあります。

内枠と外枠の調節 - 外枠は調節ネジで調節することができます。布を張ったあと、内枠をはめたときにたるみを感じたら、調節ネジを締めてください。ただし、きつく締めすぎると布にしわが入ったり、調節ネジのネジ山がすり減ったりするおそれがありますので、注意してください。

布／接着芯の適合表

布／衣服	裏張りの枚数	表張りの枚数	詳細
タオル地	はがすタイプ　1 枚	水に溶ける タイプ　1 枚	密度または縦ぬい幅を大きくしてください。細かい模様や小さな文字は、毛羽の輪に引っ掛かりやすくなります。
サテンのジャケット	厚い裏地　なし 薄い裏地 または裏地　なし はがすタイプ　1 枚 はがすタイプ　1 枚	なし	布が枠の中で滑るとまっすぐぬえなくなりますので、マスキングテープや布のバイアステープを内枠に巻いてください。こうすると表面が粗くなるため布がつかみやすく、また、枠が焼けるのを最小限にすることもできます。
綿の敷布	はがすタイプ　1 枚	なし	密度の濃いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚ではなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。
デニム	はがすタイプ　1 枚	なし	針が熱くなったり糸が切れたりするときは、縫製速度を遅くしてください。
帽子	任意	任意	バックラムの裏張りを使用すると針が鈍くなりやすいので、通常よりも頻繁に針を交換するようにしてください。軽い裏張りを使用すると、糸切れが減り、糸調子を整えられます。コーデュロイや帽子の前面には表張りを使ってください。
ドレスシャツ(織物)	はがすタイプ　1 枚	なし	密度の高いものや、細かいデザインの場合は、裏張りを増やしてください。この場合は、厚い裏張り 1 枚ではなく、薄い裏張りを 2 枚使ってください。
ゴルフシャツ	切るタイプ　1 枚	任意	細かい模様や小さな文字の多いデザイン、またピケニットには表張りを使用してください。
カントンフリース	はがすタイプ　1 枚	任意	かご織りや、はっきりしたあや織りのような織物には表張りを使用してください。
キャンバス地	はがすタイプ　1 枚	なし	枠をきつく取り付けてください。
コーデュロイ	はがすタイプ　1 枚	水に溶ける タイプ　1 枚	ぬい目の密度が高いものやぬい目数が多い場合は、表張り同様に、ぬい目が布の中に沈まないようにしてください。
肌着やシルク	はがすタイプ（軽） 1 枚または 2 枚	任意	縫製速度を遅くしてください。糸調子をゆるめてください。細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。織り目の細かい布には細い糸を使用してください。細かい模様や文字には極端に狭い縦ぬいを避け、ぬい幅を広げるか、さやぬいをしてください。布からやさしく裏張りと表張りを取り除いてください。（無理に引きはがさないでください。）
ニット	切るタイプまたは粘着性のはがすタイプ　1 枚	水に溶ける タイプ　1 枚	かさばるものや穴の多いニットには裏張りに色の合った、織り目の詰まったオーガンジーまたはカーテンの布を使ってください。
スウェットシャツ	切るタイプ（軽）または粘着性のはがすタイプ 1 枚	任意	細かいデザインには切るタイプ（軽）の接着芯を 2 枚重ねてください。極端に厚い、また細かいデザインの付いた布には表張りを使ってください。
T シャツ	切るタイプ（軽）または粘着性のはがすタイプ 1 枚	任意	細かい模様や小さな文字のあるデザインには、表張りを使用してください。糸調子が弱すぎます。ぬい目の密度が高いデザインは避けてください。

お願い

●上記は、布地と接着芯の多くの組み合わせの中から、最適な組み合わせを選ぶための目安としてご利用ください。布地と接着芯の組み合わせが不確かである場合は、実際の衣類で本ぬいする前に、試しぬいをしてくだい。

お手入れ

簡単なミシンのお手入れ方法を説明します。故障の原因となる場合がありますので、いつも清潔にしておきましょう。

画面の汚れの掃除

液晶画面が汚れた場合は、乾いたやわらかい布地等で軽くふき取ってください。有機溶剤や洗剤は使用しないでください。

本体表面の掃除

軽い汚れは、やわらかい乾いた布でふき取ります。ひどい汚れは、中性洗剤を薄めて布に浸して固くしぼり、ふき取ります。洗剤でふいたあとは、乾いた布でふき取ります。

⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

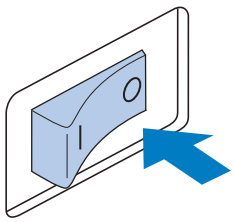
お願い

- ベンジン、シンナーなどは絶対に使わないでください。

釜の掃除

釜には糸くずやほこりがたまりやすく、縫製不良になる場合があります。定期的に掃除をしてください。
付属のミシンブラシを用意します。

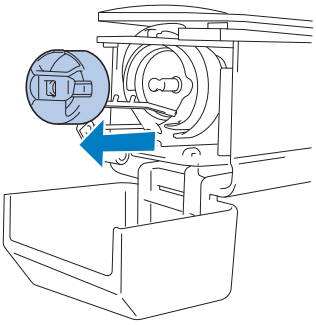
1. 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。



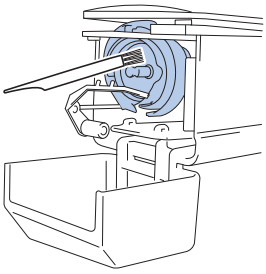
⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

2. 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。（P. 34 参照）



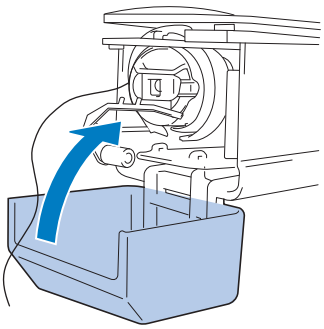
3. 付属のミシンブラシで、釜周辺の糸くずやほこりを取り除きます。



⚠ 注意

- 釜に傷が付いているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

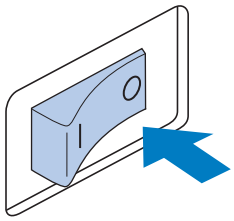
4. 掃除し終わったら、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。（P. 35 参照）



針板まわりの掃除

移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に糸くずやほこりがたまると、糸切り不良が発生したり、部品が破損するおそれがあります。月に 1 回は掃除してください。
Z 型ドライバー、付属のミシンブラシを用意します。

1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。

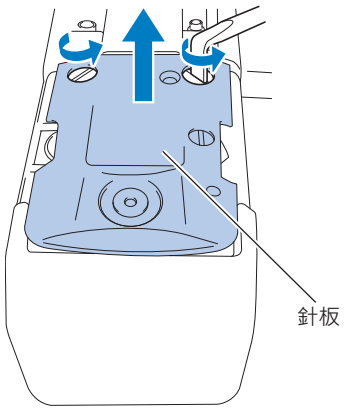


⚠ 注意

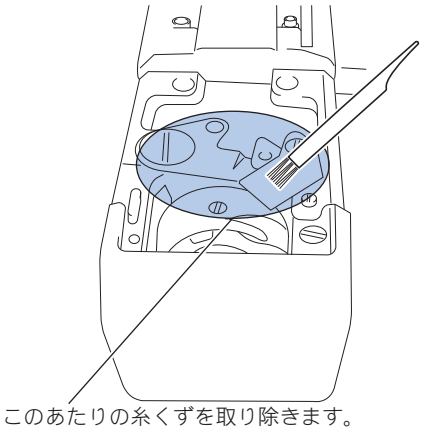
- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

2 針板を外します。

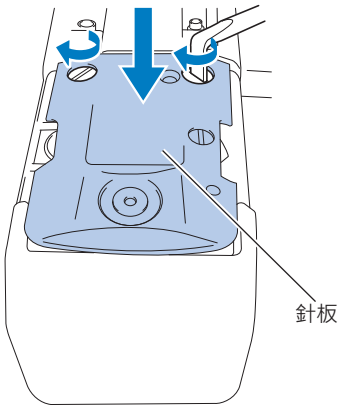
Z 型ドライバーでネジをゆるめ、針板をします。



3 付属のミシンブラシで、移動刃、固定刃、糸保持板の周囲に付いた糸くずやほこりを取り除きます。



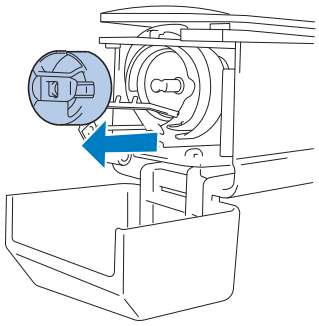
4 掃除し終わったら、手順 2 と逆の手順で針板を取り付けます。



ボビンケースの掃除

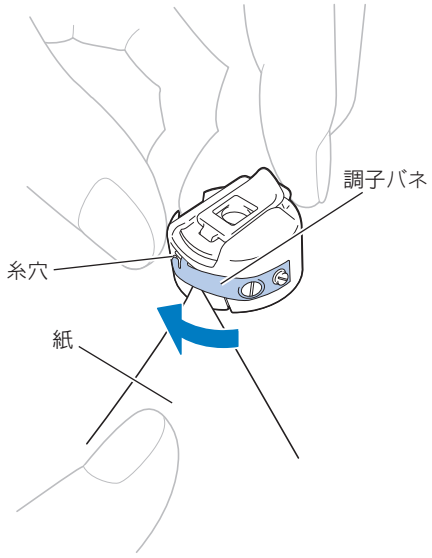
ボビンケースの調子バネの糸穴の周囲は、糸のワックスやゴミがたまりやすく、糸調子不良の原因となります。そのため、ボビンを交換するときは毎回掃除してください。
名刺と同等の厚さの紙を用意します。

1 **釜カバーを開け、ボビンケースを取り出し、ボビンを取り出します。(P. 34 参照)**



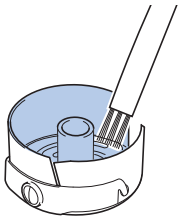
2 **調子バネの下に紙を差し込み、ゴミをかき出します。**

糸穴の周辺は、紙の角でこするようにしてゴミをかき出します。

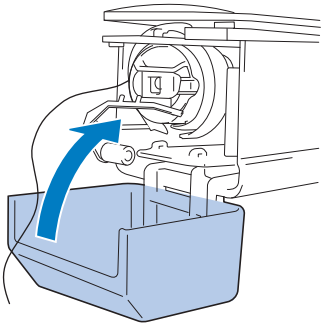


お願い
●調子バネを曲げないように注意してください。また、厚紙や、定規など紙以外のもので掃除をしないでください。

3 **付属のミシンブラシで、ボビンケース内側の糸くずやほこりを取り除きます。**



4 **掃除が終わったら、ボビンをボビンケースに入れ、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。(P. 35 参照)**



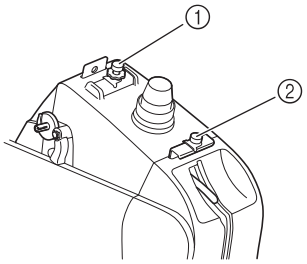
上糸の糸道の掃除

上糸の糸道の糸案内や糸調子つまみにほこりや糸くずがたまると、刺しゅう中に糸が切れるおそれがあります。糸道を定期的に掃除してください。

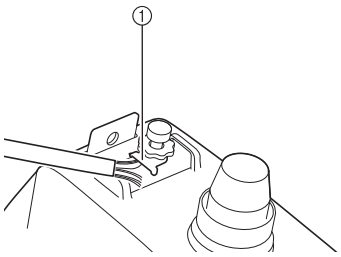
■ 糸案内を掃除する

1 **付属の掃除ブラシを使用し、糸案内プレートの下から糸くずやほこりを取り除きます。**

上糸案内と中糸案内の両方の糸案内プレートを掃除してください。



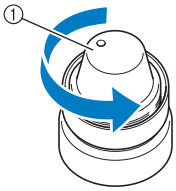
① 上糸案内
② 中糸案内



① 糸案内プレート

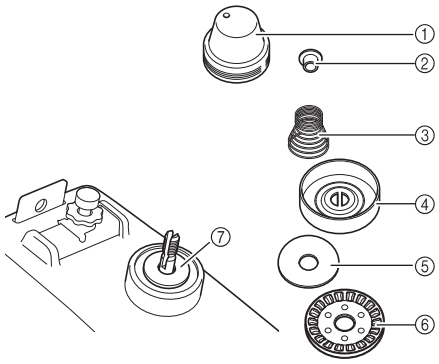
■ 糸調子つまみを分解して掃除する

1 下図のように、ダイヤルを反時計回りに回すと、糸調子ダイヤルを取り外せます。



① 糸調子ダイヤル

2 付属の掃除ブラシを使用し、糸調子ダイヤルの内側の 2 つのフェルトワッシャー（上と下）から糸くずやほこりを取り除きます。

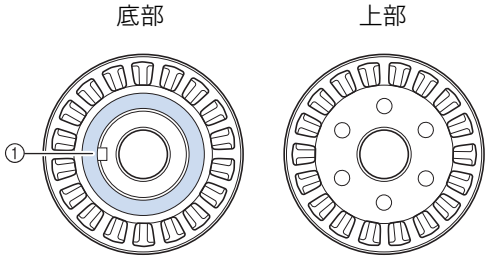


① 糸調子ダイヤル
② ナイロン製のショルダーワッシャー
③ 糸調子ばね
④ 糸調子ベースばね
⑤ フェルトワッシャー（上）
⑥ 回転調子皿
⑦ フェルトワッシャー（下）

3 糸調子ダイヤルを組み立てなおします。

お願い

●糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、回転調子皿の取り付け方向が逆にならないよう注意してください。
底部にマグネットがついています。



① マグネット

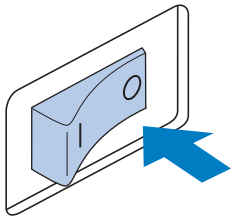
●糸調子ダイヤルを組み立て直すときに、パーツをなくしたり、組み立て順を誤ったりしないよう注意してください。糸調子つまみの組み立てに誤りがあると、ミシンが誤動作するおそれがあります。

ミシンに注油する

機械部品の寿命を延ばし、正常に動作するために注油が必要です。初めて使うときは、その前に必ず注油してください。
その後は、毎日ミシンをご使用になる前に、釜のレース部に一滴注油してください。

■ レース部に注油する

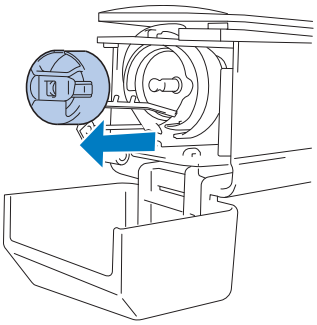
1 電源スイッチの「O」側を押し、電源を切ります。



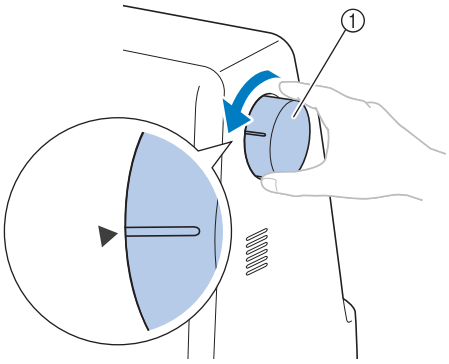
⚠ 注意

- 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。ケガ・感電の原因となります。

2 釜カバーを開け、ボビンケースを取り出します。（P. 34 参照）



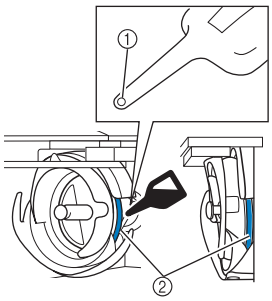
3 プーリーをミシン上の△の位置まで回します。



① プーリー

- プーリーは反時計回りに回してください。

4 釜のレース部に一滴注油します。

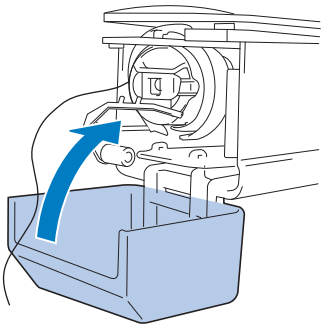


正面図　　側面図

① 小さい穴を空けます。
② この部分に注油します。

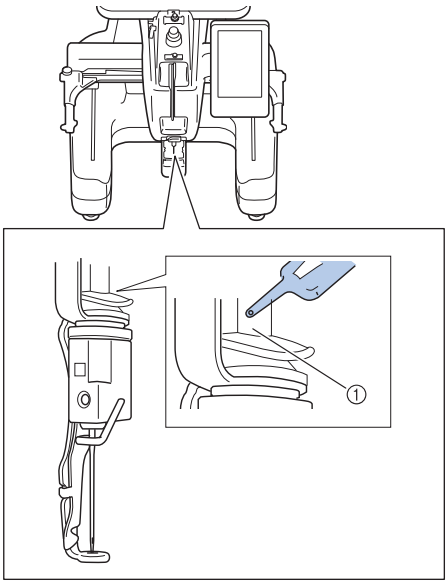
- 付属の油差しの先に、小さい穴を空けてから注油してください。

5 注油し終わったら、ボビンケースをセットし、釜カバーを閉めます。（P. 35 参照）



■針棒に注油する

図のように、針棒のフェルト上に一滴注油してください。



① ここに油をさします。

- 油をさし過ぎないでください。ぬう時に油が布に垂れる場合があります。

お願い

- 毎日、釜のレース部に一滴注油してください。
- ミシンを 40 ～ 50 時間ご使用するごとに、針棒のフェルト上に一滴注油してください。
- 注油にはミシン用油を使用してください。その他の油を使用すると、故障の原因となります。
- 油をさしすぎると、生地や糸の汚れの原因となりますので注意してください。油をさしすぎた場合は、布地等でふき取ってください。
- 縫製時に糸切れ不良が発生したり、釜の動作音が増大したりした場合は、釜のレース部に注油してください。

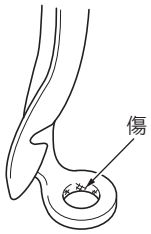
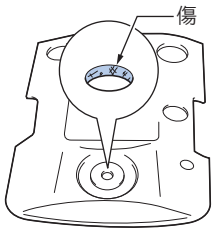
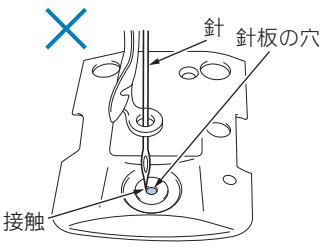
メンテナンスメッセージについて

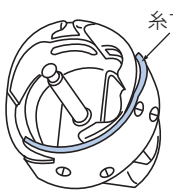
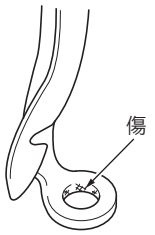
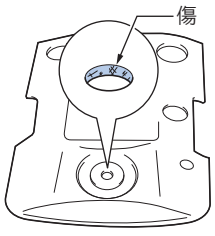
このメッセージが表示されたら、ミシンをお買い上げの正規販売店に持ち込み、定期メンテナンスチェックを受けることをおすすめします。OK を押すと、このメッセージは消え、ミシンを使い続けることができますが、適切なメンテナンスが実行されるまで、このメッセージは繰り返し表示されます。
適切なメンテナンスで、継続して快適にミシンをご使用いただけるようになります。

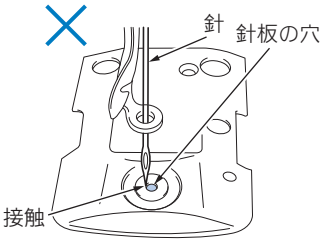
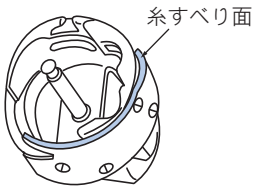
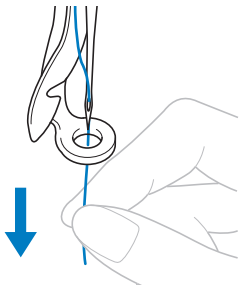
困ったとき

トラブルチェック

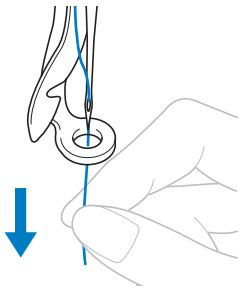
ミシンが思いどおりに動かないときは、修理を依頼する前に以下の項目を確認してください。
それでも改善されない場合は、お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
ミシンが動かない	電源が入っていない。	電源を入れます。	p.30
	ミシンロックが解除されていない	ロック解除キーを押します。	p.56
	スタート／ストップスイッチを押していない。	ロック解除状態でスタート／ストップスイッチを押します。	p.56
針が折れる	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	p.72
	針の止めネジがゆるんでいる。	針交換ドライバーを使って止めネジをしっかり締めます。	p.72
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	p.27、72
	押えの穴の周辺に傷がある。 	押えを交換します。 お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	ボビンまたはボビンケースが正しくセットされてない。	ボビンまたはボビンケースを一旦外して、セットし直してください。	p.34、35
	上糸が正しくかけられていない。 上糸がどこかに引っかかっている。	上糸を押えの下から手で引いてスムーズに糸が出るか確認します。 スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が針棒糸案内にかかっていることを確認します。	p.50-53
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	p.91
	針板の穴の周辺に傷がある。 	針板を交換します。 お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	針板の穴に針が接触している。 	針を交換します。 お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	p.72
	押えの取り付けが高い 針が押えに接触している。	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	―

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
針が折れる	釜の糸すべり面に傷がある。 	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	釜が正しくセットされていない。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	釜止めが正しくついていないため、内釜が回っている。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	このミシン専用のボビンを使用していない。	このミシン専用のボビンを使用します。	p.27
	針と釜の出合が正しくない。	釜の調整が狂っています。お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3回以上の重ねぬいをしている。	当社正規データ作成装置（刺しゅうPROなど）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正します。	p.104
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの取り付け方を確認し、再度取り付けてください。	p.50
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	p.36
上糸が切れる	針が正しく取り付けられていない。	針を正しく取り付けます。	p.72
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	p.27、72
	押えの穴の周辺に傷がある。 	押えを交換します。 お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	糸に結び目やこぶがある。	その部分を取り除きます。	―
	上糸調子が強すぎる。	上糸調子を弱くします。	p.91
	ボビンケースに傷がある。	新しいボビンケースと交換します。	p.34
	このミシン専用のボビンを使用していない。	このミシン専用のボビンを使用します。	p.27
	針の止めネジがゆるんでいる。	針交換ドライバーを使って止めネジをしっかり締めます。	p.72
	針板の穴の周辺に傷がある。 	針板を交換します。 お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	針板の穴に針が接触している。 	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	押えの取り付けが高い。 針が押えに接触している。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	メタリック糸など、弱い糸を使用している。	縫製速度を遅くします。	p.98
	釜の糸すべり面に傷がある。 	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	糸がからまって、釜などに詰まっている。	からんだ糸を取り除きます。釜に詰まっていた場合は、掃除します。	p.164
	外釜と内釜の遊びが大きい。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	外釜がスムーズに回転していない。	糸くずを取り除いて掃除し、注油します。	p.164、168
	釜止めと釜のすき間が正しく調整されていない。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	上糸が正しくかけられていない。 	上糸を押えの下から引いて、スムーズに糸が出るか点検します。スムーズに糸が出ない場合は、糸が正しくかかっていません。上糸を正しくかけ直します。糸が糸案内の正し位置を通っていることを確認します。	p.50-53
	上糸が糸道上または糸道中の糸案内プレートを通っていない。	糸が正しく糸道上または糸道中の糸案内プレートを通っていることを確認します。	p.50-53
	糸調子が適当でない。 ボビンケースから糸がスムーズに出ていない。	正しい下糸調子にします。	p.90
	下糸が正しく巻かれていない。	ボビンの径に対して 80% の巻き量で、糸が平均に巻かれているか点検します。正しく巻かれているボビンと交換するか、糸を巻き直します。	p.36
	自動糸通し装置が破損している。	お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	針に粘着剤などが付着している。	針を交換します。	p.72
	布地の張りが弱い。	たるみの無いようにしっかり布地を刺しゅう枠に張り直します。	p.44、77
	糸の品質が悪い。	撚りが甘い糸や古く弱い糸を、品質の良い糸と交換します。	―

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
上糸が切れる	刺しゅうデータの糸密度が細かすぎる。 3 回以上の重ねぬいをしている。	当社正規のデータ作成装置（刺しゅう PRO など）で、刺しゅうデータの糸密度や重ねぬい設定を修正する。	p.104
下糸が切れる	下糸のセットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	p.35
	ボビンに傷があり、回転がなめらかでない。	ボビンを交換します。	p.34
	糸がからまっている。	絡んだ糸を取り除き、釜を掃除します。	p.164
	このミシン専用のボビンを使用していない。	このミシン専用のボビンを使用してください。	p.27
	ボビンケースに傷がある。	ボビンケースを交換します。	p.34
ぬい目がとぶ	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を正しく通します。	p.50
	針が曲がっている。 針先がつぶれている。	新しい針と交換します。	p.27、72
	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	p.72
	針板の下や釜にほこりなどがたまっている。	針板の下や釜を掃除します。	p.164、165
	針と釜の出合が正しくない。	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	糸のねじれが強すぎる、またはゆるすぎる。	ねじれが適切でないと、正しいループの形ができません。新しい糸こまを使用します。	―
刺しゅう模様がくずれる。	糸がからまっている。	釜などにからんだ糸をピンセットなどで取り除きます。	―
	刺しゅう枠に布地がきちんと張られていない。（布地の張り方がゆるいなど）	布地の張り方がゆるいと、模様くずれやぬい縮みの原因となります。刺しゅう枠に布地を正しく張ります。	p.44、77
	接着芯を貼っていない。	特に伸びる布地、薄い布地、目の粗い布地、ぬい縮みしやすい布地には、必ず刺しゅう用接着芯を貼ります。 ＜帽子枠使用時＞ やわらかい素材の帽子の場合は固めの芯を使用します。	p.76
	キャリッジや刺しゅう枠が周辺に置いてある物に当たっている。	キャリッジや刺しゅう枠が物にぶつかると模様くずれの原因になります。刺しゅう枠が動く範囲に物を置かないでください。	―
	布地がひっかかっている、またははさみ込まれている。	ミシンを止めて布地を正しい位置に直します。	―
	刺しゅう枠を取り外している途中でキャリッジが動いた。	ぬっている途中で押えに物がぶつかったり、キャリッジが動いたりすると模様くずれの原因になります。 ぬっている途中で刺しゅう枠を外したり、セットしたりするときには注意してください。キャリッジが動いてしまった場合は、電源を入れ直します。ミシンを止めたときの状態をミシンが記憶しており、正しい位置に戻ります。	―
	刺しゅうのサイズに対して大きい刺しゅう枠を使用している。	刺しゅうの大きさに合った刺しゅう枠を使用します。	p.74
	刺しゅう枠が正しくキャリッジにセットされていない。	刺しゅう枠を正しくキャリッジにセットします。台枠の左右のアームのピンが、刺しゅう枠の取付部の穴にきちんと入っているか確認します。	p.46
	デザインが正しく作成されていない。	伸縮性のある布や毛羽立った布を使用するときと同様に、デザインを伸ばして補正したり下張りを使用する必要があります。	―
	刺しゅう用接着芯が、刺しゅう枠よりも小さいなど、正しく貼られていない。	刺しゅう用接着芯を布地に正しく貼ります。	P.76
セットした刺しゅう枠のサイズを正しく認識しない	台枠のつまみボルトが緩んでいる。	付属のドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め直してください。	p.23

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
刺しゅう枠の原点位置が横にずれる	台枠のつまみボルトが緩んでいる。	付属のドライバーで、2 本のつまみボルトをしっかりと締め直してください。	p.23
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）	上糸調子が弱い。 	押えの穴に上糸を通した後、手で糸を引いて糸調子を確認します。	―
上糸のぬい目が浮く（ルーピングの発生）	糸調子つまみ、または糸道上糸調子つまみの締め込み量に見合った糸調子になっていない。	糸調子が出ていない場合は、糸道上または糸道中の糸案内プレートにゴミが入って、糸案内プレートが糸の重さを適切に量れない場合がありますので、掃除します。	p.166
	糸調子皿付近で糸が正しく通されていない。	糸調子皿を掃除してください。 上糸を通し直し、糸を引いてみて糸調子皿が回転することを確認してください。	p.167
	糸の品質が悪い。	ほかの糸に替えてぬってみましょう。糸を替えて問題なければ、糸品質に原因があります。品質の良い糸と交換します。	―
ぬっているときの音が高いガタガタと音がする	釜の部分に糸くずが巻きこまれている。	釜の掃除をします。	p.164
	上糸の通し方がまちがっている。	糸を通す順序を調べて通し直します。	p.50
	釜に傷がある。	釜を交換します。 お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	―
	注油が不足している。	注油します。	p.168
自動糸通しができない	針の取り付け方がまちがっている。	針を正しく取り付けます。	p.27、72
	このミシン専用の針を使っていない。	このミシン専用の針と交換します。	p.27、72
	自動糸通し装置の糸通し用のフックが曲がっている。	お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	p.53
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	p.27、72
糸調子が合わない	上糸の通し方がまちがっている。	上糸を通す順序を調べて通し直します。	p.50
	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	p.35
	下糸の糸調子が合っていない。	下糸の糸調子を調節します。	p.90
	下糸が正しく巻かれていない。	下糸を正しく巻きます。	P.36
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	p.27、72
刺しゅうを始めたとき、上糸が下糸に届かない	下糸がない、ボビンから下糸が送られない、または送られた糸が短すぎる。	ボビンを正しくセットします。	p.35
糸が切れていないのに、糸切れエラーになりミシンが停止する	回転調子皿にかかっている糸が外れ、回転調子皿にある糸センサーが糸送りを感知できず、糸切れエラーが起きてミシンが停止した。	回転調子皿に正しく糸をかけます。再度糸をかけ直しても糸切れエラーが起きる場合は、センサーが破損している可能性があります。お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。	p.52
布に針による傷か穴がある	針がとがってない	針を交換します。針がとがっていないと布を押し上げ、布に傷がつきます。	p.27、72
	布が弱すぎる。	弱い布は、針が通るだけで破損することがあります。布の表面に接着芯を使用します。	p.163

こんなとき	原因	対処のしかた	参照ページ
布にしわが寄っている	糸調子が強すぎる。	布の種類と使用する糸に応じて、糸調子を調節します。特にポリエステル製の糸は、糸調子を強くすると伸びやすくなります。縫製が終わると、糸が元に戻りぬいしわの原因となります。	p.91
	針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	新しい針に交換します。	p.27、72
	枠の取り付け方が正しくない。	伸縮性のない織物などは、枠をきつめに取り付けます。取り付け方が弱いと布にこぶができることがあります。やわらかいニット地には、安定した裏張りを使ってしっかりと伸ばし、枠を取り付けます。布を伸ばしすぎると、枠を外したときにしわが入ることがあります。	p.162
	縦ぬいが長すぎる。	全体ぬい、または多数列の縦ぬいでデザインし直します。	―
	デザインが細かすぎる。	特定部分のぬい目が多くなりすぎると、布にしわが入ることがあります。	―
	上糸の通し方、または下糸のセットのしかたがまちがっている。	糸を通す順序を確認して、通し直します。または、下糸を正しくセットします。	P.50
	糸こま押えが正しくセットされていない。	糸こま押えの取り付け方を確認し、再度取り付けてください。	P.50
上糸がつる	下糸セットのしかたがまちがっている。	下糸を正しくセットします。	P.35
下糸がボビンにきれいに巻けない	下糸巻き案内に糸がしっかりかかっていない。	下糸巻き案内に糸をしっかりとかけます。	P.36
	ボビンの回転が遅い。	下糸巻きの回転スピードを速くするため、下糸巻き画面で「＋」キーを押します。	P.37
	引き出した糸を正しく巻き付けていない。	引き出した糸は、時計回りに 5 ～ 6 回ボビンに巻き付けます。	P.37
液晶画面を押しても、反応しない	画面がロックされている。	⚠ ロック を押して画面ロックを解除します。	P.56
液晶画面がくもる	液晶画面が結露している。	少し待つと、くもりはなくなります。	―
LED ポインターが正しい位置を示さない	厚手の伸縮性のある布地をぬうときは、布の凸部で正しい位置を示すことができません。	布地の厚みに合わせて、手動で刺しゅうの位置合わせをしてください。	P.82
	布地の表面がでこぼこしていると、正しく位置を認識できません。	LED ポインターの表示は、あくまでも参考として使用してください。	―

⚠ 注意

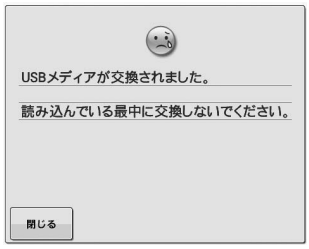
- **このミシンには、糸切れ確認装置が付いています。上糸が通されていない状態で、ミシンロック解除後スタート／ストップスイッチを押しても、ミシンは正常に作動しません。**
- **運転中に停電が発生した場合**
  - **電源スイッチを切って電源プラグを抜いてください。**
  - **再度、運転する場合は、運転の手順に従って正しく行ってください。（P. 30 参照）**

エラーメッセージ

ミシンが正しく準備できていない状態でスタート／ストップスイッチを押したときや、まちがった操作をしたときは、ミシンは停止し、ブザーとエラーメッセージでお知らせします。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージの内容に従って対処してください。

表示中のメッセージは、閉じるを押すか、対処をしてから閉じるを押すと消えます。エラーメッセージが再度表示される場合は、お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」にご相談ください。

USBに接続している

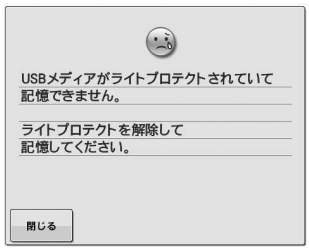


USB メディアの模様一覧画面を表示中に、USB メディアを抜いて、または入れ替えて模様を選んだ

元のUSB メディアを差し込んで模様を選ぶか、新しいUSBメディアの模様一覧画面を表示させて模様を選んでください。

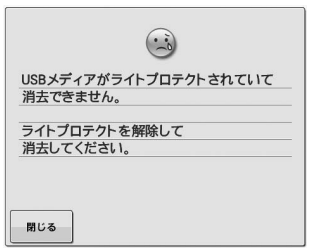
USB メディアが差し込まれていない状態で、を押した

USB メディアを差し込んでください。



USB メディアがライトプロテクトされている状態で、模様を記憶しようとした

ライトプロテクトを解除して記憶してください。

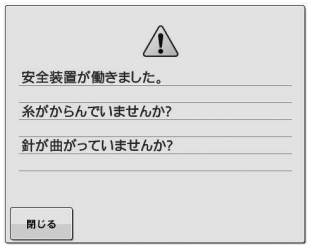


USB メディアがライトプロテクトされている状態で、模様を消去しようとした

ライトプロテクトを解除して消去してください。

模様が赤い枠の外にある状態で編集しようとした

赤い枠の中に模様を移動させてください。



糸がからむ、針が曲がるなどの異常が発生した

ミシンが異常を検知して止まりました。糸が正しくかかっているか（P. 50参照）、針が曲がっていないかを確認してください。

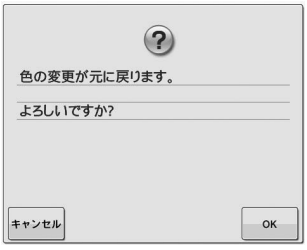
縫製画面でロックを押して、刺しゅうを開始することができます。

針板まわり（移動刃、固定刃、糸保持板）に糸くずやほこりなどがたまっている

針板まわりの掃除をしてください。（P. 165参照）

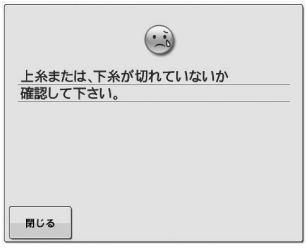
ロック解除をせずに糸切りスイッチを押した

ロック を押してから、糸切りしてください。



糸色変更中に、 が押された

(P. 126参照)



上糸が切れたり、糸が糸調子つまみや糸案内から外れたりして、上糸が正しく通っていない

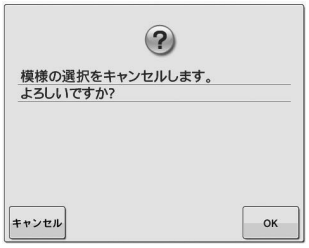
上糸の通し方を確認して正しくセットし直してください。

回転調子皿に糸くずやほこりがたまっている

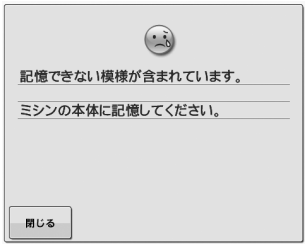
糸調子ダイヤルのつまみを外し、中のフェルトに付着している糸くずやほこりを取り除いてください。(P. 166参照)

下糸が切れた、またはなくなった

下糸があること、ボビンから下糸が約50mm 出ていることを確認してください。なくなっていれば新しい下糸をセットしてください。(P. 35参照)

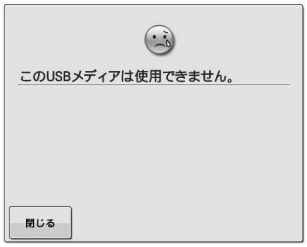


が押されたため、選択中の模様が削除されようとしている



コピープロテクトがかかっている模様をUSBメディアまたはパソコンに保存しようとした

この模様は著作権法により、USBメディアおよびパソコンに保存して再生／編集することはできません。ミシン本体のメモリーに保存してください。



差し込んだUSB メディアは使用できない

USB メディアを交換してください。

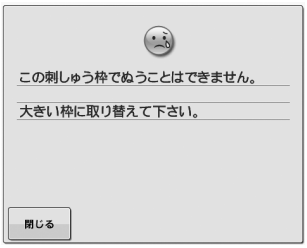
差し込んだUSB メディアは使用できない

使用可能なUSB メディアについての詳細は、ブラザーソリューションセンター

(http://support.brother.co.jp) でご確認ください。

このミシンでは扱えない刺しゅうカードの模様を呼び出そうとした

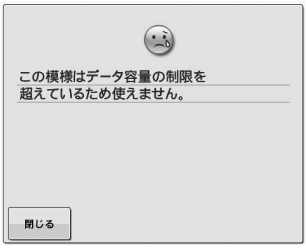
著作権がある模様の刺しゅうカードの中には、扱えないものがあります。



セットしている刺しゅう枠が小さい

使用可能な刺しゅう枠を確認して、大きい枠をセットし直してください。(P. 44参照)

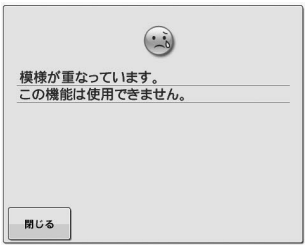
このミシンでは使用できない模様を呼び出そうとした



模様のステッチが多すぎて使用できない
50万ステッチを超えている模様は表示できません。刺しゅうソフトを使用して、ステッチの数を減らしてください。

分割模様を、別の模様に組み合わせようとした
この模様は組み合わせることができません。

模様を101個以上組み合わせようとした
模様の組み合わせは100個までです。



糸色並べ替え機能は、模様が重なっている場合は使用できません。重ならないように編集してください。

模様によっては特定の機能が使えません。

選んだファイルがこのミシンでは対応していない
対応しているファイルの仕様を確認してください。
(P. 69参照)

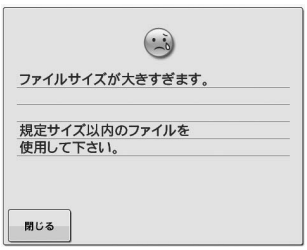
ミシンがメンテナンスを必要としている
(P. 169参照)

模様データの総容量が制限を超えた
これ以上組み合わせられません。

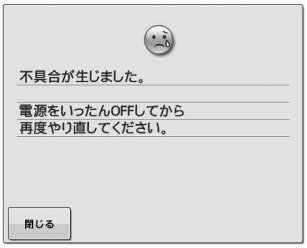
自動糸通し装置が正常に動作しなかった
自動糸通し装置に糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、閉じるを押します。

自動糸通し装置で糸を通している途中で、他の操作をした
糸通しボタンを押して糸通しを完了してから、次の作業を行ってください。
(P. 53参照)

ピッカーが正常に動作しなかった
ピッカーに糸が絡んでいる場合は、糸を取り除いてから、閉じるを押します。

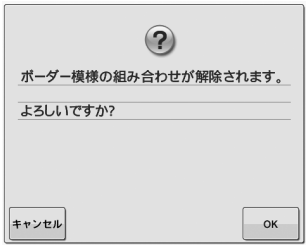


ファイルサイズが規定を超えている
ファイルサイズを確認してください。



ミシンが不具合を検知した
電源を一旦切り、再度入れてください。

縫製画面上で 戻る が押された
縫製画面に戻るには、OK 押してください。刺しゅうがキャンセルされます。



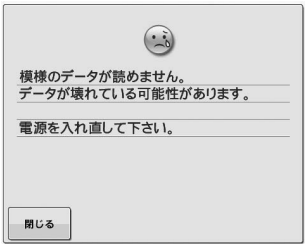
繰り返し模様（ボーダー模様）を縫製画面で回転しようとした

文字数が多くて曲線の配列ができない
文字数を少なくしてください。

刺しゅう枠に対し、組み合わせた模様が大き過ぎる

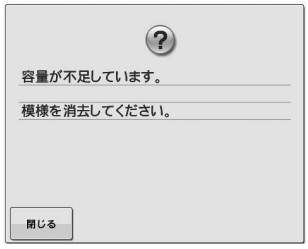
刺しゅう枠に対し、組み合わせた模様が大き過ぎる
模様の大きさを変更するか、刺しゅう枠内におさまるように配置してください。

模様の大きさを変更しようとしたが、刺しゅう枠に対して大き過ぎる



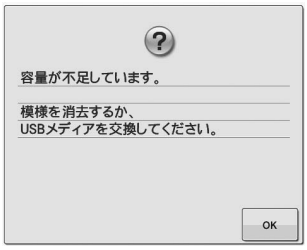
呼び出そうとした模様データに異常がある
模様データを確認してください。
- 模様データが破損している。
- 他社製のデータ作成装置で作成されたデータを呼び出そうとした。
  (P. 104 参照)

ミシンを正常な状態に戻すため、電源を入れ直してください。



ミシンのメモリーがいっぱいで模様が記憶できない
不要な模様を削除してください。

メモリがいっぱいでステッチや模様が保存できない



USB メディアのメモリーがいっぱいで模様が記憶できない
模様を消去するか、USB メディアを交換してください。

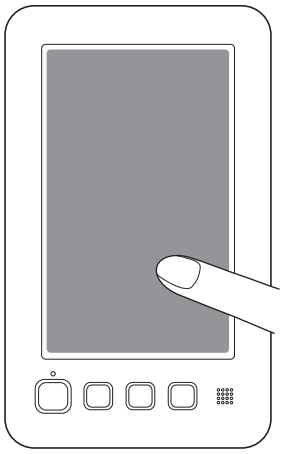
刺しゅうが完了していない状態で電源が切られ、再び入れられた
刺しゅうを再開するときは、OK を押してください。電源が切られる前の縫製画面が表示されたら、ぬい目を戻して刺しゅうを再開してください。
(P. 88参照)

上糸通しエラー
お買い上げの販売店にご相談ください。

キーを押しても反応しないときは

画面上のキーを押しても変化がない（入力できない）場合や、キーがずれている場合は、次の手順で画面の調整をしてください。

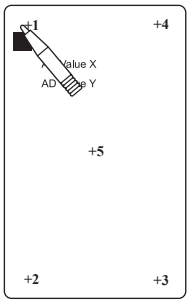
1 **画面（どの部分でもよい）を押しながら、電源スイッチを入れ直します。**



- 次の画面が表示されるまでずっと画面を押し続けてください。
- スタート／ストップスイッチは点灯しません。

→ 次の画面が表示されます。

2 **画面の四隅と中央に表示されている 5 つの十字ポイントを、付属のタッチペンを使って 1 から 5 の順で軽く押していきます。**



- ポイントのいずれかが正しく押されずに調整に失敗すると、最後の 5 を押したときチャイム音が鳴って、画面に「ERROR」と表示されます。もう一度、1 から 5 の順で丁寧にポイントを押し直してください。

⚠ 注意

- **必ず付属のタッチペンを使用して調整してください。シャープペンシル、ドライバーなどの先のとがったものや硬いもので押さないでください。また、画面に無理な力をかけないでください。故障の原因となります。**

3 **調整が成功すると、画面に「SUCCESS」と表示されます。これを確認して調整は完了です。**

お願い

- 調整をしてもキー入力ができない場合、または調整ができない場合は、お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にご相談ください。

4 **調整が終わったら、電源スイッチを入れ直します。**

仕様

本体仕様

項目	仕様
製品質量	31 kg
本体寸法	幅511mm×高さ747mm×奥行587mm
ぬい速度	速度／最大：毎分1000針、最小：毎分400針
定格電圧／消費電力	100V（50／60Hz）／120W
釜型	垂直回転釜
釜寸法	標準サイズ
針	HAX130EBBR / #11
糸調子	あり／手動
糸切り	あり／上糸・下糸
糸センサー	あり／上糸・下糸
自動針穴糸通し	あり
パソコン通信	USB ポート
使用可能メディア	USBメディア

＊ 予告なく仕様を変更する場合があります。ご注意ください。

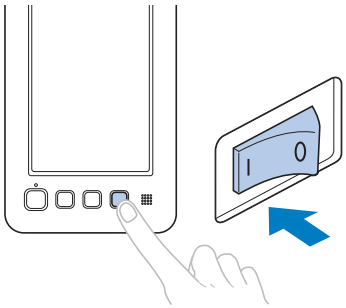
ミシンのソフトウェアをアップグレードする

USB メディアまたはパソコンを使用して、ミシンにインストールされているソフトウェアをアップグレードすることができます。アップグレード情報については、お買い上げの販売店または「PR 専用ダイヤル」にお問い合わせいただくか、ブラザーソリューションセンター (http://support.brother.co.jp) で今後掲載される情報を参照してください。

お願い
- USB メディアを使用してソフトウェアをアップグレードする場合は、今回のアップグレードに使用する USB アップグレードファイル以外のデータが保存されていないことを確認してください。
- 対応 OS：
  Microsoft Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8/Windows 8.1、Windows 10

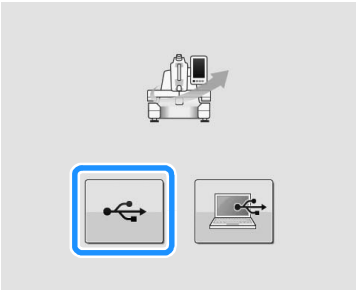
USB メディアを使用したアップグレード手順

1 自動糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。

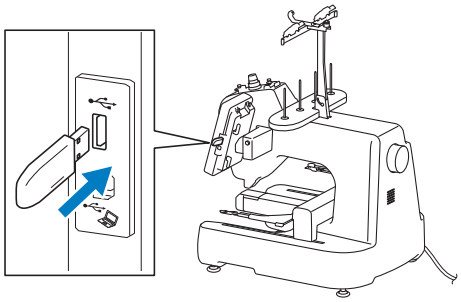


→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。

2 を押します。



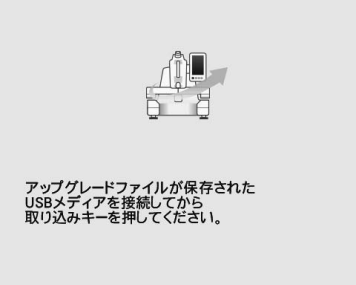
3 ミシンの USB ポートに USB メディアを差し込みます。メディアには、アップグレードファイル以外のデータが入っていない状態にしてください。



① USB ポート
② USB メディア

お願い
- USB メディアを差し込むと、アクセスランプが点滅します。メディアの認識には 5、6 秒かかります。(この時間は、USB メディアによって異なります)。

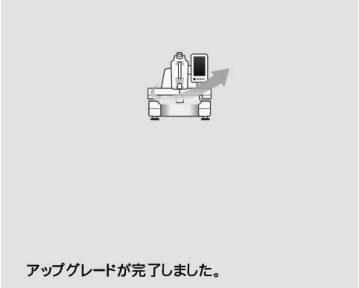
4 取り込み を押します。



→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

お願い

●エラーが発生すると、赤い文字のエラーメッセージが表示されます。ダウンロードが成功すると、以下のメッセージが表示されます。



5 USB メディアを取り外し、ミシンの電源を一旦切ってから再び入れます。

パソコンを使用したアップグレード手順

パソコンと OS については、P. 105「ミシンとパソコンの接続」を参照してください。

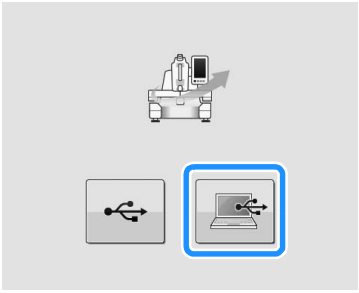
お願い

●USB ケーブルを使用する場合は、パソコンに USB メディアを差し込まないでください。

1 自動糸通しスイッチを押しながら、電源を入れます。

→ 以下の画面が液晶画面に表示されます。

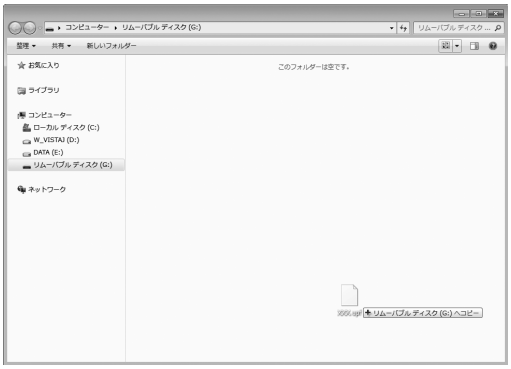
2 を押します。



3 USB ケーブルをパソコンとミシンのそれぞれ対応する USB ポートにつなぎます。

→「コンピューター（マイコンピュータ）」に「リムーバブルディスク」が表示されます。

4 アップグレードファイルを「リムーバブルディスク」にコピーします。



5 取り込み を押します。

→ アップグレードファイルがダウンロードされます。

お願い

●エラーが発生すると、赤い文字のエラーメッセージが表示されます。ダウンロードが成功すると、以下のメッセージが表示されます。

6 USB ケーブルを抜き、ミシンの電源を一旦切ってから再び入れます。

索引

D

DST 69

L

LED ポインター ..... 42、 149

T

T シャツ 163

U

USB ポート 70
　パソコンをつなぐ 70
　USB メディアをつなぐ 70

あ

アップリケ模様 154
アルファベット 109

い

一時停止 57
糸 ..... 28、 50、 161
糸案内を組み立てる 23
糸色交換回数 67
糸色並べ替えキー ..... 67、 99
糸色表示 145
変更する
　糸色表示 145
移動キー ..... 65、 67、 82、 121
糸替えキー 126
糸切りスイッチ ..... 17、 57
糸こま
　簡単交換 54
糸情報（色／縫製時間） ..... 49、 67
糸センサー 147
糸調子 90
糸調子つまみ ..... 59、 91
糸通し
　上糸設定 49
　下糸 34
　針穴 53
糸道上糸調子つまみ ..... 59、 91
糸密度 126
糸密度キー ..... 66、 126
イメージキー ..... 64、 65、 67
色替えキー 66
色パレット ..... 130、 160

う

上糸 ..... 28、 49、 50

え

液晶画面（タッチパネル） ..... 17、 28、 62
エコモード 148
エラーメッセージ 176

お

オープニング画面 148
大きさ 64
大きさキー ..... 64、 66、 122
大きさ（縦） 65
大きさ（横） 65
お手入れ ..... 150、 164

か

開始位置キー 68
回転キー ..... 66、 123、 136
回転角度 65
ガイド表示 144
拡大キー ..... 65、 120
確認する
　糸調子 59
　仕上がりイメージ 43
各部のなまえとはたらき ..... 16、 150
釜 164
画面 ..... 28、 32、 33、 62
画面の明るさ 149
画面の見方 32
画面早見表 62
カントンフリース 163

き

記憶キー ..... 68、 114
基本操作 150
基本手順 29
キャンバス地 163

く

繰り返しキー ..... 66、 127
繰り返し模様 127

け

言語 ..... 31、 143
言語の切り替え 148

こ

コーデュロイ 163
コピーキー ..... 66、 134
ゴルフシャツ 163

さ

削除
　模様 135
削除キー ..... 65、 110
サテンジャケット 163
左右反転キー ..... 64、 66、 121

し

仕上がりイメージ 43
刺しゅう
　基本操作 56
刺しゅう位置 82
刺しゅう位置マーカー 42
刺しゅう糸 50
刺しゅうカード 112
刺しゅうシート 79
刺しゅうする
　小さい布地にぬう 80
　布地の隅にぬう 80
　文字をつなげる 96
　リボンテープにぬう 80
刺しゅうデータ 104
刺しゅう模様 107
　選び方 39
　編集 41
刺しゅう枠
　種類 74
　取り付け方 46
　布地の張り方 44
　外し方 60
刺しゅう枠表示 44
刺しゅうを再開する 88
刺しゅうをぬう 56
下糸 27
下糸まき 36
しつけぬい 94
しつけぬいキー 67
自動糸切り／渡り糸切り ..... 68、 100
自動糸切り機能 100
自動糸通しスイッチ ..... 17、 53

自動針穴糸通し装置 53
仕様 ..... 9、 182
シルク 163

す

スウェットシャツ 163
スタート／ストップスイッチ ..... 17、 56
スピーカー 17
スピーカー音量 147

せ

設置 20
接着芯 ..... 76、 161、 163
設定キー 142
セットキー 64
全体回転キー 67
選択
　刺しゅう模様 ..... 39、 120
　編集した模様 120
前面 16

そ

操作画面の流れ 33
操作パネル 17
掃除する
　糸道 166
　釜 164
　画面 164
　注油 168
　針板まわり 165
　ボビンケース 166
　本体表面 164
　メンテナンスメッセージ 169

た

台枠
　セットする ..... 23、 24
タオル地 163
タジマフォーマット ..... 105、 160
ためしキー ..... 48、 68

ち

中心からの距離（縦） 65
中心からの距離（横） 65
注油する 168
調整する
　位置 121
　糸調子 90
　角度 82
　画面 181
　画面の明るさ 149
　刺しゅう位置 82
　縫製速度 98
調節する
　脚 22

つ

追加キー ..... 65、 119
次のページへキー ..... 64、 107

て

適応枠表示 65
デニム 163
電源オフサポートモード 148
電源コード ..... 30、 61
電源スイッチ ..... 30、 61

と

途中からぬい直す 86
トラブルチェック ..... 150、 170
ドレスシャツ（織物） 163

な

内蔵ソフトのアップグレード 183
　パソコンを使う 184
　USB メディアを使う 183
長さの単位 ..... 142、 146

に

ニット 163

ぬ

ぬい順表示 67
ぬい始め位置設定キー 95
ぬい目戻る／進むキー ..... 68、 84、 86
ぬい目を戻してぬう 84
ぬう
　アップリケぬい 154
布地
　大きい／小さいとき 79
　刺しゅう枠から外す 60
　注意事項 28
布地を張る ..... 44、 77、 162
布／接着芯の適合表 163

は

バージョン 143
背景色 146
配色キー ..... 66、 126
背面 17
配列キー ..... 66、 111、 124
始めからぬい直す 86
パソコン
　接続 104
　ポート 70
肌着やシルク 163
針 27
　糸通し 53
　交換 72
針板 165
針数 67
針もとライト 149

ふ

プーリー 168
付属品 18
部分表示 67
分割模様 158

へ

別売品 19
変更する
　糸密度 126
　ガイド表示 144
　言語 148
　刺しゅう位置 82
　しつけ距離 146
　長さの単位 146
　文字間隔 124
　文字揃え 111
　文字の配列 124
　模様の色 126
　模様の大きさ 122
編集 ..... 41、 119、 136
　組み合わせ 137
編集画面 ..... 41、 65、 119
編集終了キー 65

ほ

帽子 163
縫製エリアの表示色 146
縫製画面 ..... 42、 67、 136
縫製最高速度設定キー ..... 68、 98
縫製時間 67
縫製設定画面 ..... 42、 136
縫製速度 98
ボビン 27
　下糸まき 36

セットする 34
取り出し方 34
ボビンケース ..... 34、 35、 90、 166
セットする 35
取り出し方 34

ま

前のページへキー ..... 64、 107

み

右側面 17
ミシンの使い方キー 150
ミシンを使いこなす 160

め

綿の敷布 163

も

文字間キー ..... 66、 124
文字の色を変える 126
文字模様 109
文字模様を分割する 125
戻るキー ..... 64、 68
模様一覧画面 ..... 39、 64
模様キー 147
模様キーの大きさ 147
模様選択画面 ..... 39、 63
模様選択キー 120
模様と文字を組み合わせる 137
模様の移動 121
模様の色を変える 126
模様の大きさ 65
模様の角度を変える 82
模様の複製 134
模様の呼び出し
USB メディア 116
刺しゅうカード 112
パソコン 117
ミシンのメモリー 115
模様表示エリア 64
模様を選ぶ 107
模様を組み合わせる 119
模様を保存する
USB メディア 114
パソコン 114
ミシンのメモリー 113

ゆ

ユーザーパレット 130

れ

連続刺しゅう（1 色） ..... 67、 99

ろ

ロック解除キー ..... 56、 68
ロック機能 56

わ

枠模様 108
渡り糸 100
渡り糸切り機能 100

アフターサービス

修理を依頼するときや部品を購入するときは、お買い上げの販売店、または「PR専用ダイヤル」にお問い合わせください。

■ 保証書について

- ご購入の際、保証書にお買い上げ日、販売店名などが記入してあるかご確認の上、販売店で受け取ってください。保証書の内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低８年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理については、お買い上げの販売店、または下記の「PR専用ダイヤル」にご相談ください。

■ PR専用ダイヤル

本製品の使い方やアフターサービスについてご不明の場合は
お買い上げの販売店または「PR専用ダイヤル」までお問い合わせください。

〒467-8577　愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

PR専用ダイヤル　　Tel：050-3786-3125
050（ゼロ ゴー ゼロ）で始まる電話番号です。
Fax：052-824-3031

受付時間: 月曜日～金曜日　9:00～12:00　13:00～17:30
休業日: 土曜日、日曜日、祝日およびブラザー販売株式会社の休日

- 「PR専用ダイヤル」は、ブラザー販売株式会社が運営しています。
- 機能および操作方法が機種によって異なるため、お問い合わせの際に「機種名」と「機械番号」をご連絡いただきますと、スムーズにお答えすることができます。
- ミシン背面の定格ハリマーク（銀色シール）の下記部分をご確認ください。

- ブラザー製品についてのご意見、ご要望は、お買い上げの販売店、または上記「PR専用ダイヤル」にご連絡ください。
- 上記の電話番号、住所および受付時間は、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

■ ホームページ

ブラザーのホームページでは、製品に関する様々な情報を掲載しております。
http://www.brother.co.jp/

ブラザーソリューションセンターでは、製品に関するサポート情報を掲載しております。
http://support.brother.co.jp/

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1　〒467-8561

882-T51
Printed in Taiwan

XG3349-001